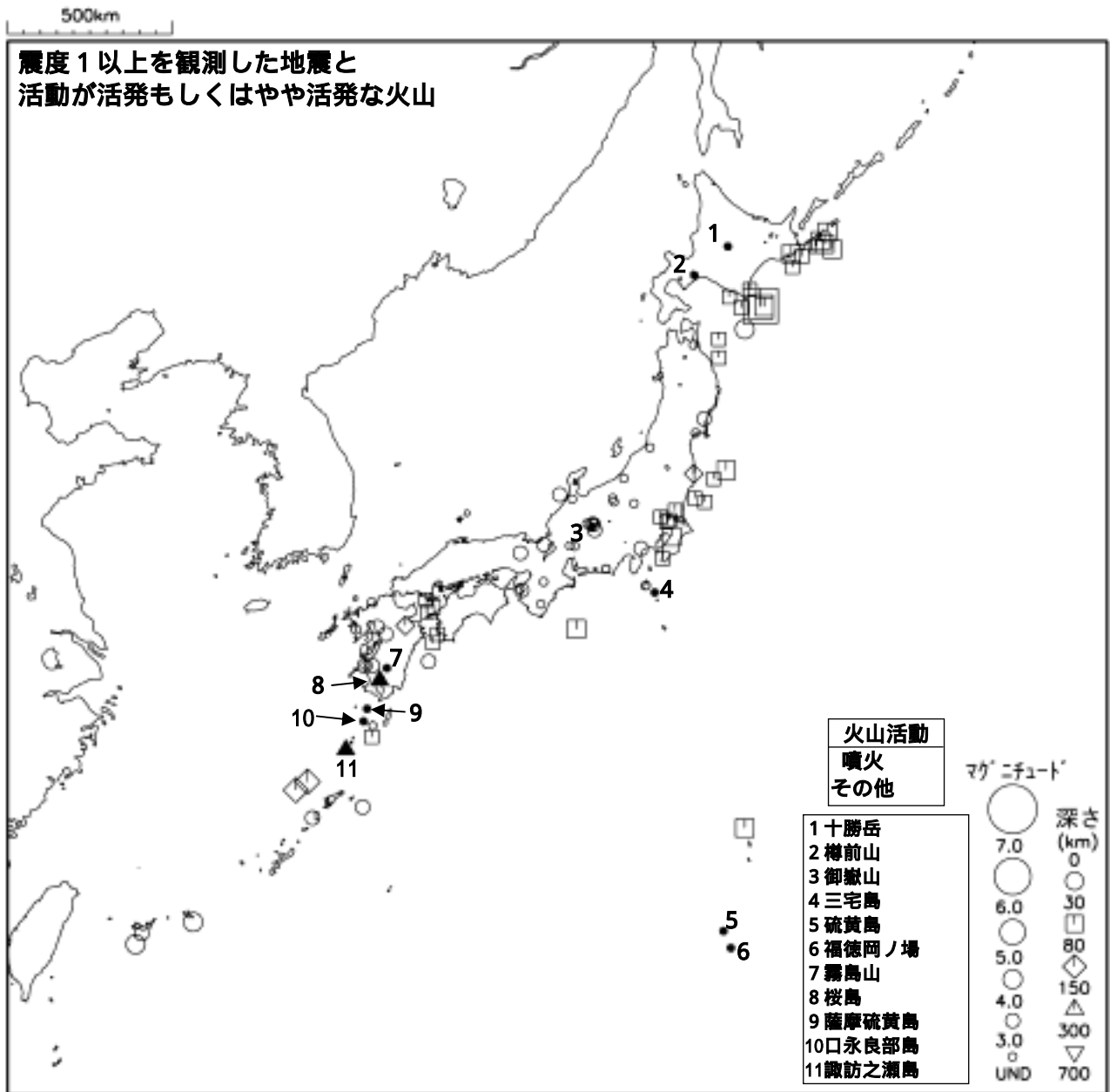


平成 19 年 2 月 地震・火山月報（防災編）

Monthly Report on Earthquakes and Volcanoes in Japan

February 2007



気 象 庁

Japan Meteorological Agency

利用にあたって

本書は、地震・火山に関連した各種防災情報や地震・火山活動に関する分析結果の最新版を防災機関等における効果的な利用に供するため、毎月刊行している。

気象庁では、平成 9 年 11 月 10 日より、国・地方公共団体及び住民が一体となった緊急防災対応の迅速かつ円滑な実施に資するため、気象庁の震度計の観測データに合わせて地方公共団体及び独立行政法人防災科学技術研究所*から提供されたものも震度情報として発表している。

また、気象庁では、地震防災対策特別措置法の趣旨に沿って、平成 9 年 10 月 1 日より、大学や独立行政法人防災科学技術研究所等の関係機関**から地震観測データの提供を受け、文部科学省と協力してこれを整理し、整理結果等を、同法に基づいて設置された地震調査研究推進本部地震調査委員会に提供するとともに、気象業務の一環として防災情報として適宜発表する等活用している。

なお、地震・火山観測データの整理結果については、本編の姉妹編の「地震・火山月報（カタログ編）」に掲載している。

本誌で使用している震源位置・マグニチュードは世界測地系（Japanese Geodetic Datum 2000）に基づいて計算したものである。

注* 秋田県、埼玉県、新潟県、愛知県、大阪府、奈良県、和歌山県、岡山県、山口県、横浜市（神奈川県）（以上 1 府 8 県、1 政令指定都市は平成 9 年 11 月 10 日から発表）、群馬県、福井県、静岡県、三重県、島根県及び愛媛県（以上 6 県は平成 10 年 6 月 15 日から発表）、青森県、山形県、茨城県、石川県、京都府、兵庫県、鳥取県、広島県、徳島県、熊本県、宮崎県及び鹿児島県（以上 1 府 11 県は平成 10 年 10 月 15 日から発表）、東京都、長野県（以上 1 都 1 県は平成 11 年 7 月 21 日から発表）、栃木県、千葉県、岐阜県、名古屋市（愛知県）（以上 3 県、1 政令指定都市は平成 12 年 1 月 12 日から発表）、滋賀県（平成 12 年 3 月 28 日から発表）、富山県、香川県、大分県（以上 3 県は平成 12 年 7 月 18 日から発表）、佐賀県（平成 13 年 3 月 22 日から発表）、山梨県、川崎市（神奈川県）（以上 1 県、1 政令指定都市は平成 13 年 5 月 10 日から発表）、高知県（平成 13 年 7 月 19 日から発表）、福島県（平成 13 年 12 月 12 日から発表）、岩手県、宮城県、神奈川県、福岡県、仙台市（宮城県）（以上 4 県、1 政令指定都市は平成 14 年 3 月 20 日から発表）北海道、長崎県（以上 1 道 1 県、平成 14 年 7 月 29 日から発表）、沖縄県（平成 15 年 3 月 10 日から発表）の 47 都道府県、4 政令指定都市と独立行政法人防災科学技術研究所（平成 16 年 5 月 26 日から発表）。

注**平成 19 年 2 月末現在：国土地理院、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、独立行政法人防災科学技術研究所、独立行政法人海洋研究開発機構、独立行政法人産業技術総合研究所、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び横浜市。

本書利用上の注意

・震央分布図中の語句について

M：マグニチュード Depth：深さ（km）

UND：マグニチュードの決まらない地震が含まれていることを意味する。

N=XX：図中の地震数を表す（通常図の右肩上に示してある）

・発震機構解の図中の語句について

NP1：節面 1

NP2：節面 2

STR：走向（°：北から時計周り）

DIP：傾斜角（°：水平 0°、垂直 90°）

SLIP：すべり角（°：断層の走向から断層面に沿って反時計周り）

P：P 軸（圧力軸）

T：T 軸（張力軸）

N：N 軸（中立軸）

AZM：方位角（°：北から時計周り）

PLG：傾斜角（°：水平 0°、垂直 90°）

Mw：モーメントマグニチュード

Mo：地震モーメント（単位：Nm[ニュートン・メートル]）

・M - T 図について

縦軸にマグニチュード（M）、横軸に時間（T）を表示した図であり、地震活動の経過を見るために用いる。

・震央地名について

本書での震央地名は、原則として情報発表時に使用するものを用いる。情報発表時と異なる震央地名を用いた場合は、「異なる震央地名[情報発表時に使用する震央地名]」と併記した。

・震源と震央について

震源とは地震の発生原因である地球内部の岩石の破壊が開始した点であり、震源の真上の地点を震央という。

・地震の震源要素等について

地震の震源要素、発震機構解、震度データ等は、再調査後、修正することがある。確定した値、算出方法については「地震・火山月報（カタログ編）（CD-ROM）」、「地震年報（CD-ROM）」を参照のこと。

・火山の活動解説の火山性地震回数等について

火山性地震や火山性微動の回数等は、再調査後、修正することがある。確定した値については、「地震・火山月報（カタログ編）（CD-ROM）」、「火山報告（CD-ROM）」を参照のこと。

・本書で使用した地図等について

本書中の地図の作成にあたっては、国土地理院の承認を得て、同院発行の『数値地図 25000（行政界・海岸線）』、『数値地図 25000（地図画像）』、『数値地図 50000（地図画像）』、『数値地図 10m メッシュ（火山標高）』、『数値地図 50m メッシュ（標高）』、『数値地図 250m メッシュ（標高）』を使用したものである（承認番号：平 17 総使、第 503 号）。また、震央分布図等に表記した活断層のデータは、「新編日本の活断層」（東京大学出版会、1991）を使用した。

・図版作成には一部 GMT (Generic Mapping Tool [Wessel, P., and W.H.F. Smith, New, improved version of Generic Mapping Tools released, *EOS Trans. Amer. Geophys. U.*, vol.79 (47), pp.579, 1998]) を使用した。

目 次

日本及びその周辺で発生した主な地震	1
東海地震の想定震源域及びその周辺の地震活動	11
日本の主な火山活動	21
世界の主な地震	36
世界の主な火山活動	37
付表	
1．震度 1 以上を観測した地震の表	38
2．過去 1 年間に震度 1 以上を観測した地震の最大震度別の月別回数	46
3．日本及びその周辺におけるマグニチュード (M) 別の月別地震回数	47
正誤表	48

日本及びその周辺で発生した主な地震

表 1

No.	震源時 月 日 時 分	震央地名	M	M H S T (注 3)	最大震度・被害状況等（注 4）	掲載 ページ
1	2 4 20 59	千葉県北西部	4.3	・ ・ ・ ・	3：神奈川県 横浜神奈川区白幡上町*	7
2	2 17 09 02	十勝沖	6.2	M・S・	4：北海道 浦幌町桜町* など 1 道 3 地点	4

注 1) 主な地震とは、M6.0 以上、震度 4 以上、内陸 M4.0 以上かつ震度 3、海域 M5.0 以上かつ震度 3、その他注目した地震を指す。

注 2) 震源時、震央地名、マグニチュードは再調査後、修正することがある。

注 3) M H S T の各項目について、M: M6.0 以上の地震、H: 被害を伴った地震、S: 震度 4 以上を観測した地震、T: 津波を観測した地震、として該当項目にそれぞれの記号を記した。

注 4) 最大震度の観測点名にある * 印は地方公共団体もしくは独立行政法人防災科学技術研究所の震度観測点の情報であることを表す。被害の報告は総務省消防庁による。

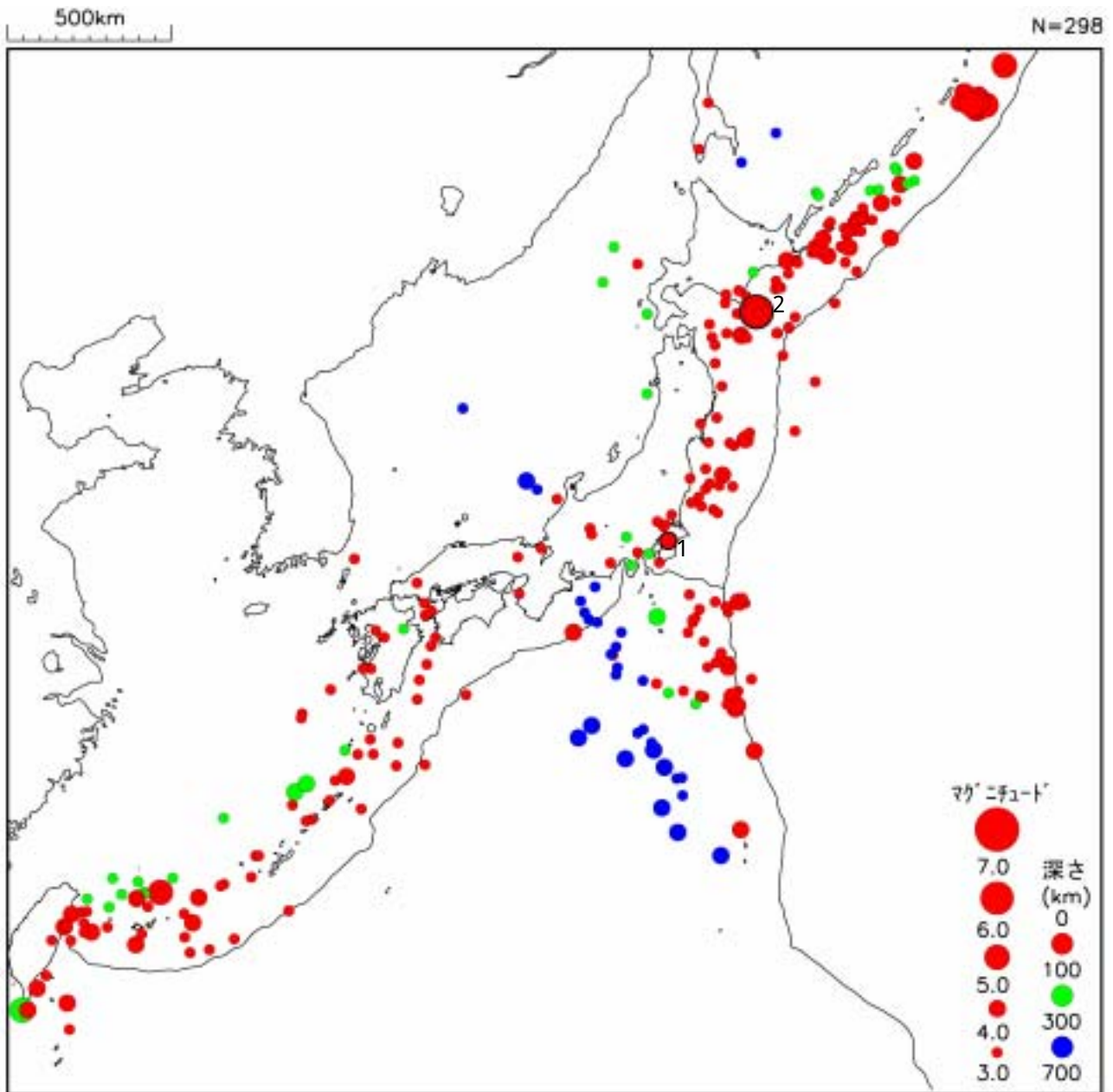
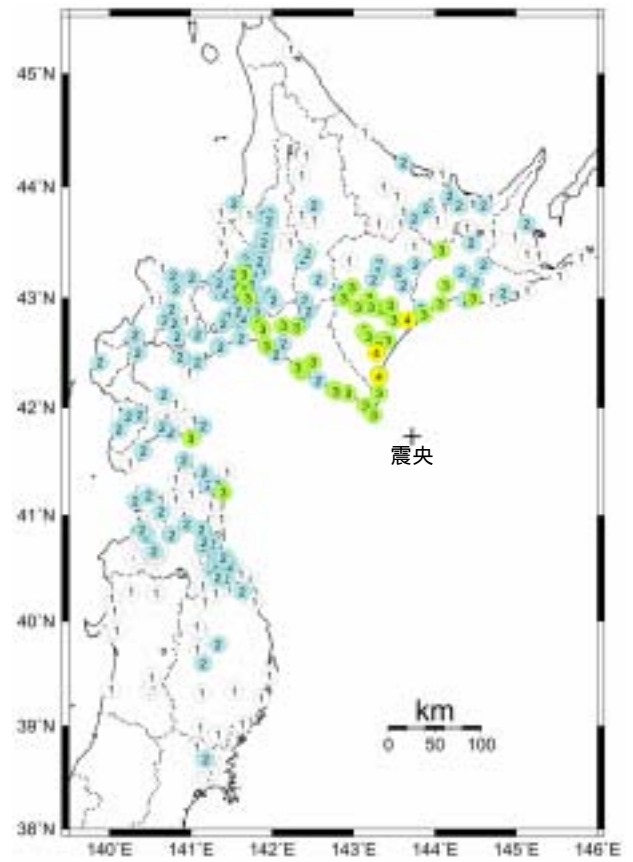
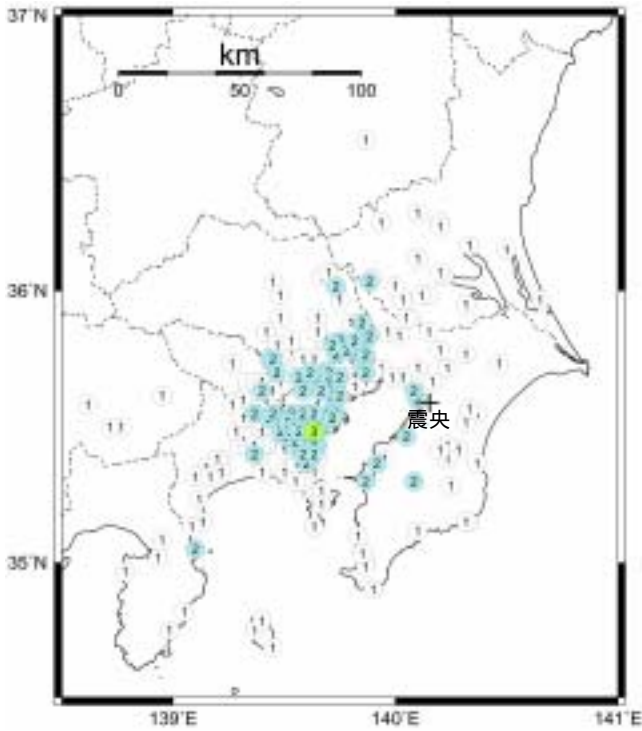


図 1 2007 年 2 月に日本及びその周辺で発生した M3.0 以上の地震の震央分布図
（図中の数字は表 1 の番号に対応する）

図 2 各観測点の震度分布図（数字は表 1，図 1 の番号に対応する。+印は震央を示す。）

No. 1 : 2 / 4 20:59 千葉県北西部
 (M4.3, 深さ 67km, 最大震度 3)

No. 2 : 2 / 17 09:02 十勝沖
 (M6.2, 深さ 40km, 最大震度 4)



北海道地方の地震活動

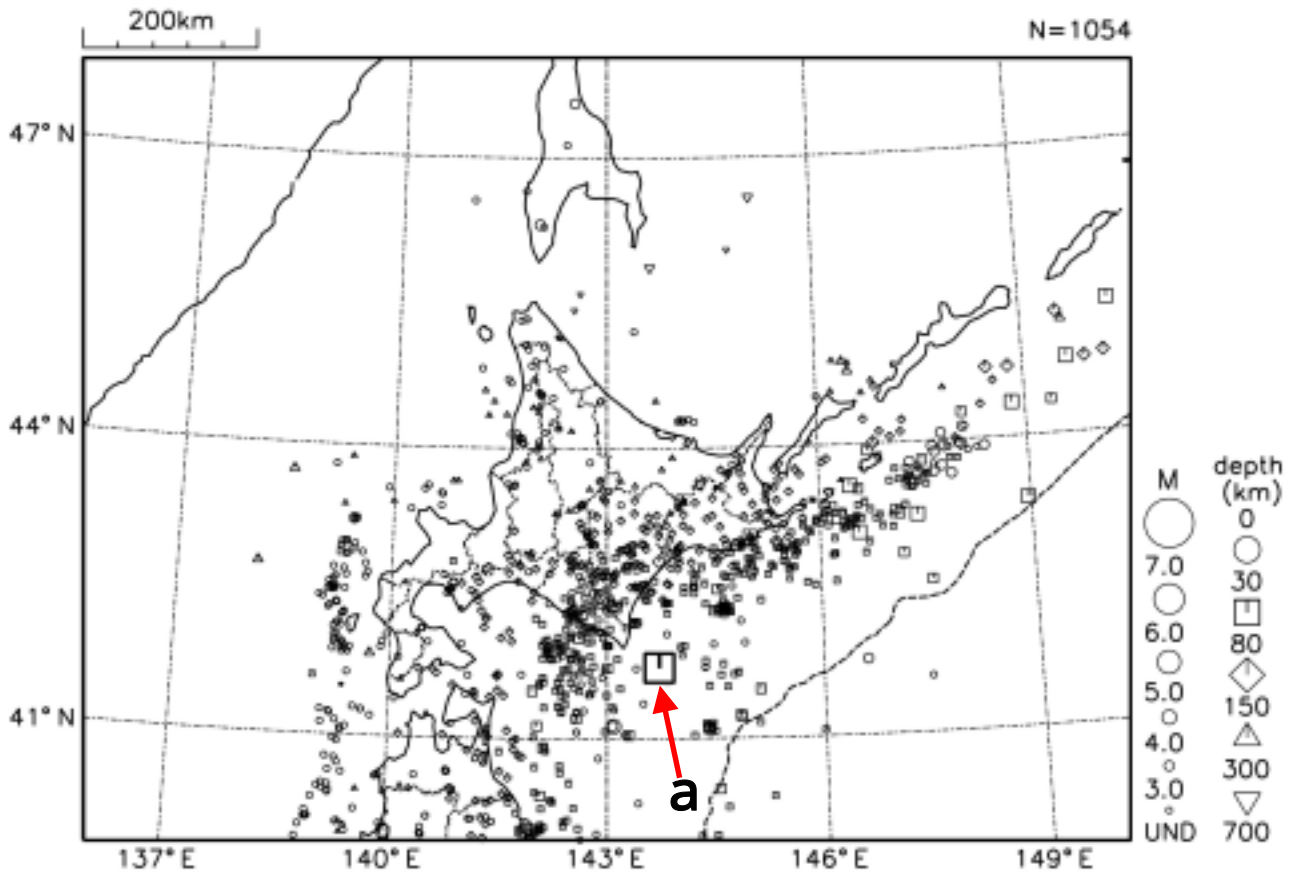


図3 北海道地方の震央分布図（2007年2月1日～2月28日）

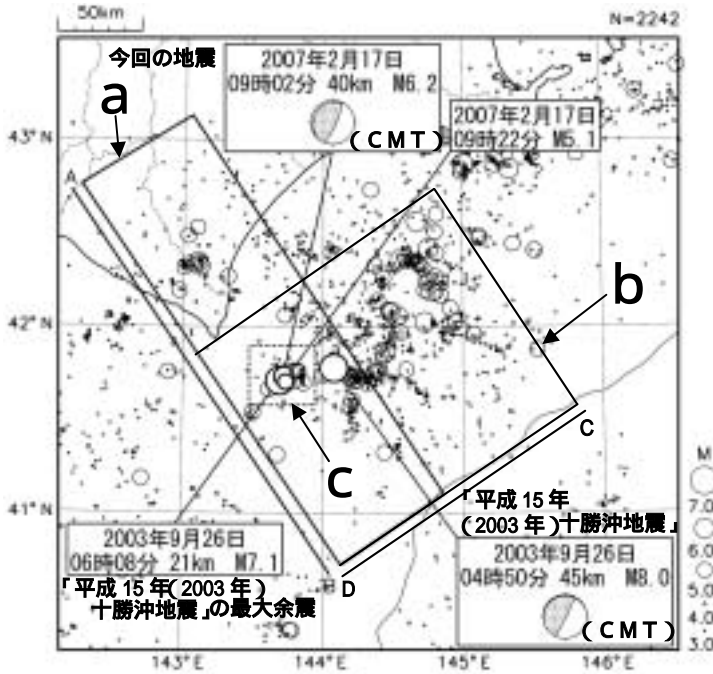
[概況]

2月に北海道地方で震度1以上を観測した地震は14回（1月は12回）であった。2月中の主な活動は次のとおりである。

2月17日09時02分、十勝沖の深さ40kmでM6.2の地震（図3中のa）が発生し、北海道の浦幌町、十勝大樹町、広尾町で震度4を観測したほか、北海道から青森県、岩手県、秋田県、宮城県にかけて震度3～1を観測した（p4参照）。

2月17日 十勝沖の地震

震央分布図
 (2003年9月26日～2007年2月28日
 深さ0～150km、M 3.0)



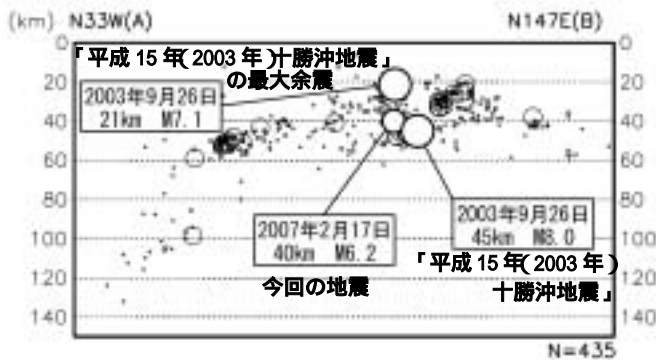
2007年2月17日09時02分、十勝沖の深さ40kmでM6.2(最大震度4)の地震が発生した。この地震の発震機構(CMT解)は東南東-西北西方向に圧力軸を持つ逆断層型で、太平洋プレートと陸のプレートの境界付近で発生した地震と考えられる。

この地震の発生直後の09時22分にM5.1(最大震度2)の地震が発生するなど、ややまとまった地震活動がみられた。

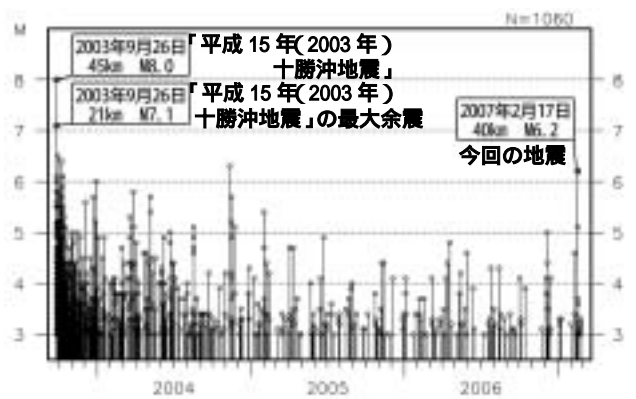
今回の地震の震源付近では、2003年9月26日に「平成15年(2003年)十勝沖地震」(M8.0)が発生し、北海道オホーツク海沿岸、青森県日本海沿岸、陸奥湾および北海道から四国にかけての太平洋沿岸で津波を観測した。

今回の地震は「平成15年(2003年)十勝沖地震」の余震域内の西側で発生した。

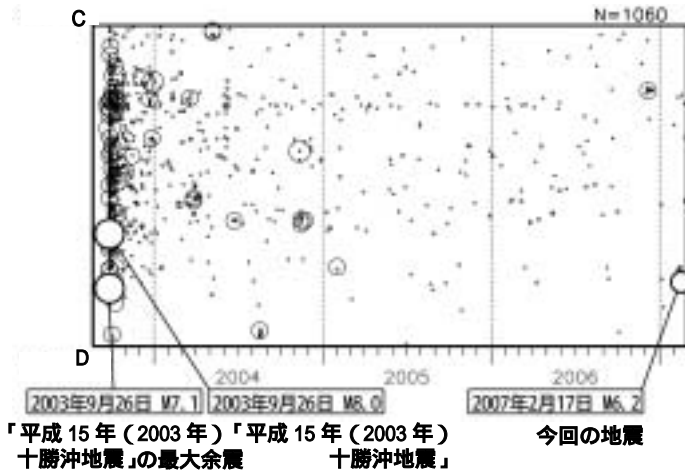
領域 a の断面図 (A - B 投影)



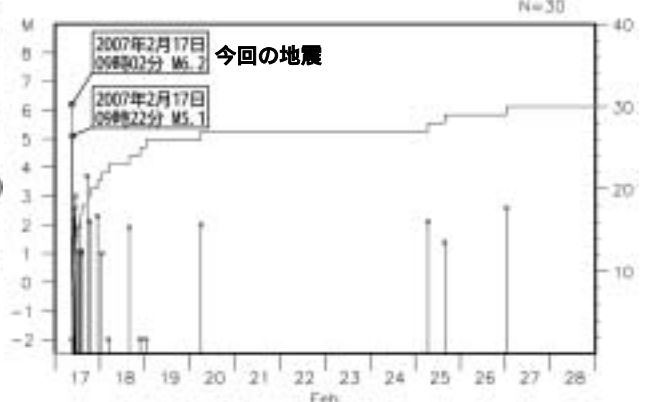
領域 b の M - T 図



領域 b 内の C - D 方向の時空間分布図



領域 c 内の M - T 図及び回数積算図
 2月17日～28日、M すべて



東北地方の地震活動

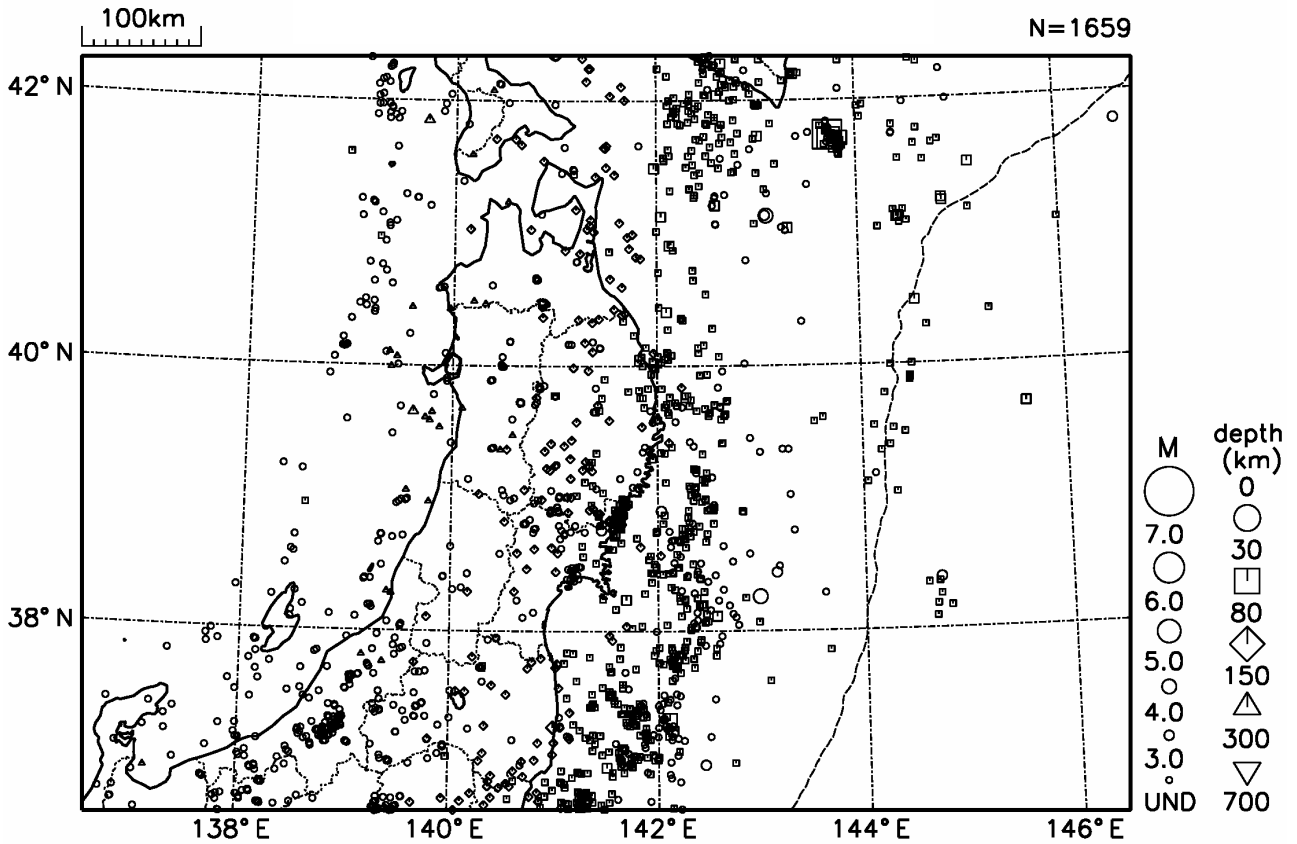


図4 東北地方の震央分布図（2007年2月1日～2月28日）

[概況]

2月に東北地方で震度1以上を観測した地震は12回（1月は25回）であった。

2月中、特に目立った活動はなかった。

関東・中部地方の地震活動

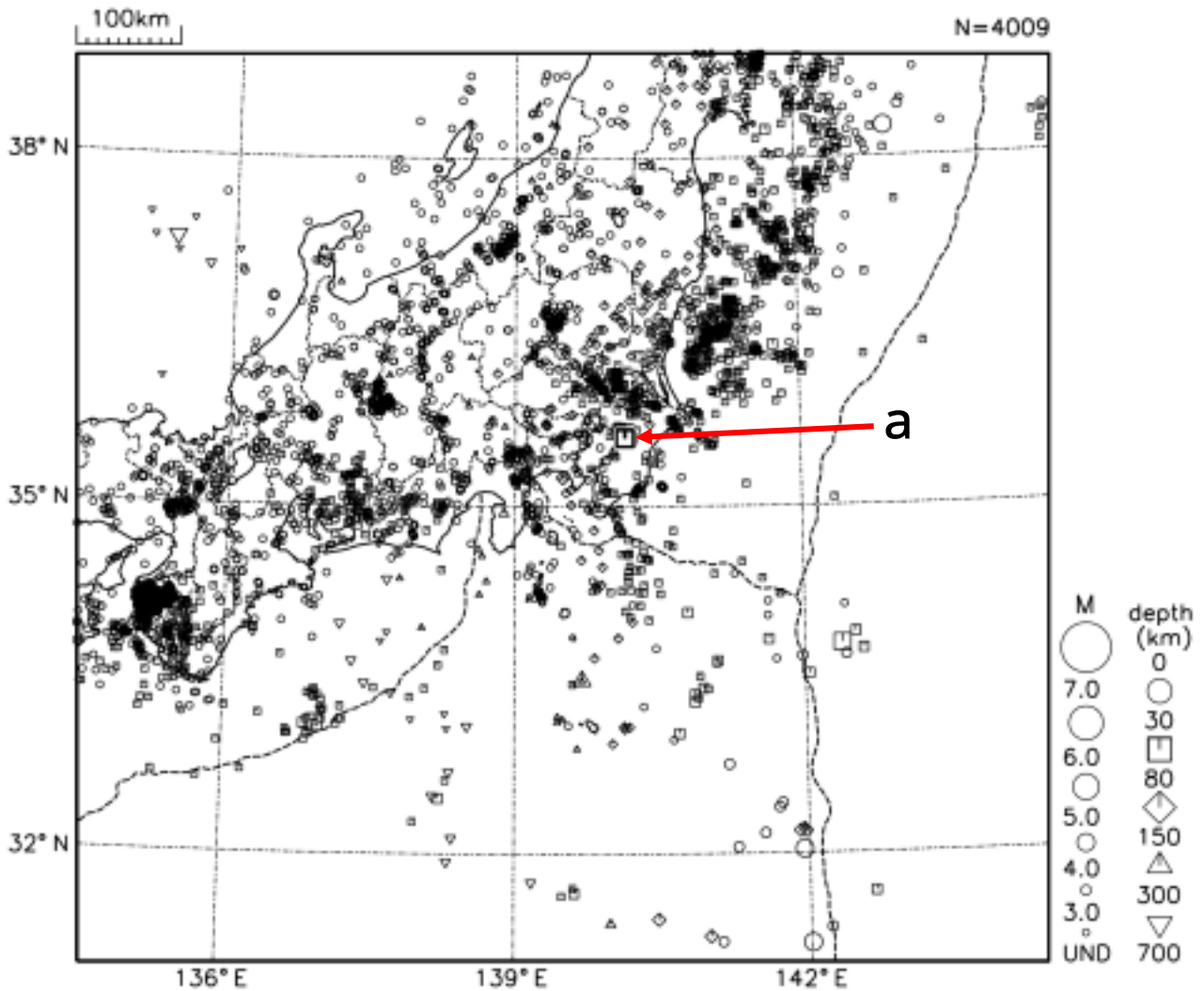


図5 関東・中部地方の震央分布図（2007年2月1日～2月28日）

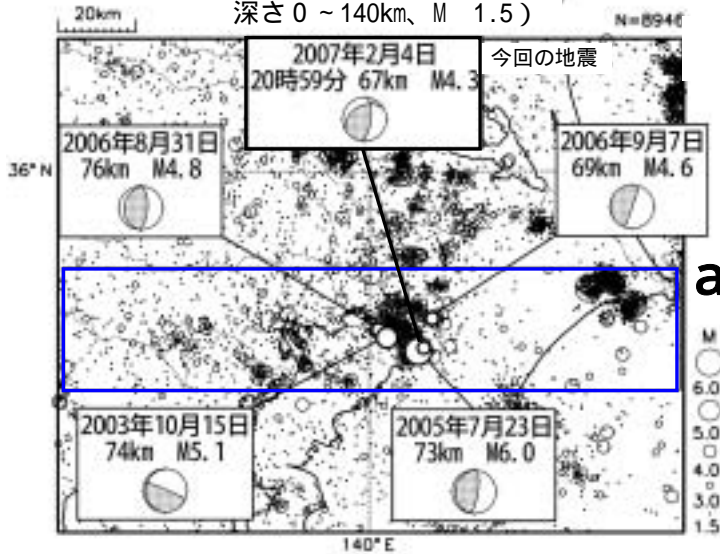
[概況]

2月に関東・中部地方で震度1以上を観測した地震は37回（1月は57回）であった。
2月中の主な活動は次の通りである。

4日20時59分、千葉県北西部の深さ67kmでM4.3の地震（図5中のa）があり、神奈川県横浜市神奈川区で震度3を観測したほか、関東地方と静岡県、山梨県で震度2～1を観測した（p7参照）。

2月4日 千葉県北西部の地震

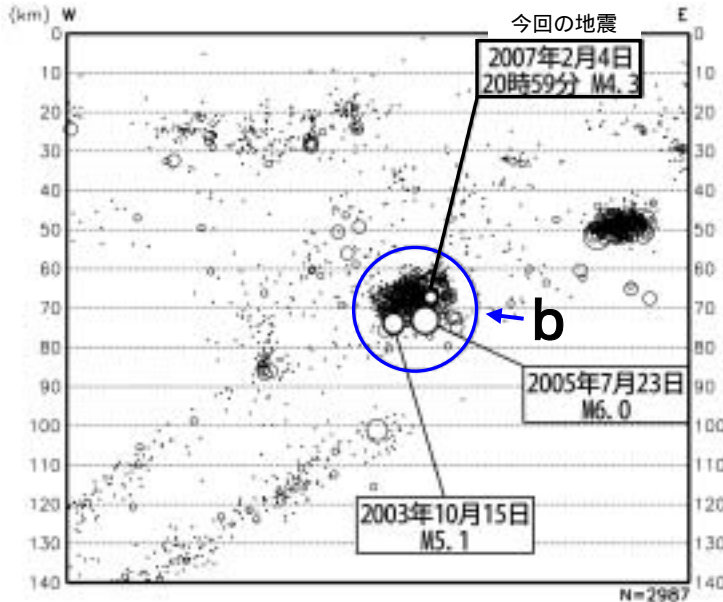
震央分布図
（2000年1月1日～2007年2月28日
深さ0～140km、M 1.5）



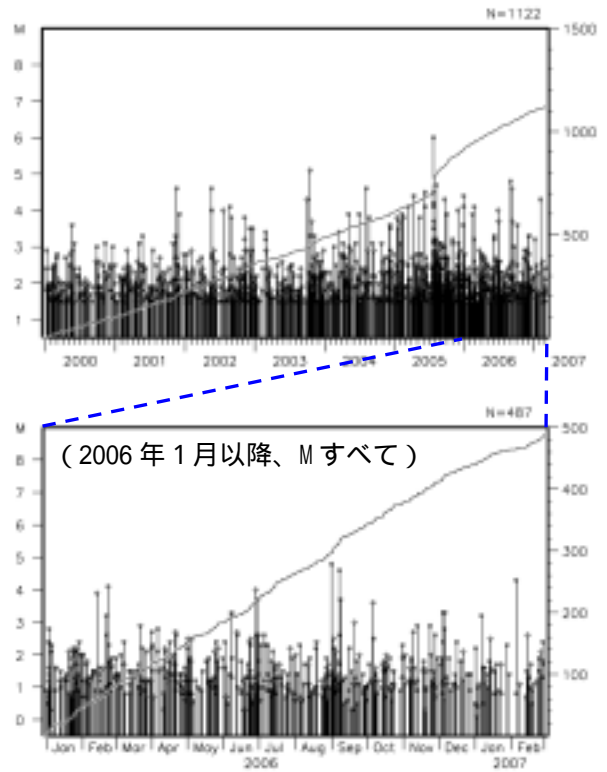
2007年2月4日20時59分に千葉県北西部の深さ67kmでM4.3（最大震度3）の地震が発生した。発震機構は西北西-東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、太平洋プレートとフィリピン海プレートの境界付近で発生した地震である。

今回の地震の震央付近では2005年7月23日にM6.0（最大震度5強）の地震が発生するなど、1923年8月以降、M6.0以上の地震が6回観測されている。

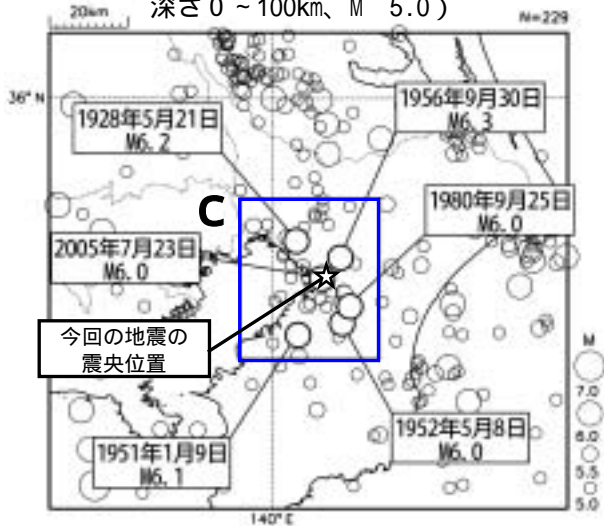
領域a内の東西断面図



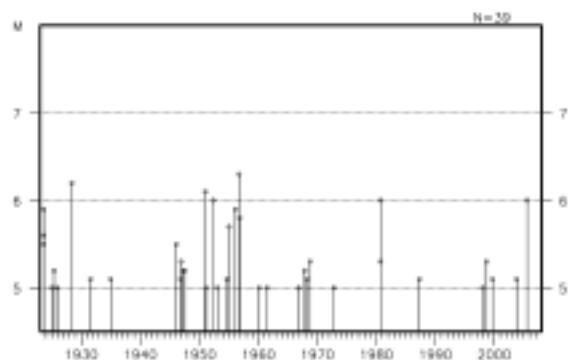
領域b内のM-T図、回数積算図



震央分布図
（1923年8月1日～2007年2月28日
深さ0～100km、M 5.0）



領域c内のM-T図



近畿・中国・四国地方の地震活動

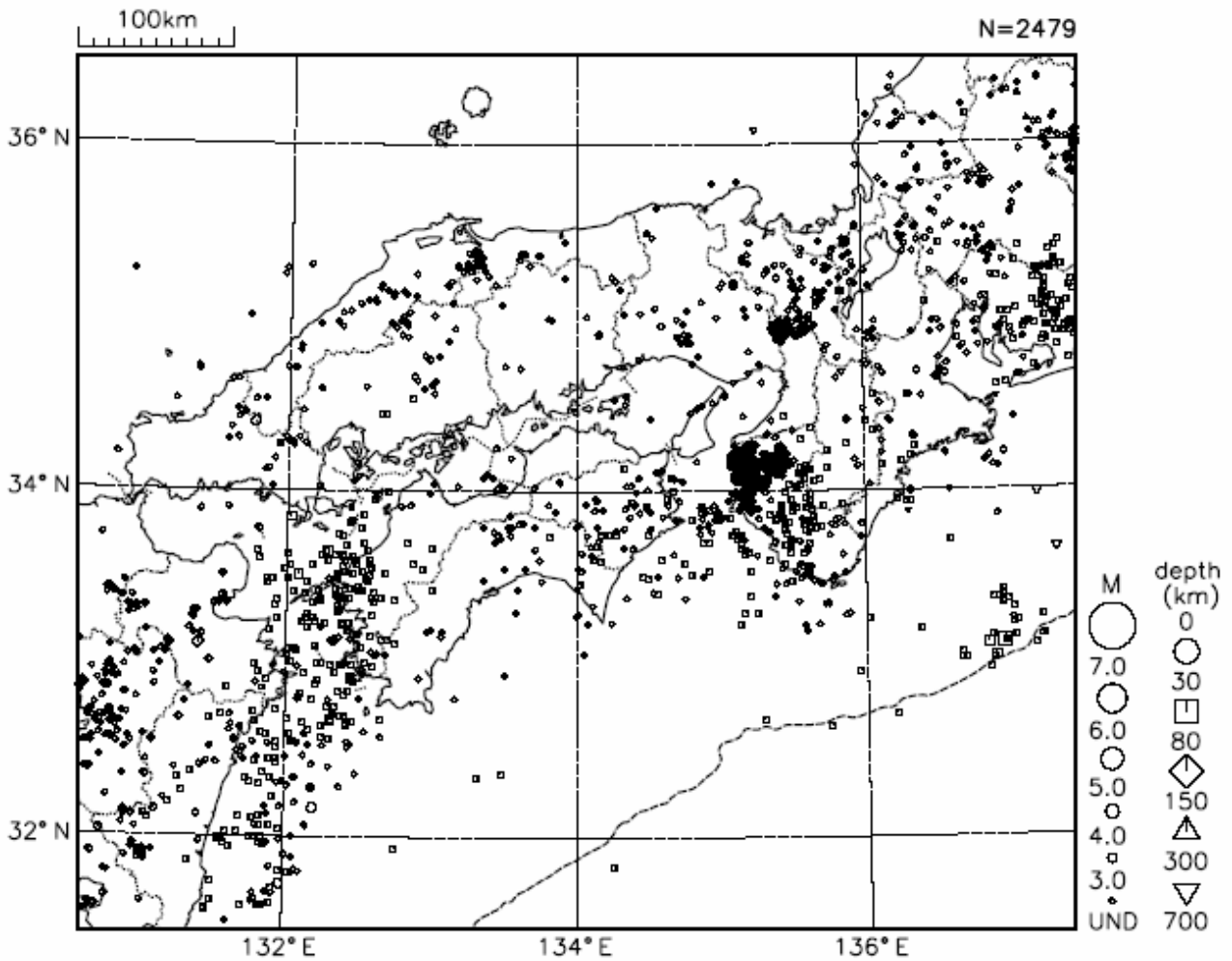


図 6 近畿・中国・四国地方の震央分布図（2007年2月1日～2月28日）

[概況]

2月に近畿・中国・四国地方で震度1以上を観測した地震は13回（1月は16回）であった。
2月中、特に目立った活動はなかった。

九州地方の地震活動

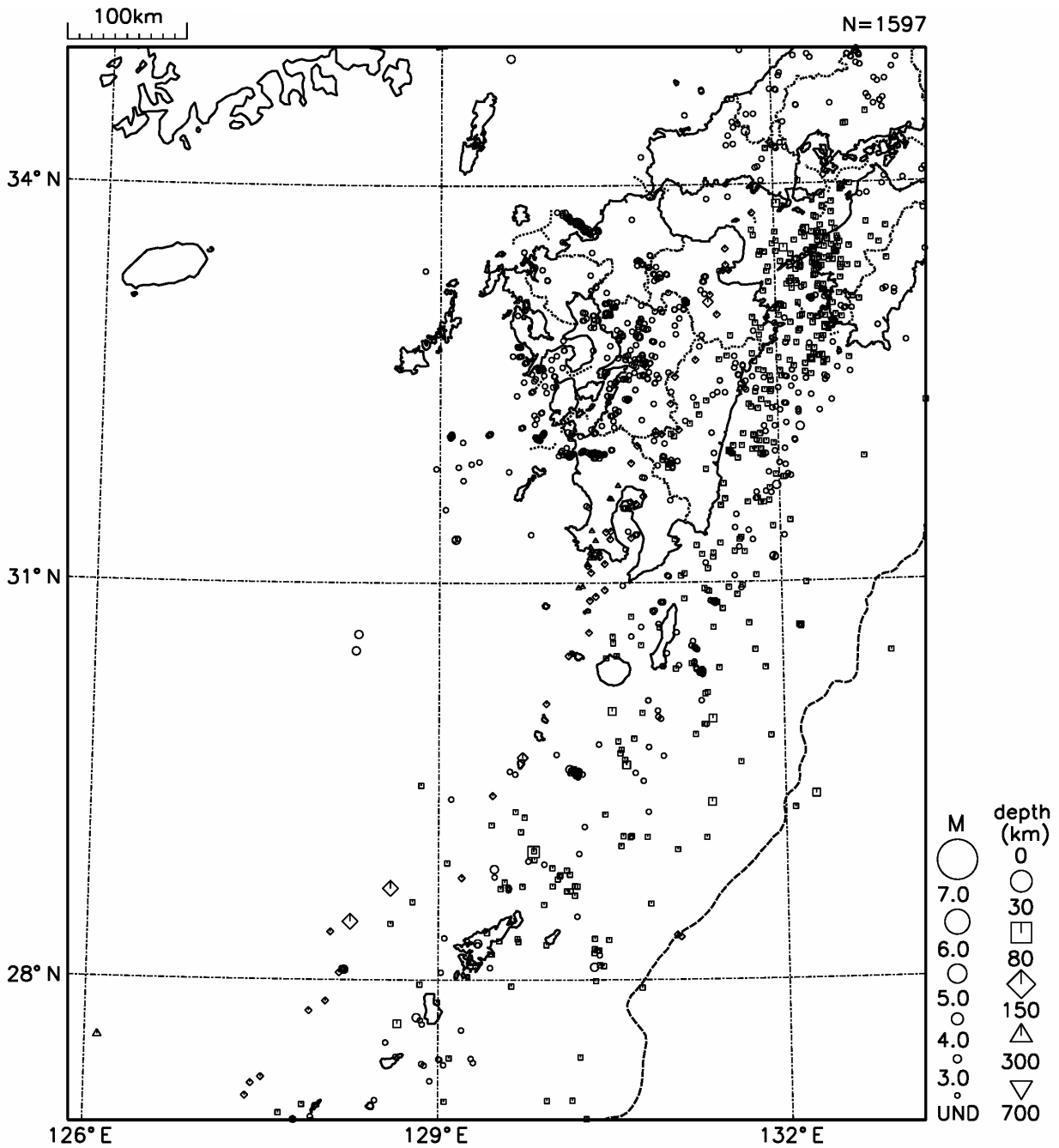


図7 九州地方の震央分布図（2007年2月1日～2月28日）

[概況]

2月に九州地方で震度1以上を観測した地震は15回（1月は6回）であった。
2月中、特に目立った活動はなかった。

沖縄地方の地震活動

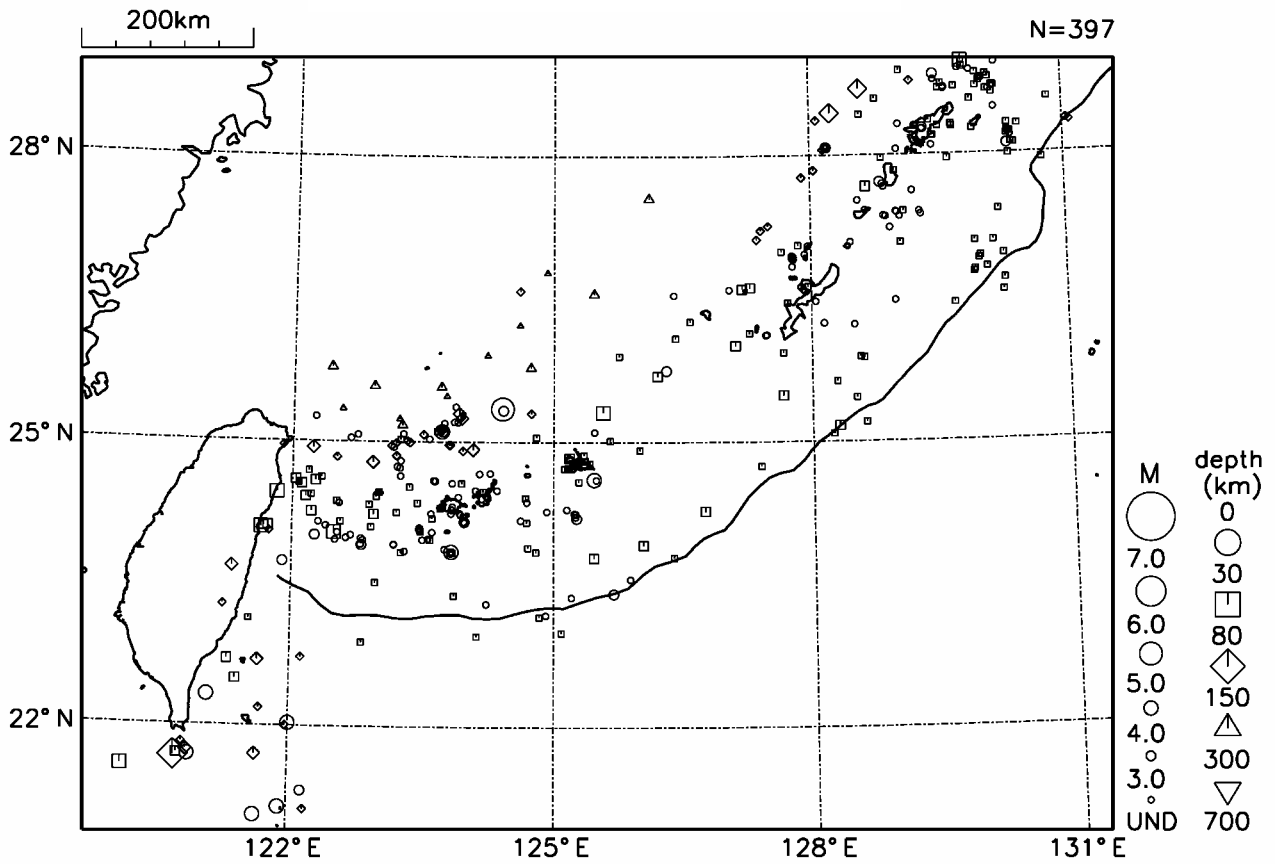


図 8 沖縄地方の震央分布図（2007 年 2 月 1 日～2 月 28 日）

[概況]

2 月に沖縄地方で震度 1 以上を観測した地震は 3 回（1 月は 4 回）であった。
2 月中、特に目立った活動はなかった。

東海地震の想定震源域及びその周辺の地震活動

[概況]

2月5日頃から10日前後にかけて、愛知県下のプレート境界の短期的なゆっくり滑りに起因すると見られる、歪変化と低周波地震活動が観測された。

[地震防災対策強化地域判定会委員打合せ会検討結果]

2月26日に気象庁において第249回地震防災対策強化地域判定会委員打合せ会(定例会)を開催し、気象庁は「最近の東海地域とその周辺の地震・地殻活動」として次のコメントを発表した(図2~9)。

現在のところ、東海地震に直ちに結びつくような変化は観測されていません。

全般的には顕著な地震活動はありません。浜名湖東方から静岡県中部の直下では通常より活動レベルの低い状態になっていますが、その他の地域では概ね平常レベルです。

東海地域及びその周辺の地殻変動には注目すべき特別な変化は観測されていません。

なお、2月5日ごろから同10日前後にかけて愛知県でプレート境界の短期的なゆっくり滑りに起因すると見られる地殻変動と低周波地震活動が観測されました。この付近では同様の現象が昨年8~9月にも観測されています。

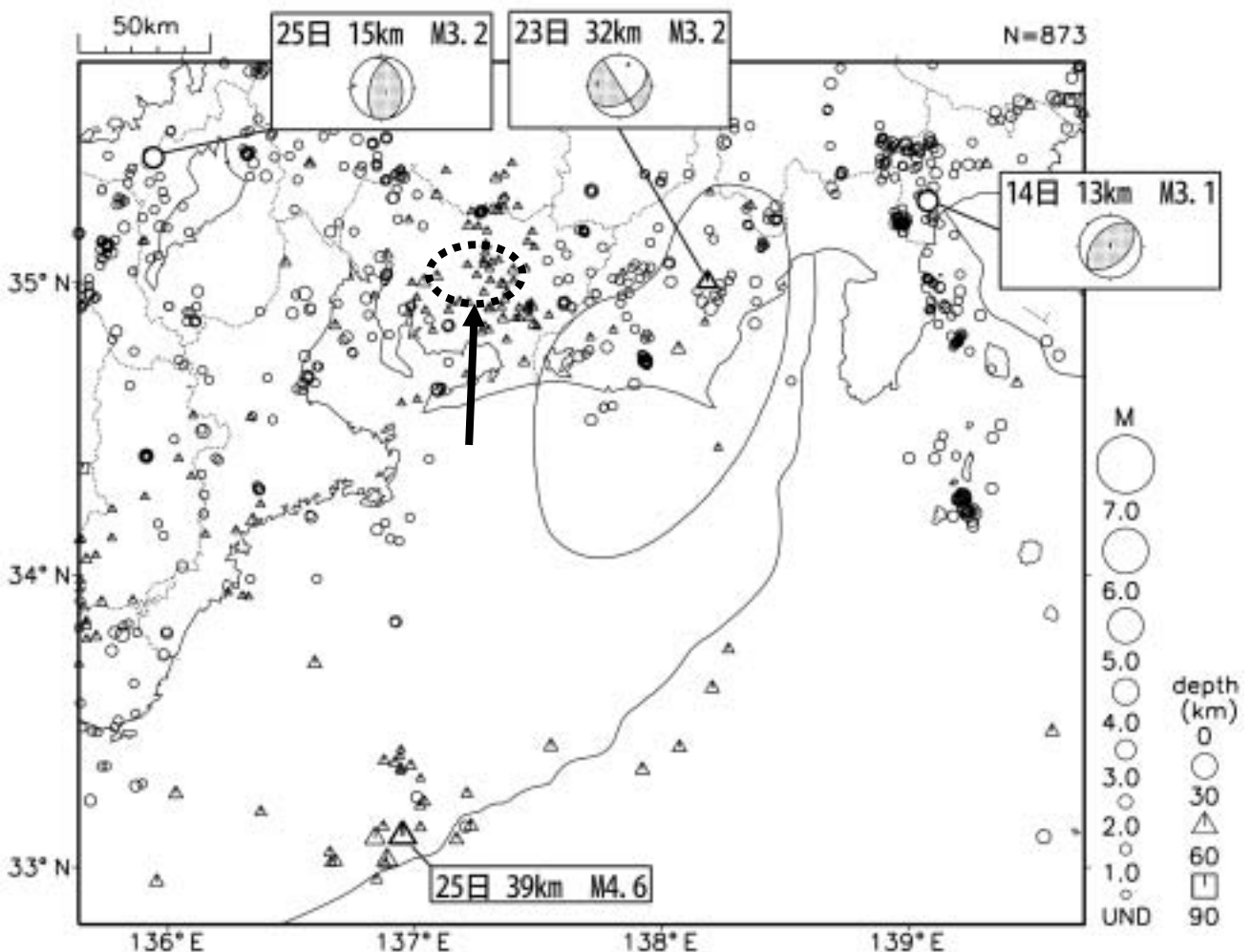


図1 震央分布図(2007年2月1日~28日:深さ90km以浅、Mすべて。M3.0以上の地震(東海道沖はM4.0以上)に「日、深さ、M」を付けた。すぐ下の図はP波初動による発震機構(下半球投影)。図中のナス型の領域は東海地震の想定震源域。)

2月5日頃から2月10日前後にかけて、愛知県下のプレート境界の短期的なゆっくり滑り

に起因すると見られる、歪変化と低周波地震活動が観測された(p13、14を参照)。同様の

現象は昨年 8 月～9 月にも観測されている。
（平成 18 年 8 月地震・火山月報（防災編）を参照。この現象の詳細については平成 17 年 7 月地震・火山月報（防災編）を参照。）
14 日 07 時 36 分、神奈川県西部の深さ 13km で M3.1 の地震があり、最大震度 2 を観測した。発震機構は北西 - 南東方向に圧力軸を持つ逆断層型であった。フィリピン海プレートと陸のプレートが衝突している場所で発生した地震と考えられる。
23 日 23 時 25 分、静岡県中部の深さ 32km で M3.2 の地震があった。発震機構は東西方向に張力軸を持つ型で、フィリピン海プレート内部で発生した地震である。（p15 を参照）
25 日 08 時 29 分、福井・滋賀県境（福井県嶺南）の深さ 15km で M3.2 の地震があり、最大

震度 1 を観測した。発震機構は東西方向に圧力軸を持つ逆断層型で、陸域の地殻内で発生した地震である。
25 日 20 時 41 分、東海道沖（三重県南東沖）の深さ 39km で M4.6 の地震があり、最大震度 2 を観測した。2004 年 9 月 5 日に発生した東海道沖（紀伊半島南東沖）の地震（M7.4、最大震度 5 弱）の余震域内で発生した地震である。

注：本文中の番号は、図 1 中の数字に対応する。

[東海地域の地震活動の頁で使われる用語]

・「想定震源域」(図 1、4)と「固着域」(図 5)

東海地震発生時には、「固着域」(プレート間が強く「くっついている」と考えられている領域)あるいはその周辺の一部からゆっくりしたずれ(前兆すべり)が始まり、最終的には「想定震源域」全体が破壊すると考えられている。

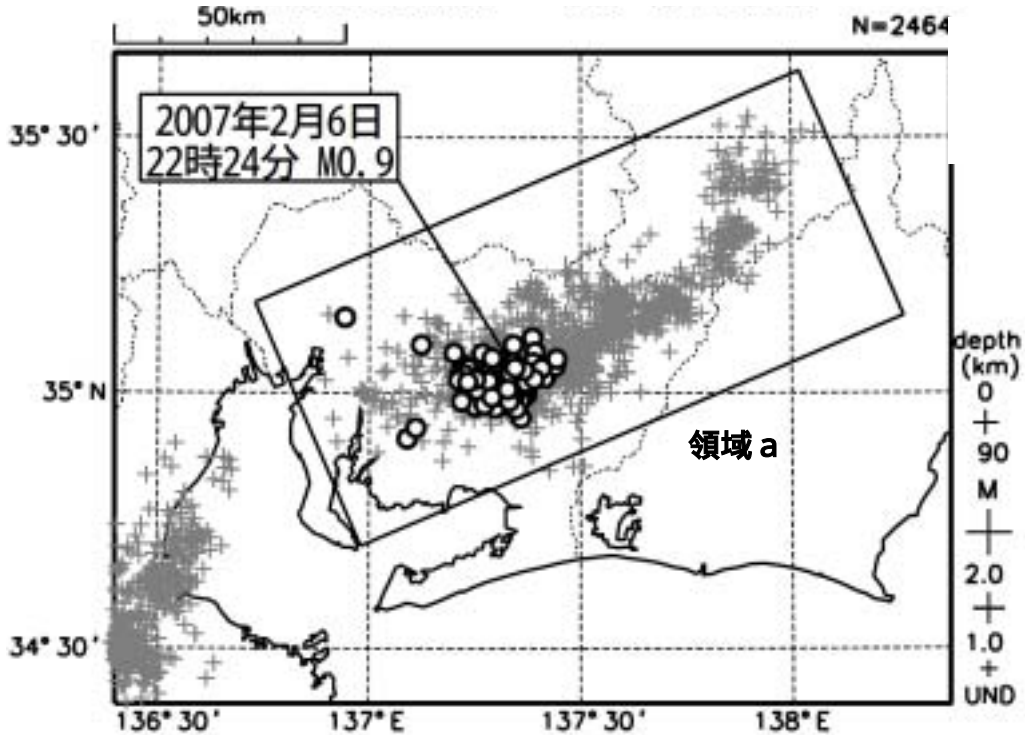
・「クラスタ除去」(図 5、6)

地震は時間空間的に群(クラスタ: cluster)をなして起きることが多くある。「本震とその後起きる余震」、「群発地震」などが典型的な群(クラスタ)で、余震活動等の影響を取り除いて地震活動全体の推移を見ることを「クラスタ除去」と言う。震央距離が 3 km 以内、発生時間差が 7 日以内の地震をクラスタと見なし、最大地震で代表させている。

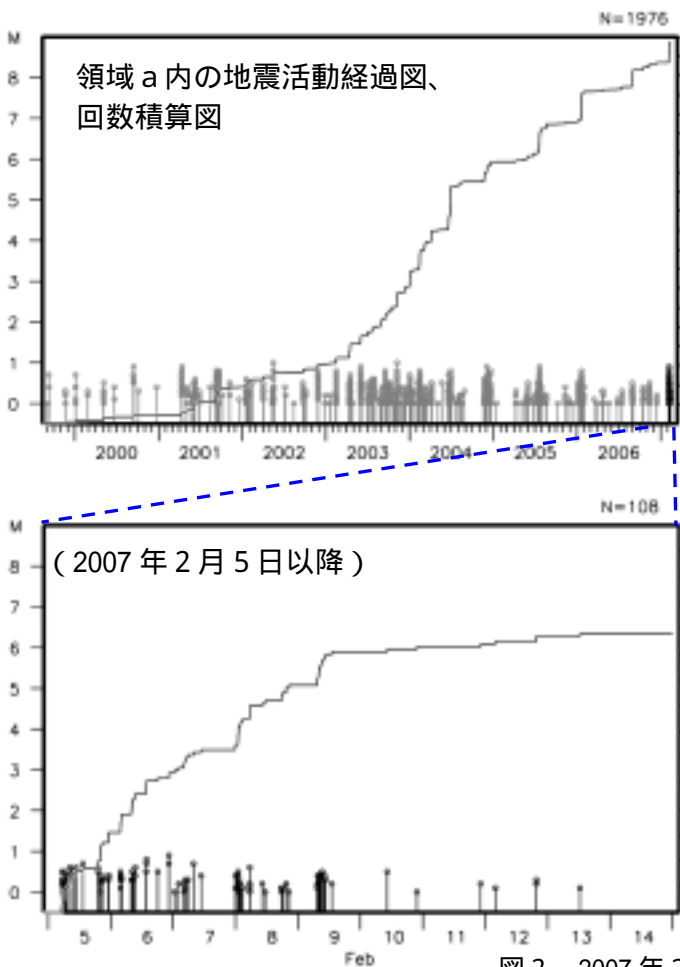
大規模な地震から国民の生命・財産を保護することを目的として、昭和 53 年(1978 年)12 月に施行された「大規模地震対策特別措置法」では、大規模な地震の発生のおそれがあり、その地震によって大きな被害が予想されるような地域をあらかじめ「地震防災対策強化地域(以下、「強化地域」という。)として指定し、地震予知のための観測施設の整備を強化し、あらかじめ地震防災に関する計画をたてる等、各種の措置を講じることとしている。強化地域は平成 14 年(2002 年)4 月に見直しが行われ、現在、静岡県全域と東京都、神奈川・山梨・長野・岐阜・愛知及び三重の各県にまたがる 174 市町村(平成 18 年 4 月現在)が強化地域に指定されている。強化地域では、マグニチュード 8 クラスと想定されている大地震(東海地震)が起こった場合、震度 6 弱以上(一部地域では震度 5 強程度)になり、沿岸では大津波の来襲が予想されている。気象庁では東海地震の直前の前兆現象を捕らえるため、地震、地殻変動等の観測データを常時監視している。

2007 年 2 月 愛知県西部 低周波地震

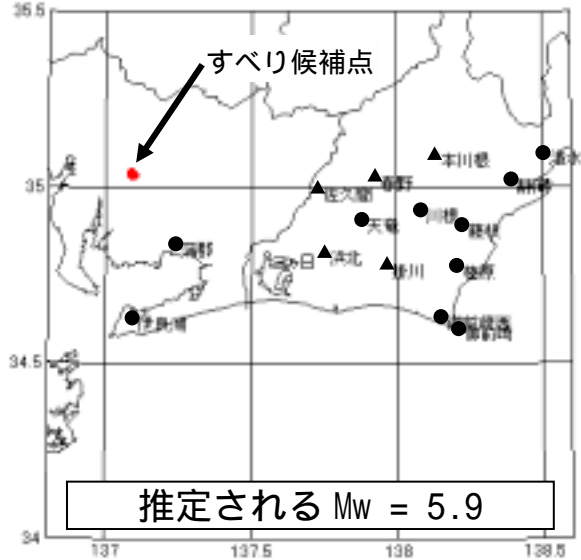
震央分布図（低周波地震のみ、1999 年 9 月以降、M すべて）



[2007 年 2 月 5 日以降の地震を で表示している。]



今回の歪変化より推定されるすべり候補点

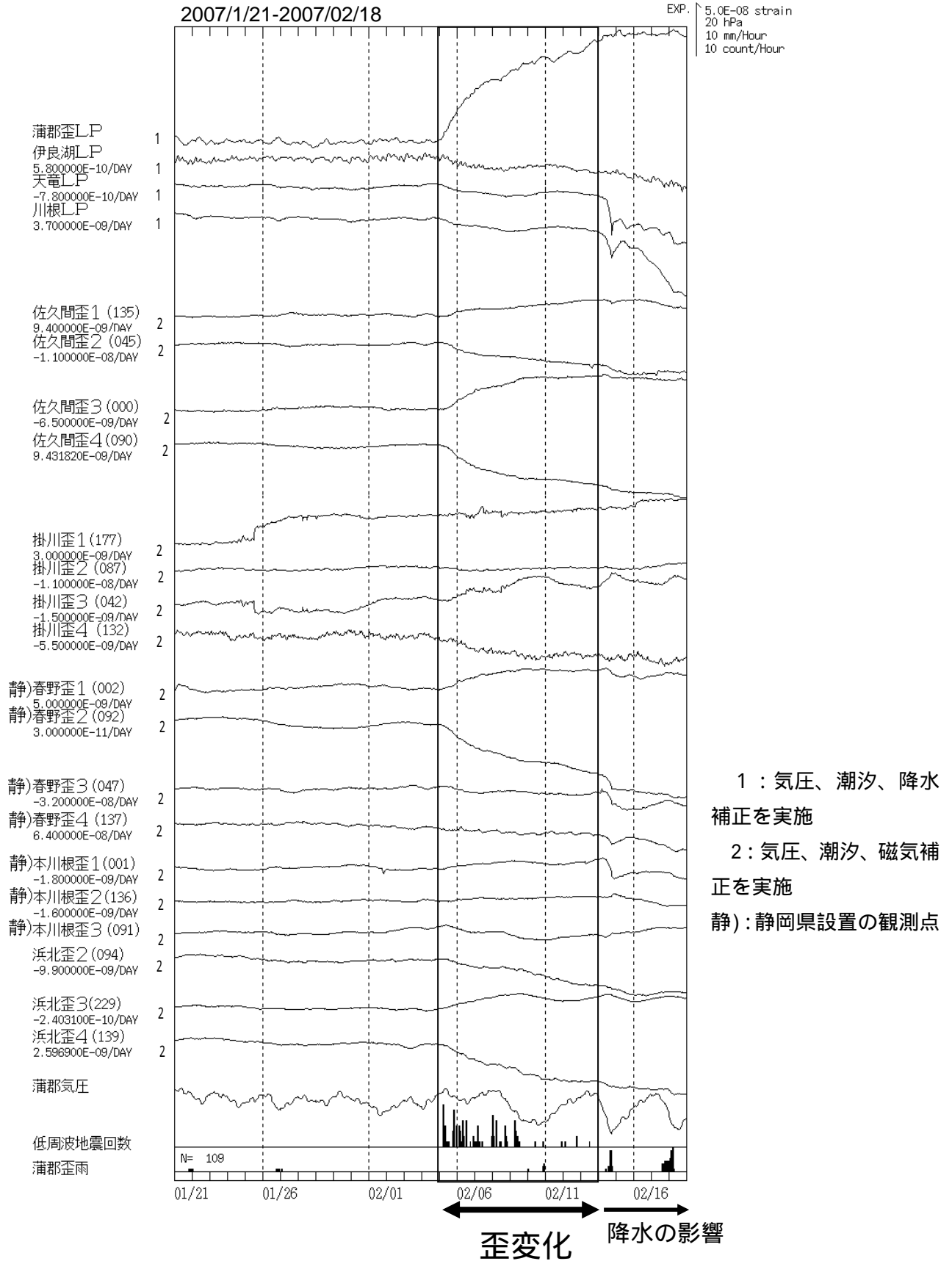


●▲：推定に使用した観測点

2007 年 2 月 5 日 5 時頃より、愛知県西部で低周波地震が観測された。地震活動は 9 日頃にはほぼおさまった。最大は 2 月 6 日 22 時 24 分に発生した M0.9 の地震であった。

図 2 2007 年 2 月愛知県西部低周波地震

2007 年 2 月 愛知県の低周波地震に伴う歪計の変化

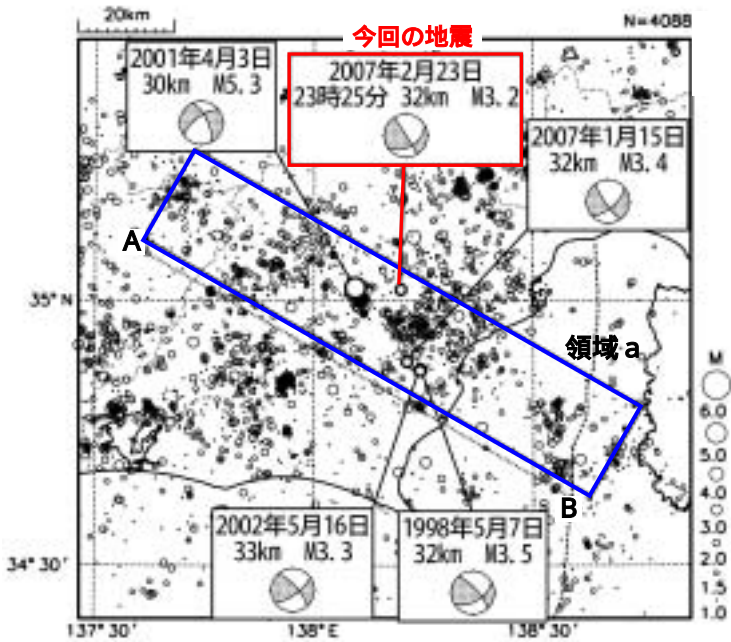


2月5日頃から13日頃にかけて、低周波地震の活動に伴い、複数の歪計で変化が観測された。なお、2月14日以降は降水の影響による変化。

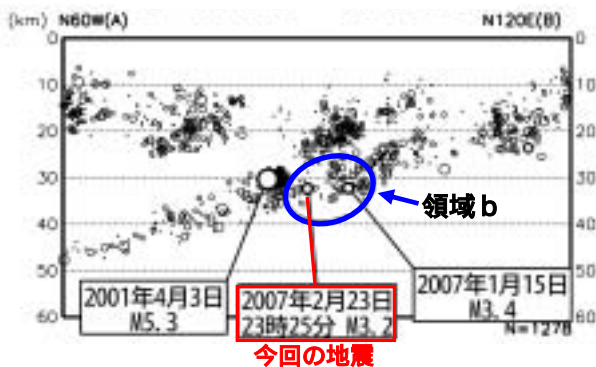
図3 2007年2月愛知県の低周波地震に伴う歪計の変化

2 月 23 日 静岡県中部の地震

震央分布図（1997 年 10 月 1 日～2007 年 3 月 3 日
深さ 0～60km、M 1.0）



領域 a 内の断面図（A - B 投影）



震央分布図（1923 年 8 月 1 日～2007 年 2 月 24 日
深さ 0～90km、M 4.0）



2007 年 2 月 23 日 23 時 25 分に静岡県中部の深さ 32km で M3.2（震度 1 以上を観測した地点なし）の地震が発生した。発震機構は東西方向に張力軸を持つ型で、フィリピン海プレート内で発生した地震であると考えられる。今回の地震の震源周辺では、2007 年 1 月 15 日にも M3.4（最大震度 2）の地震が発生するなど、M3.0 以上の地震が時々発生している。

なお、今回の地震の震源の西方では、2001 年 4 月 3 日に M5.3（最大震度 5 強）の地震が発生し、「東海地域の地震・地殻活動に関する情報（解説情報 3 号）」を発表している。

1923 年 8 月以降、今回の地震の震央付近では、1935 年 7 月 11 日に M6.4、1965 年 4 月 20 日に M6.1 の地震が発生しているが、1970 年以後はそれ以前に比べ規模の大きな地震が少なく、M5.0 以上の地震は 2001 年 4 月 3 日の M5.3（最大震度 5 強）と 2001 年 6 月 1 日の M5.0（最大震度 3）の地震のみである。

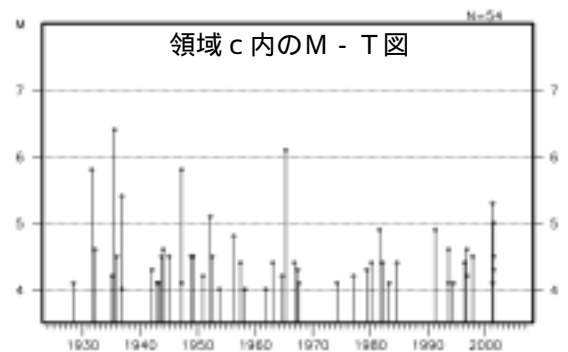


図 4 2 月 23 日静岡県中部の地震

東海地域の地震活動指数 (クラスタを除いた地震回数による)

2007年2月21日 現在

	① 固着域		② 愛知県		③ 浜名湖			④ 駿河湾
	地殻内	フィリピン海プレート	地殻内	フィリピン海プレート	フィリピン海プレート内			全域
					西側	全域	東側	
短期活動指数	5	4	5	6	4	2	2	4
短期地震回数 (平均)	8 (6.34)	5 (5.90)	6 (4.49)	16 (12.63)	1 (2.38)	2 (5.91)	1 (3.53)	6 (6.11)
中期活動指数	5	5	4	6	1	0	1	4
中期地震回数 (平均)	23 (19.03)	20 (17.69)	14 (13.46)	46 (37.90)	1 (4.76)	3 (11.82)	2 (7.06)	13 (12.22)

* Mしきい値：

M \geq 1.1：固着域、愛知県、浜名湖、M \geq 1.4：駿河湾

* クラスタ除去：

震央距離が Δr 以内、発生時間差が Δt 以内の地震をグループ化し、最大地震で代表させる。

$\Delta r=3\text{km}$ 、 $\Delta t=7\text{日}$ ：固着域、愛知県、浜名湖

$\Delta r=10\text{km}$ 、 $\Delta t=10\text{日}$ ：駿河湾

* 対象期間：

短期：30日間（固着域、愛知県）、90日間（浜名湖、駿河湾）

中期：90日間（固着域、愛知県）、180日間（浜名湖、駿河湾）

* 基準期間：

1997年－2001年（5年間）：固着域、愛知県、1998年－2000年（3年間）：浜名湖

1991年－2000年（10年間）：駿河湾

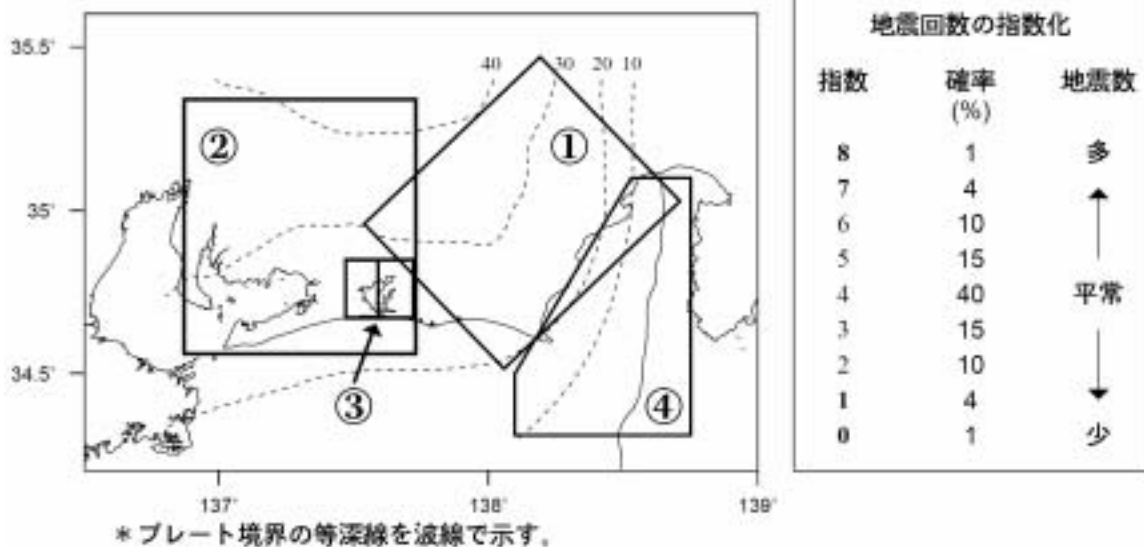
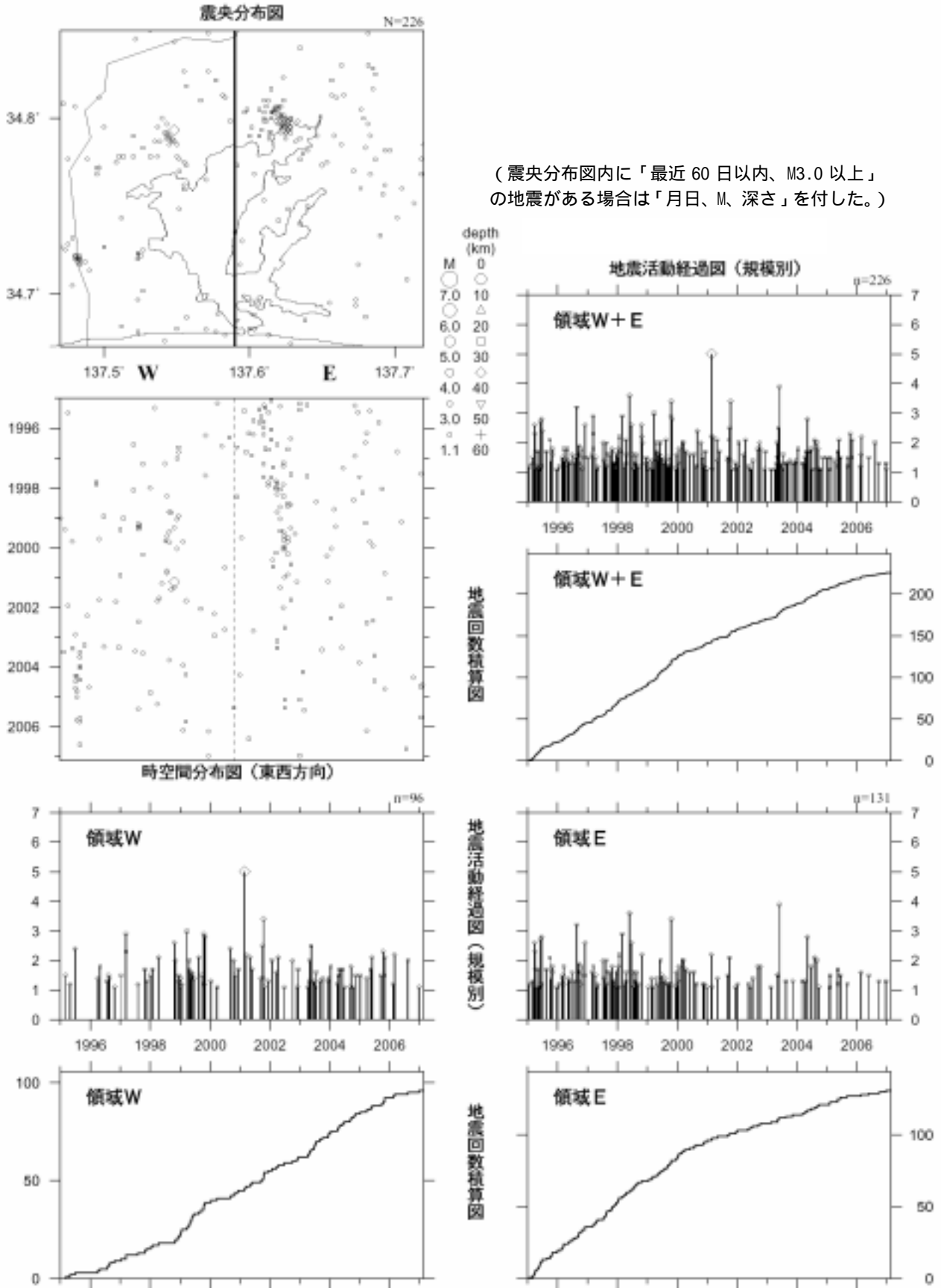


図5 東海地域の地震活動指数

浜名湖は、活動指数の低い状態が継続している。それ以外の地域は、ほぼ平常の活動であった。

浜名湖（フィリピン海プレート内）

1995/ 1/ 1~2007/ 2/ 21 M ≥ 1.1 * クラスタ除去したデータ



(震央分布図内に「最近 60 日以内、M3.0 以上」の地震がある場合は「月日、M、深さ」を付した。)

図 6 浜名湖付近のフィリピン海プレート内の地震活動

領域Eでは2000年終わりごろからの活動の低下が継続している。領域Wもここ数ヶ月はやや静かになっている。

水準点2595（御前崎市）の経年変化

基準：140-1（掛川市） 基準年：1962年

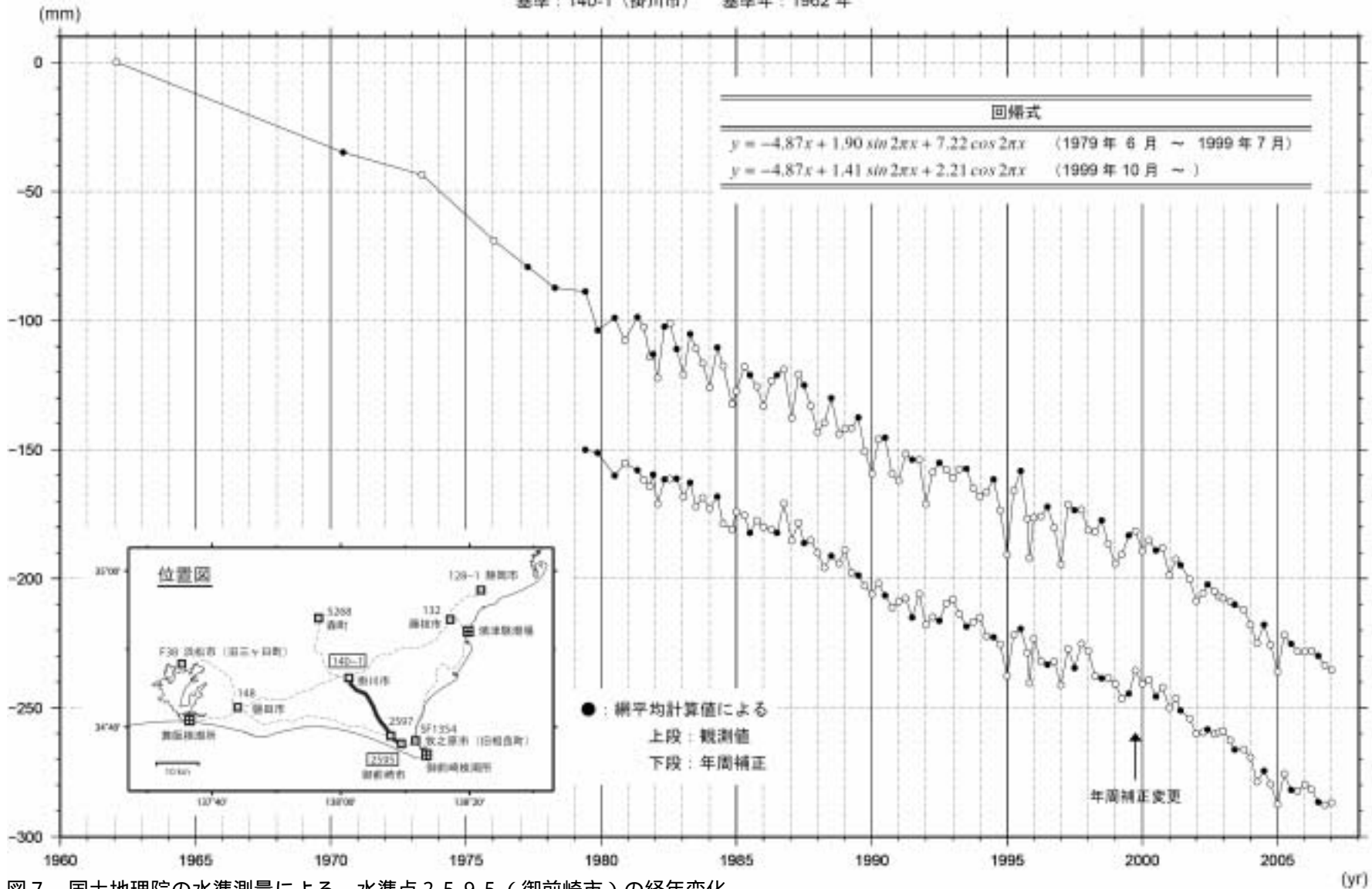


図7 国土地理院の水準測量による、水準点2595（御前崎市）の経年変化
 これまでと同様、掛川に対して御前崎は沈降し続けている。

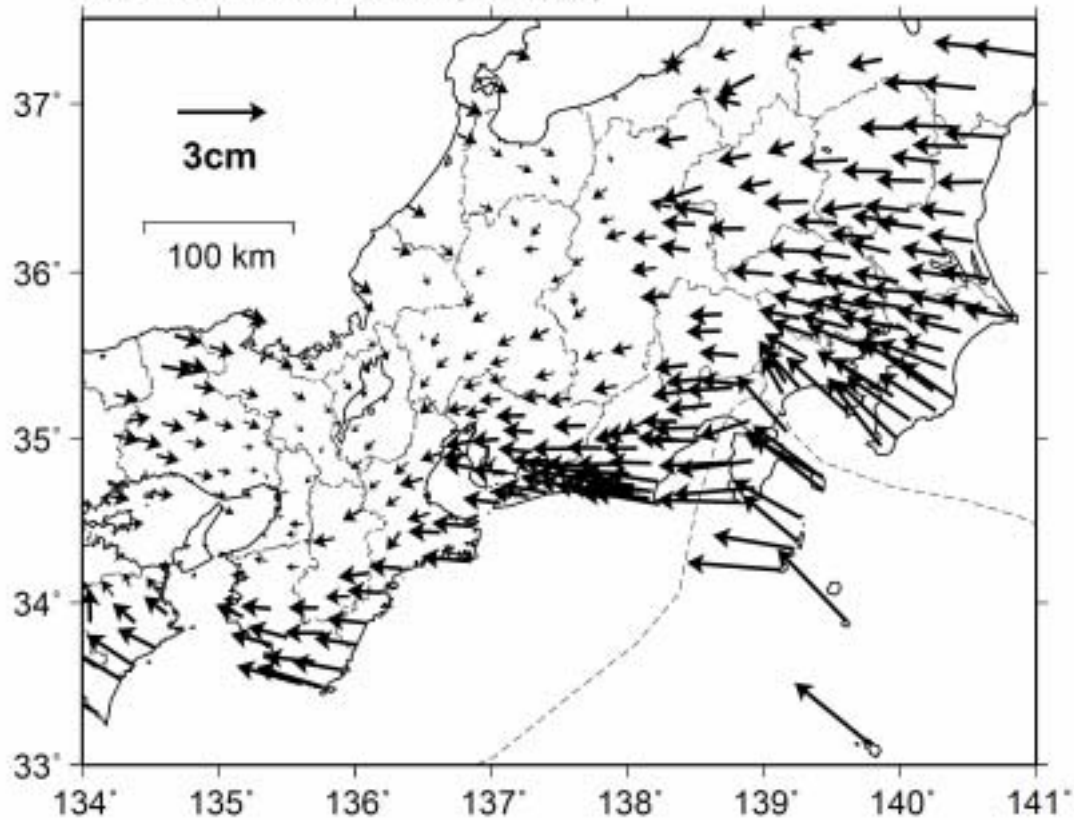
国土地理院資料

東海地方の最近の地殻変動（水平変動）【大湊固定】

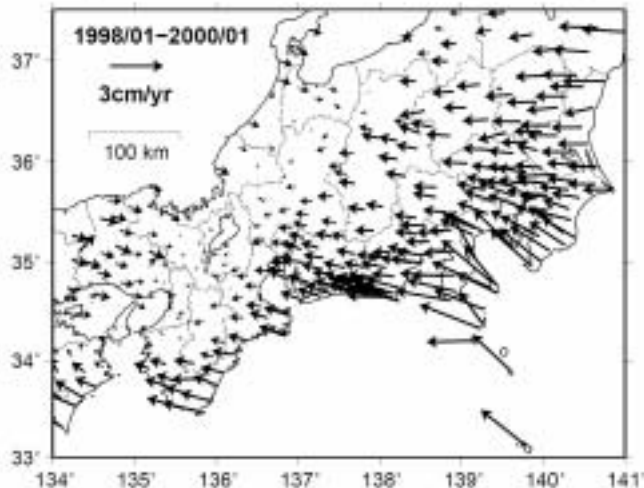
（2006年1月～2007年1月）

基準期間：2006/1/25 - 2006/2/3 [F2：最終解]

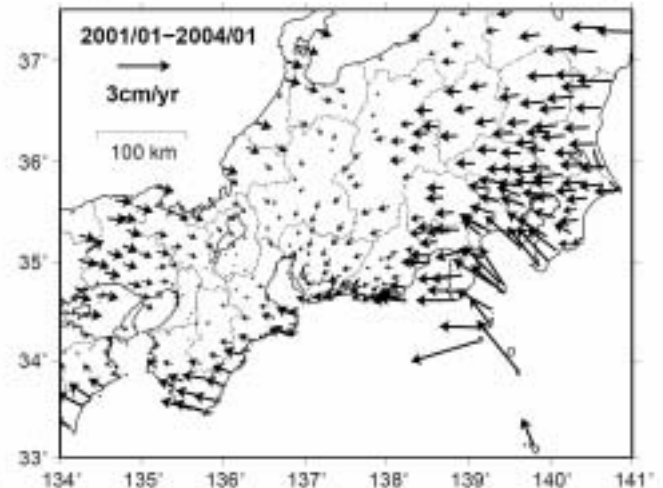
比較期間：2007/1/25 - 2007/2/3 [F2：最終解]



スロースリップ開始以前の地殻変動速度
(1998年1月～2000年1月)



スロースリップ進行期の地殻変動速度
(2001年1月～2004年1月)



国土地理院資料

図8 国土地理院のGPS観測結果による東海地域の非定常的地殻変動

上図は、最近のGPS観測点が1年前と比べて水平方向にどの程度動いたかを示したものである。（最近：2007年1月25日～2007年2月3日、新潟県のGPS観測点大湊を固定。）東海地方に西～北西方向に変動する領域が見られるが、これは下左図の、スロースリップ（ゆっくり滑り）開始以前の定常的な状態と似ている。

2ヶ月ごとの東海非定常地殻変動（水平変動）【大潟固定】

○平滑化した非定常地殻変動について、2ヶ月ごとの変動量を表示している。

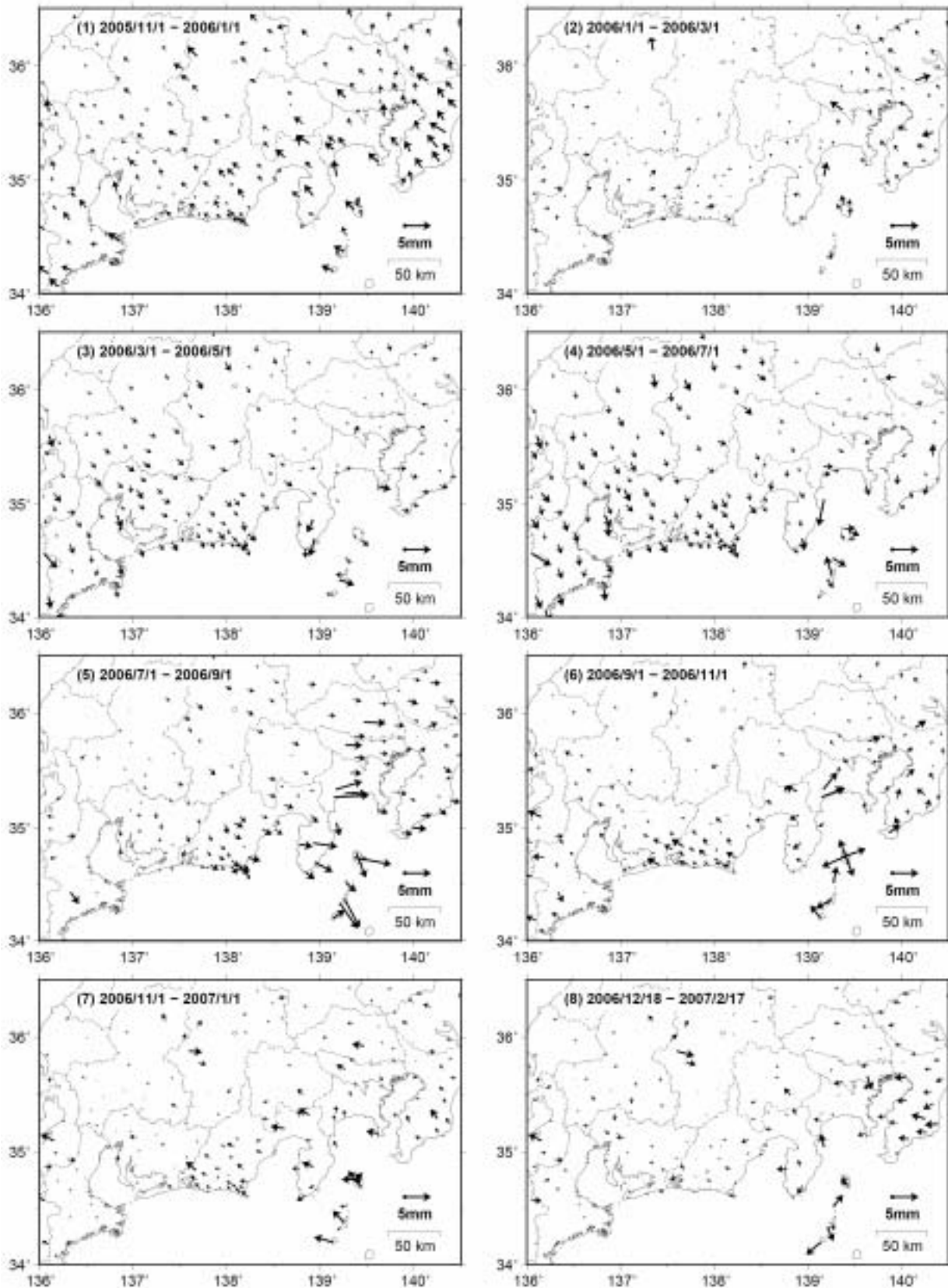


図9 国土地理院のGPS観測結果による2ヶ月間で見た東海非定常地殻変動（2005年11月～2007年2月17日）大潟固定

国土地理院資料

2006年1月には、変動が小さくなっており、その後は季節変動が見えていると考えられる。最近(8)もベクトルが小さく、ゆっくり滑りによる地殻変動は発生していないと思われる。

日本の主な火山活動

平成 19 年（2007 年）2 月の主な火山活動は次のとおりである。

【噴火した火山】

桜 島 [比較的静穏な噴火活動（レベル 2）]

南岳山頂火口で 10 日、13 日及び 16 日に爆発的噴火が発生した。

諏訪之瀬島 [活発な状況（レベル 3）]

5 ～ 7 日、19 日、20 日に爆発的噴火が発生した。

【活発もしくはやや活発な状況の火山】

樽前山 [やや活発な状況]

A 火口及び B 噴気孔群は依然として高温の状態が続いていると推定される。

御嶽山 [やや活発な状況]

火山性地震はやや多く、火山性微動が時々発生しているほか、山体の膨張を示すわずかな伸びも見られている。

御嶽山の火山活動はやや活発な状況で経過しており、山頂付近では注意が必要である。

三宅島 [やや活発な状況]

噴煙活動は活発で、多量の火山ガス放出が続いている。

硫黄島 [やや活発な状況]

国土地理院及び防災科学技術研究所の観測によると、昨年 8 月以降、島北部の元山地域付近で大きな隆起が続いている。

福徳岡ノ場 [やや活発な状況]

1 日に第三管区海上保安本部が、また、19 日に海上自衛隊が上空から行った観測で、付近の海面に火山活動によるとみられる変色水が確認された。

霧島山（御鉢）[やや活発な状況（レベル 2）] 5 日に静穏な状況（レベル 1）から引き上げ

5 日に振幅のやや大きな火山性微動が発生するなど、火山活動はやや活発な状態となっている。

薩摩硫黄島 [やや活発な状況（レベル 2）]

噴煙活動はやや活発で、火山性地震のやや多い状態が続いている。

口永良部島 [やや活発な状況（レベル 2）]

火山性地震及び火山性微動のやや多い状態が続いている。

【静穏な状況となった火山】

十勝岳 [静穏な状況] 16 日にやや活発な状況から引き下げ

62-2 火口では昨年 1 月以降熱活動が低下し、火山活動は静穏な状況となった。

【静穏な状況であるが、観測データ等に変化のあった火山】

箱根山 [静穏な状況]

16 日から 18 日にかけて地震がやや増加した。

注 1 レベル

本資料で示すレベルは、現在 12 火山に導入している火山活動度レベルをいう。

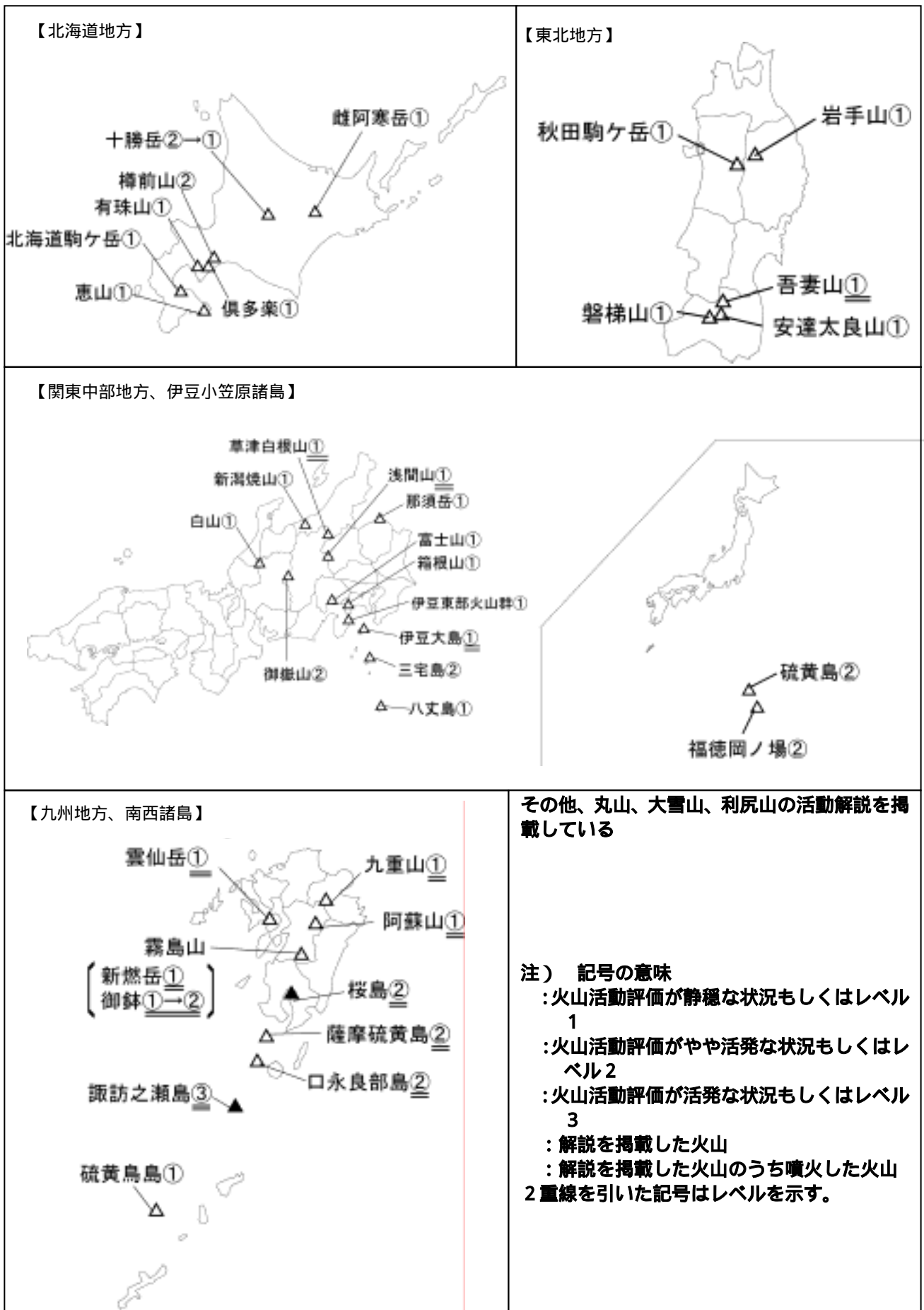


図 1 各火山の活動状況

各火山の活動解説

【北海道地方】

^{めあかんだげ}**雌阿寒岳** 【静穏な状況】

地震活動、噴煙活動は低調な状態で、地殻変動に特段の変化はなく、火山活動は静穏に経過している。

^{まるやま}**丸山** 【静穏な状況】

26日に行った上空からの観測（北海道開発局の協力による）では、噴気は認められず、火口の状況に特段の変化はなく、火山活動は静穏な状況であった。

^{たいせつざん}**大雪山** 【静穏な状況】

26日に行った上空からの観測（北海道開発局の協力による）では、噴気や火口の状況に特段の変化はなく、火山活動は静穏な状況であった。

^{とちがだけ}**十勝岳** 【静穏な状況】 16日にやや活発な状況から引き下げ

十勝岳では、昨年 1 月以降、62-2 火口の噴煙活動や火口温度は次第に低下し、火山活動は静穏な状況となった。

26日に行った上空からの観測（北海道開発局の協力による）でも 62-2 火口の噴煙は弱い状態で、火口の状況に変化はなかった。また、火山性地震は少ない状態が続いており、火山性微動は観測されず、地殻変動に特段の変化はなかった。

^{りしりざん}**利尻山** 【静穏な状況】

26日に行った上空からの観測（北海道開発局の協力による）では、噴気などは認められず、火山活動は静穏な状況であった。

^{なるまえざん}**樽前山** 【やや活発な状況】

山頂溶岩ドーム周辺の A 火口および B 噴気孔群では依然として高温状態が続いていると推定される。

火山活動はやや活発な状況で経過しており、火口周辺では注意が必要である。

なお、他の観測データには特段の変化はなかった。

^{くつたら}**倶多楽** 【静穏な状況】

地震活動は低調な状態で、火山活動は静穏に経過している。

^{うすざん}**有珠山** 【静穏な状況】

地震活動、噴煙活動は低調な状態で、地殻変動

に特段の変化はなく、火山活動は静穏に経過している。

^{ほっかいどうこまがたけ}**北海道駒ヶ岳** 【静穏な状況】

GPS による地殻変動観測ではわずかな山体膨張が引き続き観測されている。また、昭和 4 年火口では、2003 年 9 月以降観測されている弱い噴気がしばしば認められている。地震活動は低調な状態で、火山活動は静穏に経過している。

^{えざん}**恵山** 【静穏な状況】

地震活動は低調な状態で、火山活動は静穏に経過した。

【東北地方】

^{いわてざん}**岩手山** 【静穏な状況】

地震活動、噴煙活動は低調な状態で、火山活動は静穏に経過している。

^{あきたこまがたけ}**秋田駒ヶ岳** 【静穏な状況】

地震活動は低調な状態で、火山活動は静穏に経過している。

^{あづまやま}**吾妻山** 【静穏な状況（レベル 1）】

火山性地震は昨年 11 月以降減少したものの依然としてやや多い状態が続いている。しかし、噴煙活動は低調な状態で、地殻変動に特段の変化はなく、火山活動は静穏に経過している。

^{あだたらやま}**安達太良山** 【静穏な状況】

地震活動、噴煙活動は低調な状態で、地殻変動に特段の変化はなく、火山活動は静穏に経過している。

^{ほんだいざん}**磐梯山** 【静穏な状況】

地震活動、噴煙活動は低調な状態で、地殻変動に特段の変化はなく、火山活動は静穏に経過している。

【関東・中部地方、伊豆・小笠原諸島】

^{なすだげ}**那須岳** 【静穏な状況】

地震活動、噴煙活動は低調な状態で、地殻変動には火山活動によるとみられる特段の変化はなく、火山活動は静穏に経過している。

^{くまつしらねざん}**草津白根山** 【静穏な状況（レベル 1）】

地震活動、噴煙活動は低調な状態で、地殻変動に特段の変化はなく、火山活動は静穏に経過して

いる。

浅間山 あさまやま 【静穏な状況（レベル1）】

噴煙活動はやや活発な状態が続いており、噴煙高度は火口縁上 100～200m で推移した。

13 日に実施した観測では、二酸化硫黄放出量は一日あたり 100～200t 程度で昨年 8 月以降やや少ない状態が続いている。

地震活動は低調な状態で、地殻変動に特段の変化はなく、火山活動は静穏に経過している。

新潟焼山 にいがたやげやま 【静穏な状況】

地震活動は低調な状態で、新潟県土木部砂防課の焼山温泉監視カメラでは噴煙活動に特段の変化はなく、火山活動は静穏に経過している。

御嶽山 おんたけさん 【やや活発な状況】

火山性地震はやや多く、火山性微動が時々発生しているほか、御嶽山の地下の膨張を示すわずかな伸びも見られている。

昨年 12 月下旬から始まった山頂付近の浅い所を震源とする微小な火山性地震の発生回数は、1 月中旬頃をピークにその後は次第に減少する傾向が認められているが、依然としてやや多い状態が続いている。1 月 21 日以降、断続的に発生していた振幅の小さな火山性微動は、2 月 10 日以降観測されていない。

気象庁及び国土地理院が御嶽山周辺に設置している GPS による地殻変動観測では、昨年 12 月から見られている山体の膨張を示すわずかな伸びの変化は、2 月中旬頃から鈍化傾向が認められているが、現在も継続している。

剣ヶ峰の南東約 14km に設置してある遠望カメラでは、山頂部の噴気等は観測されなかった。また、長野県木曾建設事務所による御嶽滝越カメラ（剣ヶ峰の南西約 7 km に設置）でも、剣ヶ峰南西側の地獄谷下部に従来から見られていた弱い噴気が時々認められた程度で、特に異常はなかった。6 日に行った上空からの観測（岐阜県の協力による）では、地獄谷付近に弱い噴気が確認されましたが、前回観測（1 月 23 日、長野県の協力による）と比較して地表面温度分布¹⁾に特に異常は認められなかった。

御嶽山の火山活動はやや活発な状況になっており、山頂付近では注意が必要である。

1) 赤外熱映像装置による。赤外熱映像装置は物体が放射する赤外線を感知して温度分布を測定する測器であり、熱源から離れた場所から測定することができる利点があるが、測定距離や大気等の影響で実際の熱源の温度よりも低く測定される場合がある。

白山 はくさん 【静穏な状況】

地震活動は低調な状態で、国土交通省金沢河川国道事務所の土砂災害監視用カメラでは山頂部に噴気は認められず、火山活動は静穏に経過している。

富士山 ふじさん 【静穏な状況】

地震活動は低調な状態で、火山活動は静穏に経過している。

箱根山 はこねやま 【静穏な状況】

16 日から 18 日にかけて、駒ヶ岳の南西側を震源とする地震がやや増加した。最大地震は 17 日 12 時 26 分に発生したマグニチュード²⁾ 2.1 であった。今回の地震活動に関連し、気象庁が湯河原に設置している体積歪(ひずみ)計³⁾ や神奈川県温泉地学研究所の傾斜計⁴⁾ 等による地殻変動観測には特段の変化はなかった。また、地震増加時を含め、環境省インターネット研究所の箱根・大湧谷カメラでは大湧谷の噴気等に特段の変化はなく、火山活動は静穏に経過している。

- 2) マグニチュードは地震の規模を示す。資料中のマグニチュードは暫定値で、後日変更することがある。
- 3) センサーで周囲の岩盤から受ける力による体積の変化をとらえ、岩石の伸びや縮みを精密に観測する機器。火山体直下へのマグマの注入等により変化が観測されることがあります。
- 4) 火山活動による山体の傾きを精密に観測する機器。山体直下へのマグマの注入等により、山体が膨張・収縮した場合に変化が観測されることがある。

伊豆東部火山群 いずとうぶかざんぐん 【静穏な状況】

地震活動は低調な状態で、噴煙など表面現象は認められず、地殻変動に特段の変化はなく、火山活動は静穏に経過している。

伊豆大島 いずおshima 【静穏な状況（レベル1）】

GPS 連続観測及び光波距離計⁵⁾ による連続観測では、深部へのマグマ注入によると考えられる長期的な島全体の膨脹傾向は、昨年 8 月頃からわずかな収縮に変わっている。島北西部に設置した体積歪(ひずみ)計²⁾ による観測でも、昨年 8 月頃から縮みに変化がみられた。

19 日に行った現地調査では、三原山山頂火口内及びその周辺では、弱い噴気が認められる程度で、熱活動に特段の変化はなかった。

地震活動は低調な状態で、火山活動は静穏に経過している。

- 5) 光波距離計を用いて山体に設置した反射鏡までの距離を測定し、山体の膨脹や収縮による距離の変化を観測している。

三宅島 みやけしま 【やや活発な状況】

噴煙活動は引き続き活発で、多量の火山ガス放出が続いている。

噴煙活動は活発な状態が続いており、噴煙高度は火口縁上概ね200mで推移した。

6日、16日及び21日に実施した観測では、二酸化硫黄放出量は一日あたり900～4,500 tで、依然として多量の火山ガスの放出が続いている。なお、三宅村の火山ガス濃度観測でも、山麓でたびたび高濃度の二酸化硫黄が観測されている。

7日に行った上空からの観測（海上自衛隊の協力による）では、火口内の地形等に特に大きな変化はなく、山頂火口南側内壁に位置する主火口及びその周辺の地表面温度分布¹⁾にも特段の変化はなかった。地磁気全磁力観測⁶⁾では山体内部の熱の状態には特に大きな変化はなかった。

火山性地震は増減を繰り返しながらやや多い状態が続いている。17日17時35分及び18時48分に

は空振⁷⁾を伴う低周波地震⁸⁾が発生したが、地震発生時の噴煙状況に特段の変化は認められなかった。火山性微動は観測されなかった。

GPSによる地殻変動観測では、山体浅部の収縮を示す地殻変動は徐々に小さくなりながら、現在も継続している。

多量の火山ガスの放出は当分継続すると考えられ、引き続き火山ガスに対する警戒が必要である。

6) 山頂火口の北側で全磁力値が増加、南側で減少の変化がみられた場合は、火山体内部で温度上昇があったと考えられる。

7) 噴火などで発生した空気の急激な圧力変化が大気中を周囲に伝わる現象。

8) 周期の長い波を特徴とした地震。三宅島では、空振を伴う低周波地震が発生した場合には、山頂火口から火山灰噴出を伴うことがある。

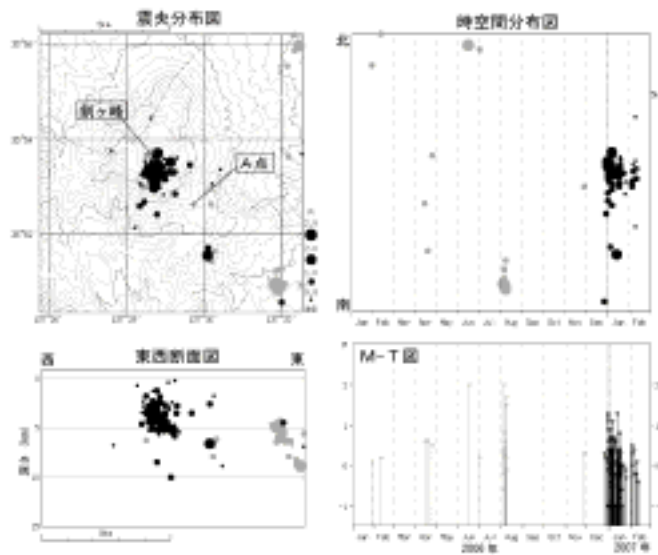


図2 御嶽山 山頂付近の地震活動（2006年1月～2007年2月）

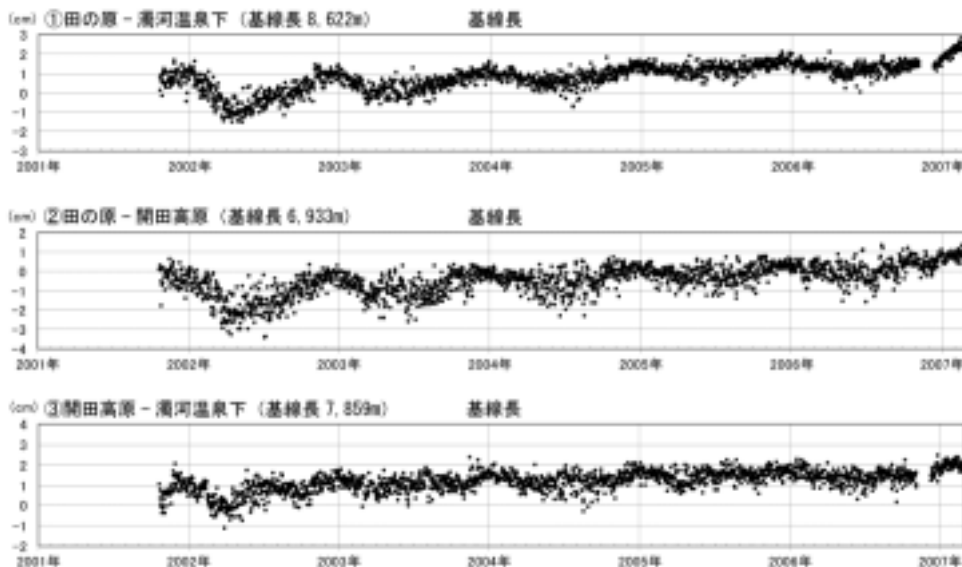


図3 御嶽山 GPS連続観測による基線長変化（2001年1月～2007年2月）

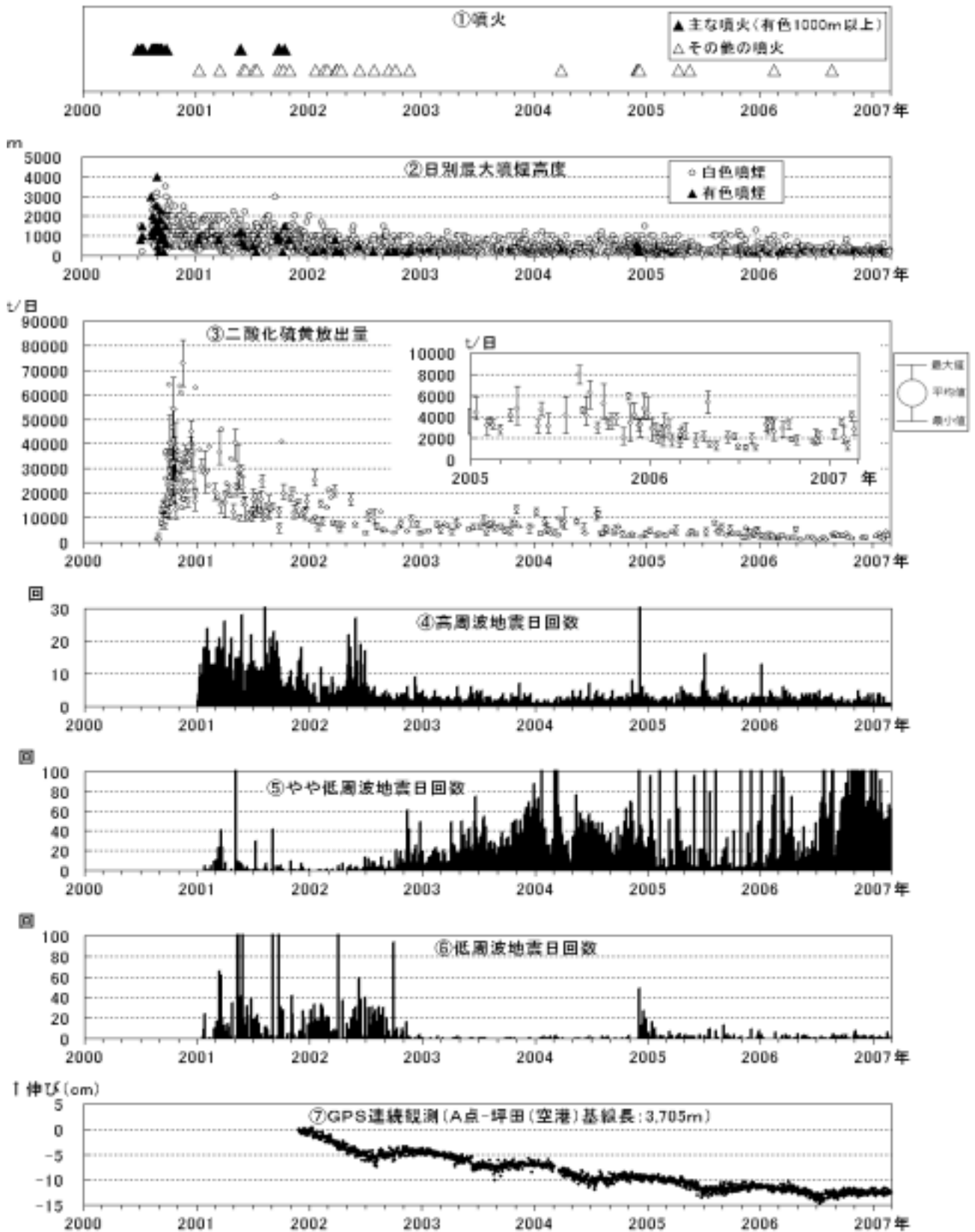


図4 三宅島 最近の火山活動の推移 (2000年1月~2007年2月)

は、陸上自衛隊、海上自衛隊、航空自衛隊、海上保安庁、東京消防庁及び警視庁の協力を得て作成。
、及び は、地震の種類別 (図5参照) に計数を開始した2001年1月1日からのデータを掲載。

八丈島 はちじょうじま **【静穏な状況】**

地震活動は低調な状態で、火山活動は静穏に経過している。

硫黄島 いおうじま **【やや活発な状況】**

島北部の元山地域付近での大きな隆起の地殻変動が続いている。

国土地理院の GPS 観測によると、昨年 8 月以降、島北部の元山地域付近で大きな隆起が続いており、11 月中旬から 12 月末にかけて隆起量がかなり大きくなった。今年 1 月以降、隆起はやや鈍化する傾向が見られているが、依然として継続している。また、防災科学技術研究所の地震観測によると、大きな隆起の地殻変動とほぼ同期して、昨年 11 月中旬から島内の火山性地震が増加する傾向が見られ、12 月末には一時的な多発もあった。しかし、1 月に入り地震活動は低下して、現在は落ち着いた状態となっている。

硫黄島の火山活動はやや活発な状況で経過しており、従来から小規模な水蒸気爆発が繰り返されてきた島北部の元山地域を取り囲む円周上の領域（東部や北部の海岸部から阿蘇台陥没孔あそだいかんぼつこうから千鳥ヶ原ちどりがはらにかけて）では、今後も注意が必要である。

福徳岡ノ場 ふくとくおかのぼ **【やや活発な状況】**

1 日に第三管区海上保安本部が、また、19 日に海上自衛隊が行った上空からの観測で、火山活動によるとみられる変色水が確認された。

【九州地方及び南西諸島】

九重山 くじゅうざん **【静穏な状況（レベル 1）】**

地震活動、噴煙活動は低調な状態で、地殻変動に特段の変化はなく、火山活動は静穏に経過している。

阿蘇山 あそざん **【静穏な状況（レベル 1）】**

中岳第一火口の熱活動、噴煙活動及び地震活動は低調な状態で、地殻変動や地磁気全磁力にも特段の変化はなかった。

中岳第一火口付近では引き続き火山ガスに対する注意が必要である。

雲仙岳 うんぜんだけ **【静穏な状況（レベル 1）】**

地震活動、噴煙活動は低調な状態で、地殻変動に特段の変化はなく、火山活動は静穏に経過した。

霧島山（新燃岳） きりしまやま しんもんだけ **【静穏な状況（レベル 1）】**

地震活動、噴煙活動は低調な状態で、地殻変動

に特段の変化はなく、火山活動は静穏に経過している。

霧島山（御鉢） きりしまやま おはち **【やや活発な状況（レベル 2）】**

5 日に静穏な状況（レベル 1）から引き上げ

昨年 12 月下旬から、振幅の小さな火山性微動が時折観測されていたが、5 日に振幅のやや大きな火山性微動が発生した。

火山活動はやや活発な状況になっており、火口付近では注意が必要である。

なお、火山性地震は少ない状態で経過した。また、火口縁を超える噴気は認められず、地殻変動に特段の変化はなかった。

桜島 さくらじま **【比較的静穏な噴火活動（レベル 2）】**

南岳山頂火口では、10 日、13 日、16 日に爆発的噴火が発生したほか、小規模な噴火も観測された。

昭和火口では、噴火は発生しなかったが、弱い噴気が時々観測された。16 日に行った現地観測では、昭和火口周辺に継続して高温域が認められている。

火山性地震や火山性微動はやや多い状態が続いており、振幅や火山性微動の継続時間がやや増大する傾向が認められている。GPS による地殻変動観測では、始良カルデラ（鹿児島湾奥部）の地下深部へのマグマ注入による膨張が引き続き観測されている。

桜島では噴火活動が継続しており、南岳山頂火口及び昭和火口から半径 2 km 以内では注意が必要である。

薩摩硫黄島 さつまいおうじま **【やや活発な状況（レベル 2）】**

硫黄岳山頂火口の噴煙活動はやや活発で、噴煙高度は火口縁上概ね 200m で推移した。

火山性地震はやや多い状態が続いている。振幅の小さく継続時間の短い火山性微動が時々観測された。

火山活動はやや活発な状況で経過しており、火口周辺では注意が必要である。

口永良部島 くちのえらぶじま **【やや活発な状況（レベル 2）】**

火山性地震及び火山性微動のやや多い状態が続いている。

GPS による地殻変動観測では新岳の膨張を示す傾向は昨年 12 月以降鈍化している。

遠望カメラ（新岳しんだけの北西約 4 km に設置）による観測では新岳火口周辺の噴気地帯で高さ 10m 程度の弱い噴気が時々認められた。

火山活動はやや活発な状況で経過しており、火口周辺では注意が必要である。

諏訪之瀬島 **【活発な状況（レベル3）】**

5～7日、19日、20日に爆発的噴火があったほか、十島村役場諏訪之瀬島出張所によると、小規模な噴火も時々発生した。20日には一日で16回の爆発を観測した。

火山性地震はやや多い状態で経過した。また、噴火活動に伴い火山性連続微動が発生した。

火山活動は活発な状況で経過しており、御岳火

口から半径2 km 以内では注意が必要である。

硫黄島 **【静穏な状況】**

20日に第十管区海上保安本部が行った上空からの観測では、従来から見られていた弱い噴気が認められた程度で、火山活動に特段の変化はなかった。

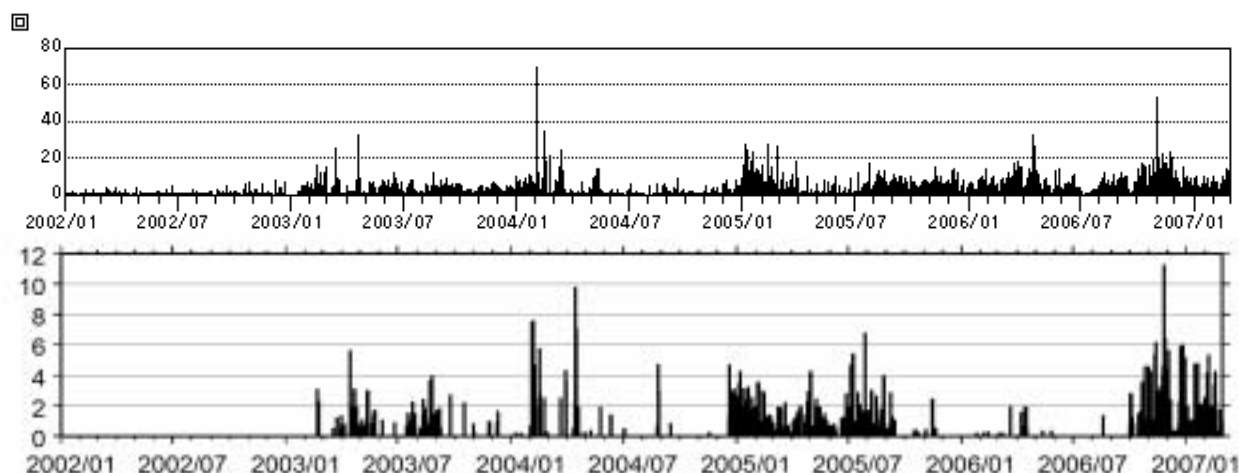


図5 口永良部島 火山性地震及び火山性微動の発生状況（2002年1月～2007年2月）

資料1 2007年2月の火山情報発表状況

火山名	情報の種類及び号数	発表日時	概要
十勝岳	火山観測情報第1号	16日 18:30	62-2火口の噴煙活動、火口温度が低下するなど火山活動は静穏な状況となった。
御嶽山	火山観測情報第4号	2日 14:00	1月29日から2月2日13時までの活動状況。火山活動はやや活発な状況。
	火山観測情報第5号	5日 16:00	2日から5日15時までの活動状況。火山活動はやや活発な状況。
	火山観測情報第6号	8日 14:00	5日から8日13時までの活動状況。GPSによる地殻変動観測で昨年12月以降わずかな伸びの変化を確認。6日の上空観測結果。火山活動はやや活発な状況。
	火山観測情報第7号	13日 16:00	8日から13日15時までの活動状況。火山活動はやや活発な状況。
	火山観測情報第8号	16日 18:30	第106回火山噴火予知連絡会による検討結果。火山活動はやや活発な状況。
	火山観測情報第9号	19日 16:00	16日から19日15時までの活動状況。火山活動はやや活発な状況。
	火山観測情報第10号	23日 14:00	19日から23日13時までの活動状況。火山活動はやや活発な状況。
	火山観測情報第11号	26日 16:00	23日から26日15時までの活動状況。火山活動はやや活発な状況。
	三宅島	火山観測情報第5～8号（週1回発表）	2日、9日 16日、23日 16:30
霧島山	火山観測情報第2号	5日 13:40	5日に振幅のやや大きな火山性微動が発生するなど、火山活動はやや活発な状況となった。レベルは2

資料2 過去1年間の火山活動の状況（やや活発もしくは活発な状況であった火山）

火 山 名		平成18年										平成19年	
		3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
雌阿寒岳	噴火												
	活動												
十勝岳	噴火												
	活動												
樽前山	噴火												
	活動												
浅間山	噴火												
	レベル												
御嶽山	噴火												
	活動												
伊豆大島	噴火												
	レベル												
三宅島	噴火												
	活動												
硫黄島	噴火												
	活動												
福德岡ノ場	噴火												
	活動												
阿蘇山	噴火												
	レベル												
霧島山（新燃岳）	噴火												
	レベル												
霧島山（御鉢）	噴火												
	レベル												
桜島	噴火												
	レベル												
薩摩硫黄島	噴火												
	レベル												
口永良部島	噴火												
	レベル												
諏訪之瀬島	噴火												
	レベル												

（注）表中で、活動とは火山活動評価を示す。また、記号は以下のとおり

- ：火山活動評価が静穏な状況もしくはレベル1
- ：火山活動評価がやや活発な状況もしくはレベル2
- ：火山活動評価が活発な状況もしくはレベル3
- ：噴火

全国の火山活動評価結果（2月28日現在）

（1）主な活火山（35火山）

最近の活動経過は、火山活動度レベル導入火山（ ）についてはレベル導入以降の、それ以外の火山（ ）については第 101 回火山噴火予知連絡会（平成 17 年 6 月 21 日開催）以降で最初に評価を明記した火山噴火予知連絡会開催日からの活動経過を示している。

（注）黒太字は平成 19 年 2 月に活動評価を変更した火山。

	火山名	火山活動評価	
		1月31日現在	最近の活動経過
北海道地方	雌阿寒岳	静穏な状況	平成 17 年 6 月 21 日 静穏 平成 18 年 2 月 18 日 やや活発 3 月 21 日 【噴火】活発 6 月 12 日 やや活発 8 月 25 日 静穏
	十勝岳	静穏な状況	平成 17 年 6 月 21 日 やや活発 平成 19 年 2 月 16 日 静穏
	樽前山	やや活発な状況	平成 17 年 6 月 21 日 やや活発
	倶多楽	静穏な状況	平成 18 年 2 月 28 日 静穏
	有珠山	静穏な状況	平成 17 年 6 月 21 日 静穏
	北海道駒ヶ岳	静穏な状況	平成 17 年 6 月 21 日 静穏
	恵山	静穏な状況	平成 17 年 11 月 2 日 静穏
東北地方	岩手山	静穏な状況	平成 17 年 6 月 21 日 静穏
	秋田駒ヶ岳	静穏な状況	平成 17 年 6 月 21 日 静穏
	吾妻山	静穏な状況（レベル1）	平成 17 年 2 月 1 日 静穏（レベル1）
	安達太良山	静穏な状況	平成 17 年 6 月 21 日 静穏
	磐梯山	静穏な状況	平成 17 年 6 月 21 日 静穏
関東・中部地方及び伊豆小笠原諸島	那須岳	静穏な状況	平成 17 年 6 月 21 日 静穏
	草津白根山	静穏な状況（レベル1）	平成 17 年 2 月 1 日 静穏（レベル1）
	浅間山	静穏な状況（レベル1）	平成 15 年 11 月 4 日 やや活発（レベル2） 平成 16 年 7 月 20 日 静穏（レベル1） 7 月 31 日 やや活発（レベル2） 9 月 1 日 【噴火】活発（レベル3） 平成 17 年 6 月 21 日 やや活発（レベル2） 平成 18 年 9 月 22 日 静穏（レベル1）
	新潟焼山	静穏な状況	平成 18 年 2 月 28 日 静穏
	御嶽山	やや活発な状況	平成 17 年 6 月 21 日 静穏 平成 19 年 1 月 19 日 やや活発
	白山	静穏な状況	平成 17 年 11 月 2 日 静穏
	富士山	静穏な状況	平成 17 年 6 月 21 日 静穏
	箱根山	静穏な状況	平成 18 年 11 月 14 日 静穏
	伊豆東部火山群	静穏な状況	平成 17 年 6 月 21 日 静穏
	伊豆大島	静穏な状況（レベル1）	平成 15 年 11 月 4 日 静穏（レベル1）
	三宅島	やや活発な状況	平成 17 年 6 月 21 日 やや活発
	八丈島	静穏な状況	平成 18 年 2 月 28 日 静穏
	硫黄島	やや活発な状況	平成 17 年 6 月 21 日 静穏 平成 19 年 1 月 9 日 やや活発
	福徳岡ノ場	やや活発な状況	平成 17 年 11 月 2 日 やや活発

	火山名	火山活動評価	
		現在	最近の活動経過
九州地方・南西諸島	九重山	静穏な状況（レベル1）	平成 17 年 2 月 1 日 静穏（レベル1）
	阿蘇山	静穏な状況（レベル1）	平成 15 年 11 月 4 日 やや活発（レベル2） 平成 16 年 1 月 14 日 【噴火（土砂噴出）】 活発（レベル3） 2 月 13 日 やや活発（レベル2） 平成 17 年 4 月 14 日 【噴火（土砂噴出）】 活発（レベル3） 5 月 13 日 やや活発（レベル2） 平成 18 年 1 月 20 日 静穏（レベル1） 3 月 24 日 やや活発（レベル2） 8 月 4 日 静穏（レベル1）
	雲仙岳	静穏な状況（レベル1）	平成 15 年 11 月 4 日 静穏（レベル1）
	霧島山 （新燃岳）	静穏な状況（レベル1）	平成 17 年 2 月 1 日 静穏（レベル1） 平成 18 年 2 月 1 日 やや活発（レベル2） 5 月 22 日 静穏（レベル1） 平成 18 年 12 月 3 日 やや活発（レベル2） 平成 19 年 1 月 9 日 静穏（レベル1）
	霧島山 （御鉢）	やや活発な状況（レベル2）	平成 17 年 2 月 1 日 やや活発（レベル2） 平成 18 年 5 月 22 日 静穏（レベル1） 平成 19 年 2 月 5 日 やや活発（レベル2）
	桜島	比較的静穏な噴火活動 （レベル2）	平成 15 年 11 月 4 日 比較的静穏な噴火活動 （レベル2） 平成 18 年 6 月 12 日 【昭和火口から噴火】 活発（レベル3） 8 月 18 日 比較的静穏な噴火活動 （レベル2）
	薩摩硫黄島	やや活発な状況（レベル2）	平成 17 年 2 月 1 日 やや活発（レベル2）
	口永良部島	やや活発な状況（レベル2）	平成 17 年 2 月 1 日 やや活発（レベル2）
	諏訪之瀬島	活発な状況（レベル3）	平成 17 年 2 月 1 日 【噴火継続】 活発（レベル3）
	硫黄島	静穏な状況	平成 19 年 2 月 16 日 静穏

（2）その他の活火山（50 火山）

以下の活火山では、いずれも火山活動は静穏な状況である。

	火山名
北海道地方	知床硫黄山、羅臼岳、摩周、アトサヌプリ、丸山、大雪山、利尻山、恵庭岳、羊蹄山、ニセコ、渡島大島
東北地方	恐山、岩木山、八甲田山、十和田、秋田焼山、八幡平、鳥海山、栗駒山、鳴子、肘折、蔵王山、沼沢、燧ヶ岳
関東・中部地方 及び伊豆・小笠原諸島	高原山、日光白根山、赤城山、榛名山、横岳、妙高山、弥陀ヶ原、焼岳、アカンダナ山、乗鞍岳、利島、新島、神津島、御蔵島、青ヶ島
中国・九州地方 及び南西諸島	三瓶山、阿武火山群、鶴見岳・伽藍岳、由布岳、福江火山群、米丸・住吉池、若尊、池田・山川、開聞岳、口之島、中之島

資料3 第 106 回火山噴火予知連絡会コメント

平成 19 年 2 月 16 日、第 106 回火山噴火予知連絡会が開催され、同連絡会は、最近の全国の火山活動について委員及び関係機関からの報告をもとに取りまとめ、終了後、気象庁から以下のとおり発表した。

第 106 回火山噴火予知連絡会 全国の火山活動の評価

御嶽山では、昨年 12 月下旬から山頂付近で地震が発生し始め、その後も増減を繰り返しながらやや多い状態が続き、今年 1 月 19 日以降は火山性微動も時々発生しています。また、御嶽山のわずかな膨張も見られています。火山活動はやや活発な状況となっており、山頂付近では注意が必要です。

桜島では、南岳山頂火口で爆発的噴火が時々発生し、火山性地震や微動のやや多い状態が続いており、火山活動はやや活発な状況です。火口周辺では引き続き注意が必要です。

口永良部島では、火山性地震や微動がやや多く、火山活動はやや活発な状況が続いています。火口周辺では引き続き注意が必要です。

硫黄島では、昨年 8 月以降、島北部の元山地域付近で大きな隆起が続いており、島内の地震活動もやや活発になりました。今年に入り、地震活動は低下していますが、隆起はやや鈍化しながらも継続しており、火山活動はやや活発な状況となっています。今後の火山活動に注意が必要です。

三宅島では、火山活動に全体として大きな変化はなく、やや活発な状況で経過しています。多量の火山ガス放出は当分継続すると考えられます。

前回（昨年 11 月 14 日）の火山噴火予知連絡会以降のデータを検討した結果、現在までの全国の火山活動の評価は以下のとおりです。

主な活火山

1. 北海道地方

雌阿寒岳 [静穏な状況]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過

しています。

十勝岳 [静穏な状況] 2007 年 2 月 16 日にやや活発な状況から引き下げ

- ・ 6 2 - 2 火口では昨年 1 月以降、噴煙活動及び火口温度に低下傾向が見られ、熱活動は次第に低下しました。
- ・ 地震活動は低調で、地殻変動にも特段の変化はありません。
- ・ 以上のことから、火山活動は静穏な状況になったと考えられます。

樽前山 [やや活発な状況]

- ・ A 火口および B 噴気孔群では高温が続いており、火山活動はやや活発な状況で経過しています。火口周辺では引き続き注意が必要です。

倶多楽 [静穏な状況]

- ・ 火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しています。

有珠山 [静穏な状況]

- ・ 火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しています。

北海道駒ヶ岳 [静穏な状況]

- ・ 噴気活動や地震活動に変化はなく、火山活動は静穏に経過しています。
- ・ 北海道駒ヶ岳の膨張によると考えられるわずかな伸びは引き続き観測されています。

恵山 [静穏な状況]

- ・ 火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しています。

2. 東北地方

岩手山 [静穏な状況]

- ・ 火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しています。

秋田駒ヶ岳 [静穏な状況]

- ・ 火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しています。

栗駒山 [静穏な状況]

- ・ 火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しています。

吾妻山 [静穏な状況（レベル1）]

- ・昨年7月頃からやや増加していた一切経山付近を震源とする地震には、昨年12月以降減少傾向が見られています。火山活動に特段の変化はなく静穏に経過しています。

安達太良山 [静穏な状況]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しています。

磐梯山 [静穏な状況]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しています。

3. 関東・中部地方、伊豆・小笠原諸島

那須岳 [静穏な状況]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しています。

草津白根山 [静穏な状況（レベル1）]

- ・火山ガスには若干の変化が見られますが、火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しています。

浅間山 [静穏な状況（レベル1）]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しています。

新潟焼山 [静穏な状況]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しています。

御嶽山 [やや活発な状況] 2007年1月19日に静穏から引き上げ

- ・昨年12月下旬に山頂付近を震源とする地震が発生し始め、その後も増減を繰り返しながらやや多い状態が続いています。今年1月19日以降は火山性微動も時々発生しています。
- ・GPS観測によると、昨年12月から御嶽山の地下での膨張を示すと考えられるわずかな伸びが続いています。
- ・火山活動はやや活発な状況となっていますので、山頂付近では注意が必要です。

- ・なお、山頂部南西側の地獄谷付近に見られている噴気活動に特段の異常は認められていません。

白山 [静穏な状況]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しています。

富士山 [静穏な状況]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しています。

箱根山 [静穏な状況]

- ・昨年11月中旬に、駒ヶ岳北側付近を震源とする地震が一時的に増加しました。今年1月21日には震度1の地震がありました。
- ・昨年8月頃から見られている箱根山の膨張を示すわずかな伸びは、今年1月中旬頃にはかなり鈍化しています。
- ・噴気等の表面現象には特段の異常は見られず、火山活動は静穏に経過しています。

伊豆東部火山群 [静穏な状況]

- ・昨年11月に一時的な地震増加とそれに伴うわずかな地殻変動が見られましたが、火山活動に特段の変化はなく静穏に経過しています。

伊豆大島 [静穏な状況（レベル1）]

- ・深部へのマグマ注入によると考えられる長期的な島全体の膨張傾向は、昨年8月頃からわずかな収縮に転じています。
- ・地震活動や三原山の熱活動には特段の変化はなく、火山活動は静穏に経過しています。

三宅島 [やや活発な状況]

- ・山頂火口からの噴煙活動は活発で、二酸化硫黄放出量は1日あたり1千～3千トンと、依然として多量の火山ガス放出が続いています。
- ・昨年8月24日以降、噴火の発生はありません。地震活動や地殻変動にはこれまでの傾向と比べ特に大きな変化は見られていません。
- ・三宅島では、今後も小規模な噴火が時々発

生する可能性はありますが、火山活動には全体として大きな変化はなく、やや活発な状況で経過しています。また、二酸化硫黄を含む多量の火山ガス放出は当然継続すると考えられます。

- ・今後も局所的に二酸化硫黄濃度が高くなる可能性がありますので、風下にあたる地区では引き続き火山ガスに対する警戒が必要です。また、雨による泥流にも注意が必要です。

八丈島 [静穏な状況]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しています。

硫黄島 [やや活発な状況] 2007 年 1 月 9 日に静穏から引き上げ

- ・昨年 8 月頃から始まった島北部の元山地域付近での大きな隆起の地殻変動は、11 月中旬から 12 月にかけてさらに大きくなり、これにほぼ同期して島内の地震活動がやや活発な状態となりました。
- ・今年 1 月に入り、地震活動は低下しましたが、隆起の地殻変動は鈍化しながら現在も継続しており、火山活動はやや活発な状況が続いています。
- ・島内の噴気や地温の高い領域には特段の変化は認められていませんが、従来から小規模な水蒸気爆発が繰り返されてきた島北部の元山地域を取り囲む円周上（東部や北部の海岸部から阿蘇台陥没孔から千鳥ヶ原にかけて）の領域では、火山活動に注意が必要です。

福徳岡ノ場 [やや活発な状況]

- ・変色水が度々観測されるなど、火山活動はやや活発な状況で経過しています。

4 . 九州地方・南西諸島

九重山 [静穏な状況（レベル 1）]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しています。

阿蘇山 [静穏な状況（レベル 1）]

- ・中岳第一火口の火山活動は静穏に経過していますが、火口付近では引き続き火山ガス

に対する注意が必要です。

- ・昨年 10 月に噴気活動がやや強まりごく少量の泥などを噴出した南阿蘇村吉岡（中岳第一火口から西南西約 6 km）の噴気地帯では、その後も同様な噴気活動が続いています。今後も引き続き噴気活動に注意が必要です。

雲仙岳 [静穏な状況（レベル 1）]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しています。

霧島山

新燃岳 [静穏な状況（レベル 1）] 2007 年

1 月 9 日にやや活発（レベル 2）から引き下げ

- ・昨年 12 月 3 日に火山性地震が一時的に多発し、火山活動は一時的にやや活発となりました。
- ・火山性地震は 12 月 13 日までやや多い状態が続きましたが、その後減少し、火山活動は静穏な状況となっています。

御鉢 [やや活発な状況（レベル 2）] 2007

年 2 月 5 日に静穏（レベル 1）から引き上げ

- ・昨年 12 月頃から振幅の小さな火山性微動がやや多くなっており、2 月 5 日には振幅のやや大きな火山性微動が発生しました。
- ・火山活動はやや活発な状況となっていますので、火口周辺では注意が必要です。

桜島 [比較的静穏な噴火活動（レベル 2）]

- ・南岳山頂火口では爆発的噴火が時々発生しています。
- ・火山性地震や微動はやや多い状態が続いており、時々振幅の大きなものが発生しています。

- ・地殻変動観測では、始良カルデラ（鹿児島湾奥部）の地下深部へのマグマ注入による膨張が引き続き観測されています。

- ・火山活動はやや活発な状況で経過しています。南岳山頂火口及び昭和火口の周辺では引き続き注意が必要です。

薩摩硫黄島 [やや活発な状況（レベル

2)]

- ・硫黄岳火口の噴煙活動はやや活発で、火山性地震の一時的な増加が時々見られるなど、火山活動はやや活発な状況で経過しています。火口周辺では引き続き注意が必要です。

口永良部島 [やや活発な状況 (レベル 2)]

- ・火山性地震や微動は増減を繰り返しながらやや多い状態が続いています。
- ・新岳火口及びその地下での熱活動の高い状態が続いています。
- ・火山活動はやや活発な状況で、火口周辺では引き続き注意が必要です。
- ・なお、昨年 9 月頃から続いていた新岳の膨張を示す地殻変動は、12 月以降鈍化しています。

諏訪之瀬島 [活発な状況 (レベル 3)]

- ・御岳火口では爆発的噴火が時々発生したほか、小規模な噴火を繰り返すなど、噴火活動が継続しています。
- ・十島村役場諏訪之瀬島出張所によると、集落で時折降灰を確認しました。
- ・火山活動は活発な状況で経過しています。火口周辺では引き続き注意が必要です。

硫黄島 [静穏な状況]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しています。

その他の活火山（北方四島等を除く）

以下の活火山では、いずれも火山活動は静穏な状況が続いています。

1 . 北海道地方

知床硫黄山、羅臼岳、摩周、アトサヌブリ、丸山、大雪山、利尻山、恵庭岳、羊蹄山、ニセコ、渡島大島

2 . 東北地方

恐山、岩木山、八甲田山、十和田、秋田焼山、八幡平、鳥海山、鳴子、肘折、蔵王山、沼沢、燧ヶ岳

3 . 関東・中部地方及び伊豆・小笠原諸島

高原山、日光白根山、赤城山、榛名山、横岳、妙高山、弥陀ヶ原、焼岳、アカンダナ山、乗鞍岳、利島、新島、神津島、御蔵島、青ヶ島

4 . 中国・九州地方及び南西諸島

三瓶山、阿武火山群、鶴見岳・伽藍岳、由布岳、福江火山群、米丸・住吉池、若尊、池田・山川、開聞岳、口之島、中之島

世界の主な地震

2 月に世界で発生したマグニチュード（M）6.0 以上または被害を伴った地震の震央分布を図 1 に示す。また、その震源要素等を表 1 に示す。

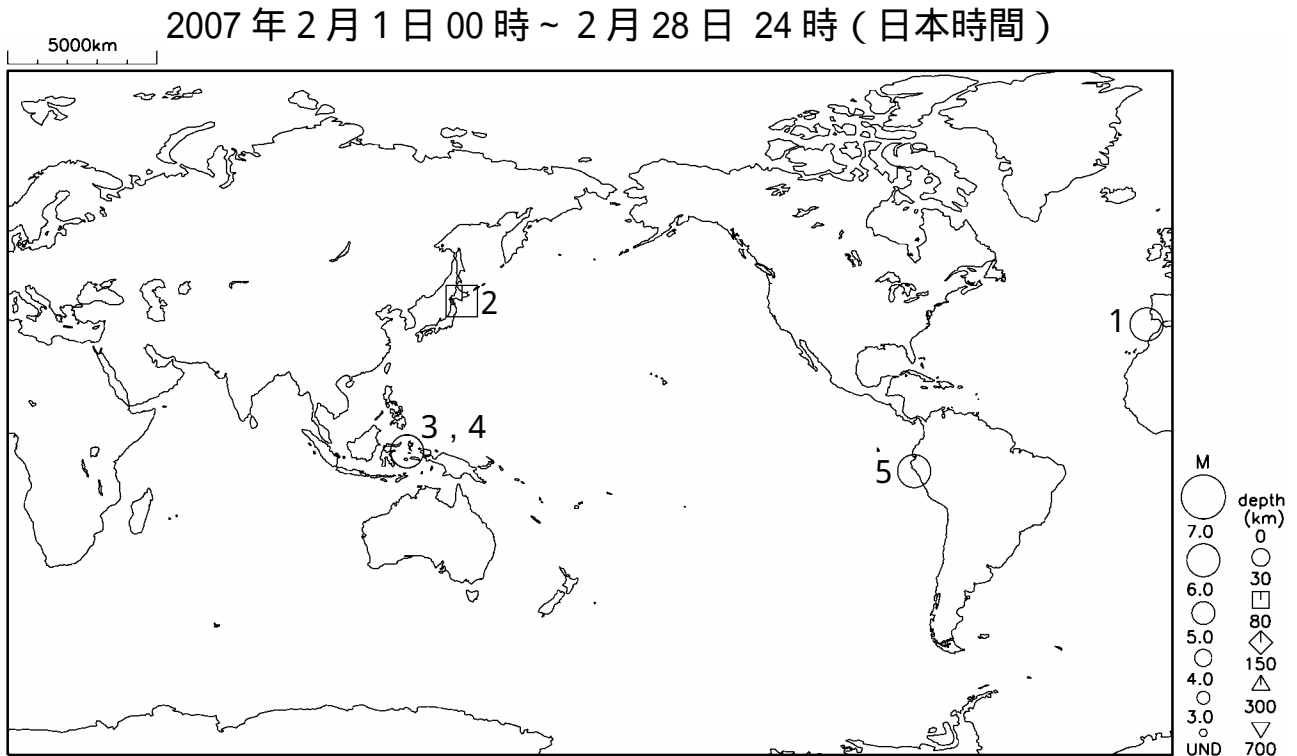


図 1 2007 年 2 月に世界で発生した M6.0 以上または被害を伴った地震の震央分布
 <震源要素は米国地質調査所(USGS)発表の QUICK EPICENTER DETERMINATIONS(QED)による>

* : 数字は、表 1 の番号に対応する。

** : マグニチュードは mb（実体波マグニチュード）、Ms（表面波マグニチュード）のいずれか大きい値を用いて表示している。

表 1 2007 年 2 月に世界で発生したマグニチュード 6.0 以上または被害を伴った地震の震源要素等

番号	月日時分	緯度	経度	深さ (km)	mb	Ms	Mw	震央地名	備考 (被害状況など)
1	02月12日19時35分	N35° 49.9' W 10° 20.2'		10*	6.2	5.8	5.9	アゾレス-セントビンセント嶺海嶺	
2	02月17日09時02分	N41° 43.9' E143° 43.3'		40	6.0	(6.2)	6.0	十勝沖	(p 4 参照) NWPTA発表
3	02月20日17時04分	S 1° 01.0' E126° 59.5'		11*	6.2	6.6	6.5	モルッカ海南部	
4	02月20日23時25分	S 1° 04.4' E126° 57.7'		11*	6.0	5.8	5.9	モルッカ海南部	
5	02月24日11時36分	S 7° 00.6' W 80° 21.9'		23*	5.9	6.1	6.3	ペルー北部沖	

- ・震源要素、被害状況等は米国地質調査所(USGS)発表の QUICK EPICENTER DETERMINATIONS(QED)による（2007 年 3 月 5 日現在）。ただし、日本付近で発生した地震については震源要素及びマグニチュード（Ms の欄に括弧を付して記載）は気象庁、被害状況は総務省消防庁による。
- ・時分は震源時で日本時間 [日本時間 = 協定世界時 + 9 時間] である。
- ・Mw は USGS のモーメントマグニチュードである。
- ・震源の深さに「*」が付いているのは、USGS が推定した深さである。
- ・NWPTA は、気象庁が北西太平洋域に提供している北西太平洋津波情報である（地震・火山月報（防災編）2005 年 5 月号参照）。

付表

1. 震度 1 以上を観測した地震の表

地震の震源要素及び震度は再調査後、修正することがある。確定した震源要素は「地震・火山月報（カタログ編）」、震度データは「地震年報」を参照。震度データは都道府県別に掲載し、各観測点の末尾に計測震度（各年の地震・火山月報（防災編）12月号の付録1参照）を記す。なお、*のついている地点は、地方公共団体もしくは独立行政法人防災科学技術研究所の震度観測点、（注）を付した地震については、近接した地域でほぼ同時刻に発生した地震であるため震度の分離ができないことを示す。震源の深さの後に「F」を付した地震は、その深さに仮定して震源決定していることを示す。

震度 3 以上を観測した地震については、震源要素を**太字**で表示する。

地震番号	震源時 日 時 分	震央地名 各地の震度（計測震度）	緯度	経度	深さ	規模
1	1 01 08	新潟県下越地方 新潟県 1 胎内市大川町* \approx 0.7 関川村下関* \approx 0.5	38°02.2' N	139°31.5' E	15km	M: 2.5
2	1 15 40	福島県浜通り 福島県 2 葛尾村落合関下* \approx 1.5 1 浅川町浅川* \approx 1.4 福島広野町下北迫大谷地原* \approx 1.3 平田村永田* \approx 1.3 小野町小野新町* \approx 1.2 田村市滝根町* \approx 1.2 白河市新白河* \approx 1.2 楢葉町北田* \approx 1.2 棚倉町棚倉中居野* \approx 1.2 小野町中通* \approx 1.2 田村市都路町* \approx 1.1 川内村下川内* \approx 1.1 相馬市中村* \approx 1.1 二本松市郭内* \approx 1.1 川俣町五百田* \approx 1.0 矢祭町東館館本* \approx 1.0 古殿町松川* \approx 1.0 二本松市針道* \approx 0.9 福島広野町下北迫苗代替* \approx 0.9 葛尾村落合落合* \approx 0.9 浪江町幾世橋* \approx 0.8 田村市大越町* \approx 0.8 川内村上川内早渡* \approx 0.8 玉川村小高* \approx 0.7 本宮市糠沢* \approx 0.7 新地町谷地小屋* \approx 0.7 いわき市平四ツ波* \approx 0.7 いわき市錦町* \approx 0.7 二本松市油井* \approx 0.7 田村市船引町* \approx 0.6 田村市常葉町* \approx 0.5 南相馬市原町区三島町* \approx 0.5 鏡石町鏡田* \approx 0.5 茨城県 2 日立市助川小学校* \approx 1.7 1 日立市役所* \approx 1.4 高萩市安良川* \approx 1.1 ひたちなか市南神敷台* \approx 1.1 大子町池田* \approx 1.1 常陸大宮市野口* \approx 1.1 鉾田市当間* \approx 1.1 常陸大宮市山方* \approx 1.0 常陸太田市町屋町* \approx 0.9 筑西市門井* \approx 0.9 水戸市金町* \approx 0.9 常陸太田市町田町* \approx 0.8 高萩市本町* \approx 0.8 水戸市千波町* \approx 0.8 ひたちなか市東石川* \approx 0.8 東海村白方* \approx 0.7 常陸太田市金井町* \approx 0.7 城里町阿波山* \approx 0.7 桜川市羽田* \approx 0.7 北茨城市磯原町* \approx 0.7 常陸太田市高柿町* \approx 0.6 小美玉市堅倉* \approx 0.6 日立市十王町友部* \approx 0.6 水戸市中央* \approx 0.6 笠間市下郷* \approx 0.6 常陸大宮市上小瀬* \approx 0.6 宮城県 1 柴田町船岡* \approx 0.6 栃木県 1 茂木町小井戸* \approx 1.3 宇都宮市明保野町* \approx 1.0 那須烏山市中央* \approx 0.8 栃木那珂川町馬頭* \approx 0.6 大田原市湯津上* \approx 0.5	37°16.5' N	140°59.5' E	87km	M: 3.8
3	1 16 40	静岡県西部 静岡県 1 掛川市長谷* \approx 0.6	34°45.3' N	137°56.5' E	9km	M: 1.8
4	1 21 51	兵庫県南東部 兵庫県 2 朝来市和田山町枚田* \approx 1.8 1 丹波市青垣町* \approx 0.8 朝来市山東町* \approx 0.7 朝来市和田山町柳原* \approx 0.5	35°11.5' N	135°06.0' E	14km	M: 3.0
5	2 02 52	宮城県中部 宮城県 1 東松島市小野* \approx 1.1	38°23.5' N	141°07.4' E	11km	M: 2.6
6	2 04 16	鹿児島県薩摩地方 鹿児島県 2 さつま町神子* \approx 1.5 1 薩摩川内市中郷* \approx 1.1 さつま町宮之城屋地* \approx 0.7	31°58.3' N	130°23.7' E	2km	M: 3.0
7	2 14 06	長野県北部 長野県 1 長野市鶴賀緑町* \approx 1.1 千曲市杭瀬下* \approx 0.6 千曲市上山田温泉* \approx 0.5	36°34.9' N	138°14.8' E	6km	M: 2.5
8	3 14 06	奄美大島近海 鹿児島県 1 天城町当部* \approx 0.8	27°42.9' N	128°49.0' E	18km	M: 3.6
9	4 20 59	千葉県北西部 神奈川県 3 横浜神奈川区白幡上町* \approx 2.7 2 横浜神奈川区神大寺* \approx 2.4 横浜保土ヶ谷区上菅田町* \approx 2.3 横浜港北区日吉本町* \approx 2.2 横浜緑区白山町* \approx 2.2 川崎川崎区宮前町* \approx 2.2 横浜緑区十日市場* \approx 2.1 横浜旭区今宿東町* \approx 2.1 横浜青葉区市が尾町* \approx 2.0 厚木市酒井* \approx 2.0 横浜鶴見区馬場* \approx 1.9 横浜都筑区池辺町* \approx 1.9 横浜都筑区茅ヶ崎* \approx 1.9 横浜港南区丸山台東部* \approx 1.8 横浜青葉区榎が丘* \approx 1.8 横浜鶴見区鶴見* \approx 1.8 横浜中区山田町* \approx 1.7 横浜磯子区磯子* \approx 1.7 相模原市相模大野* \approx 1.7 横浜旭区上白根町* \approx 1.6 横浜瀬谷区中屋敷* \approx 1.6 横浜磯子区洋光台* \approx 1.6 横浜戸塚区平戸町* \approx 1.5 横浜旭区大池町* \approx 1.5 横浜瀬谷区三ツ境* \approx 1.5 横浜中区山手町* \approx 1.5 相模原市上溝* \approx 1.5 横浜中区山下町* \approx 1.5 横浜南区別所* \approx 1.5 1 横浜中区山吹町* \approx 1.4 横浜港北区太尾町* \approx 1.4 横須賀市光の丘* \approx 1.4 茅ヶ崎市茅ヶ崎* \approx 1.4 相模原市津久井町中野* \approx 1.4 厚木市中町* \approx 1.4 愛川町角田* \approx 1.4 横浜西区浜松町* \approx 1.3 横浜保土ヶ谷区神戸町* \approx 1.3 三浦市城山町* \approx 1.3 相模原市中央* \approx 1.3 相模原市相原* \approx 1.3 清川村煤ヶ谷* \approx 1.3 横浜金沢区白帆* \approx 1.2 横浜港南区丸山台北部* \approx 1.2 大和市下鶴間* \approx 1.2 厚木市長谷* \approx 1.2 厚木市飯山* \approx 1.2 横浜栄区小菅が谷* \approx 1.1 横浜泉区和泉町* \approx 1.1 川崎中原区小杉陣屋* \approx 1.1 鎌倉市由比ヶ浜* \approx 1.1 海老名市大谷* \approx 1.1 寒川町宮山* \approx 1.1 横浜西区みなとみらい* \approx 1.1 箱根町湯本* \approx 1.1 綾瀬市深谷* \approx 1.0 横浜戸塚区戸塚町* \approx 1.0 厚木市七沢* \approx 1.0 横浜泉区岡津町* \approx 1.0 城山町久保沢* \approx 1.0 厚木市三田* \approx 0.9 南足柄市関本* \approx 0.9	35°35.4' N	140°09.2' E	67km	M: 4.3

地震番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度(計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
		<p>中井町比奈窪 * = 0.9 神奈川大井町金子 * = 0.9 座間市緑が丘 * = 0.9 横須賀市坂本町 * = 0.9 秦野市平沢 * = 0.8 横浜栄区公田町 * = 0.8 松田町松田惣領 * = 0.8 真鶴町真鶴 * = 0.8 逗子市桜山 * = 0.8 横浜金沢区寺前 * = 0.8 葉山町堀内 * = 0.7 鎌倉市御成町 * = 0.7 藤沢市朝日町 * = 0.7 秦野市曽屋 = 0.6</p> <p>茨城県 2 坂東市岩井 = 1.6 1 鉾田市当間 * = 1.4 つくば市小笠 * = 1.3 取手市寺田 * = 1.3 桜川市真壁 * = 1.2 茨城鹿嶋市鉢形 = 1.1 取手市井野 * = 1.1 石岡市柿岡 = 1.0 坂東市役所 * = 1.0 常総市水海道諏訪町 * = 1.0 稲敷市江戸崎 * = 1.0 土浦市下高津 * = 0.9 筑西市舟生 = 0.8 石岡市八郷 * = 0.8 牛久市中央 * = 0.7 つくばみらい市福田 * = 0.7 つくば市天王台 * = 0.7 小美玉市上玉里 * = 0.7 土浦市大岩田 = 0.6 利根町布川 = 0.5</p> <p>埼玉県 2 草加市高砂 * = 1.9 吉川市吉川 * = 1.6 川口市中青木分室 * = 1.6 三郷市幸房 * = 1.5 鳩ヶ谷市三ツ和 * = 1.5 宮代町笠原 * = 1.5 1 狭山市入間川 * = 1.2 越谷市越ヶ谷 * = 1.1 久喜市青葉 * = 1.1 さいたま大宮区天沼町 * = 1.0 さいたま浦和区高砂 = 1.0 久喜市下早見 = 1.0 埼玉三芳町藤久保 * = 0.9 春日部市谷原新田 * = 0.8 川越市新宿町 * = 0.7 所沢市北有楽町 * = 0.7 戸田市上戸田 * = 0.7 吉見町下細谷 * = 0.6 川島町平沼 * = 0.5</p> <p>千葉県 2 木更津市貝渕 * = 1.9 千葉中央区千葉市役所 * = 1.8 千葉美浜区稲毛海岸 * = 1.8 市原市姉崎 * = 1.7 富津市下飯野 * = 1.5 千葉中央区中央港 = 1.5 君津市久留里市場 * = 1.5 1 船橋市湊町 * = 1.4 四街道市鹿渡 * = 1.4 千葉佐倉市海隣寺町 * = 1.3 柏市旭町 = 1.3 大多喜町大多喜 * = 1.3 市川市八幡 * = 1.2 鋸南町下佐久間 * = 1.2 南房総市富浦町青木 * = 1.2 成田市花崎町 = 1.2 習志野市鷺沼 * = 1.2 東金市日吉台 * = 1.2 木更津市太田 = 1.0 鴨川市横渚 * = 0.9 八千代市大和田新田 * = 0.9 館山市長須賀 = 0.9 南房総市白浜町白浜 * = 0.9 勝浦市墨名 = 0.9 君津市久保 * = 0.8 大網白里町大網 * = 0.8 柏市大島田 * = 0.8 長柄町大津倉 = 0.8 印旛村瀬戸 * = 0.8 館山市北条 * = 0.8 東金市東新宿 = 0.8 勝浦市新官 * = 0.8 東金市東岩崎 * = 0.8 長南町長南 * = 0.7 鴨川市八色 = 0.6 茂原市道表 * = 0.6 長柄町桜谷 * = 0.6 多古町多古 = 0.5 千葉一宮町一宮 = 0.5</p> <p>東京都 2 東京千代田区大手町 = 2.2 東京世田谷区三軒茶屋 * = 2.1 東京大田区本羽田 * = 2.0 東京杉並区桃井 * = 1.9 八王子市堀之内 * = 1.9 東京新宿区百人町 * = 1.8 東京大田区多摩川 * = 1.8 町田市中町 * = 1.8 東京世田谷区世田谷 * = 1.8 東京渋谷区宇田川町 * = 1.8 東京葛飾区金町 * = 1.7 東京品川区北品川 * = 1.7 東京品川区平塚 * = 1.6 東京足立区神明南 * = 1.6 東京新宿区上落合 * = 1.6 三鷹市野崎 * = 1.6 東村山市美住町 * = 1.6 国分寺市戸倉 = 1.6 東京葛飾区立石 * = 1.5 東京目黒区中央町 * = 1.5 東京江戸川区中央 = 1.5 町田市役所 * = 1.5 東京港区白金 * = 1.5 狛江市和泉本町 * = 1.5 東大和市中央 * = 1.5 東京北区赤羽南 * = 1.5 東京足立区伊興 * = 1.5 1 東京千代田区麹町 * = 1.4 東京文京区本郷 * = 1.4 東京文京区大塚 * = 1.4 東京江東区枝川 * = 1.4 東京北区西ヶ原 * = 1.4 東京足立区千住 * = 1.4 東京江戸川区船堀 * = 1.4 東京江戸川区鹿骨 * = 1.4 東京中央区勝どき * = 1.3 伊豆大島町岡田 * = 1.3 東京墨田区東向島 * = 1.3 東京江東区森下 * = 1.3 東京中野区中央 * = 1.3 東京板橋区相生町 * = 1.3 東京練馬区東大泉 * = 1.3 東京杉並区高井戸 * = 1.2 東京荒川区東尾久 * = 1.2 東京中央区築地 * = 1.2 東京港区南青山 * = 1.2 町田市忠生 * = 1.2 国分寺市本多 * = 1.2 多摩市関戸 * = 1.2 東京江東区亀戸 * = 1.1 東京大田区蒲田 * = 1.1 東京府中市宮西町 * = 1.1 東京千代田区九段南 * = 1.1 小金井市本町 * = 1.1 日野市神明 * = 1.1 東京台東区千束 * = 1.1 あきる野市伊奈 * = 1.1 東京江東区東陽 * = 1.1 東京練馬区光が丘 * = 1.1 東京荒川区荒川 * = 1.0 東京足立区中央本町 * = 1.0 東京品川区広町 * = 1.0 東京新宿区歌舞伎町 * = 1.0 八王子市石川町 * = 1.0 立川市錦町 * = 1.0 東京大田区大森東 * = 1.0 東京世田谷区中町 * = 0.9 東京中野区江古田 * = 0.9 武蔵野市吉祥寺東町 * = 0.9 国立市富士見台 * = 0.8 東京練馬区豊玉北 * = 0.8 東京中央区日本橋兜町 * = 0.8 東京杉並区阿佐谷 = 0.8 東京墨田区吾妻橋 * = 0.7 小平市小川町 * = 0.7 東京豊島区東池袋 * = 0.7 多摩市鶴牧 * = 0.7 八王子市大横町 = 0.7 東京板橋区板橋 * = 0.7 東京台東区東上野 * = 0.6 清瀬市中清戸 * = 0.6 伊豆大島町元町 = 0.5 伊豆大島町波浮港 * = 0.5</p> <p>静岡県 2 熱海市網代 = 1.8 1 東伊豆町奈良本 * = 1.4 函南町平井 * = 1.0 伊豆の国市長岡 * = 0.9 熱海市泉 * = 0.8 沼津市戸田 * = 0.8 河津町田中 * = 0.7</p> <p>栃木県 1 宇都宮市明保野町 = 0.5</p> <p>山梨県 1 大月市御太刀 * = 1.0 富士河口湖町船津 = 1.0 富士河口湖町長浜 * = 1.0 笛吹市境川町藤壘 * = 0.7</p>				
10	5 01 06	父島近海 東京都	27° 32.4' N	142° 04.3' E	44km	M: 4.5
		1 小笠原村父島 = 0.8 小笠原村三日月山 = 0.7				
11	5 01 42	岐阜県飛騨地方 長野県	35° 58.7' N	137° 31.9' E	10km	M: 3.3
		2 木曾町開田高原西野 * = 1.7 1 塩尻市榑川小学校 * = 1.0 山形村役場 * = 0.8 木曾町日義 * = 0.8 木曾町三岳 * = 0.8 塩尻市木曾平沢 * = 0.8 木曾町新開 * = 0.6 波田町役場 * = 0.6 松本市安曇 * = 0.6 長野朝日村小野沢 * = 0.6				
		岐阜県 2 高山市高根町 * = 1.7 1 下呂市小坂町 * = 0.9 下呂市萩原町 * = 0.6				
12	5 07 54	長野県南部 長野県	35° 49.2' N	137° 34.7' E	5km	M: 3.1
		2 王滝村鈴ヶ沢 * = 2.3 王滝村役場 * = 2.3 木曾町三岳 * = 2.2 1 木曾町新開 * = 1.4 木曾町開田高原西野 * = 1.3 木曾町福島 * = 1.2 木曾町日義 * = 1.0				
		岐阜県 1 中津川市加子母 * = 1.1 高山市高根町 * = 0.8				
13	5 13 29	青森県東方沖 青森県	41° 07.7' N	143° 05.4' E	24km	M: 4.3
		1 東通村小田野沢 * = 0.6				
14	5 23 07	釧路支庁中南部 北海道	43° 04.5' N	145° 00.6' E	62km	M: 4.3
		2 別海町西春別 * = 2.3 別海町常盤 = 2.0 標津町北2条 * = 2.0 別海町本別海 * = 1.7 根室市厚床 * = 1.7 中標津町丸山 * = 1.6 弟子屈町美里 = 1.6 標茶町塘路 * = 1.6 根室市落石東 * = 1.5				

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各地の震度(計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
		1 弟子屈町弟子屈 *=1.4 中標津町養老牛=1.4 羅臼町春日=1.3 厚岸町尾幌=1.2 標茶町川上 *=1.2 根室市牧の内 *=1.2 根室市瑤瑠瑠 *=1.2 羅臼町緑町 *=1.0 鶴居村鶴居東 *=0.9 羅臼町岬町 *=0.9 清里町羽衣町 *=0.8 小清水町小清水 *=0.7 浜中町霧多布 *=0.7 厚岸町真栄町 *=0.6 釧路町別保 *=0.6 標津町薫別 *=0.5 釧路市阿寒町中央 *=0.5				
15	6 00 53	新島・神津島近海 東京都 1 新島村式根島=1.2	34° 16.9' N	139° 14.6' E	10km	M: 2.4
16	6 01 01	新島・神津島近海 東京都 2 新島村式根島=2.0 1 新島村本村 *=1.1 神津島村金長=0.5	34° 16.8' N	139° 14.9' E	10km	M: 2.7
17	6 02 44	十勝沖 北海道 3 広尾町西4条 *=2.6 2 広尾町並木通=1.8 1 浦河町潮見=1.2 浦河町築地 *=1.1 様似町栄町 *=0.7 十勝大樹町生花 *=0.6 幕別町忠類錦町 *=0.5	42° 11.7' N	143° 22.9' E	41km	M: 3.9
18	6 09 07	日向灘 高知県 1 宿毛市桜町 *=0.5	32° 40.4' N	132° 18.4' E	39km	M: 3.1
19	6 20 52	静岡県西部 静岡県 1 掛川市長谷 *=1.3 静岡菊川市赤土 *=0.7 掛川市三俣 *=0.6 掛川市西大淵 *=0.5 静岡菊川市堀之内 *=0.5	34° 45.0' N	137° 56.2' E	9km	M: 2.8
20	6 21 01	大分県西部 愛媛県 2 宇和島市丸穂 *=1.5 1 西予市明浜町 *=1.1 愛南町柏 *=1.0 西予市三瓶町 *=0.9 大洲市肱川町 *=0.9 宇和島市三間町 *=0.8 大洲市長浜 *=0.8 久万高原町久万 *=0.7 大洲市大洲 *=0.7 松野町松丸 *=0.7 西予市野村町=0.6 愛南町船越 *=0.6 八幡浜市保内町 *=0.6 宇和島市住吉町=0.5 高知県 1 いの町上八川 *=1.0 宿毛市桜町 *=1.0 宿毛市片島=0.9 四万十町田野々 *=0.6 黒潮町入野=0.6 四万十市西土佐江川崎 *=0.5 山口県 1 周防大島町森 *=1.0 周防大島町平野 *=0.5 大分県 1 佐伯市蒲江=1.0 佐伯市中村南=0.9 佐伯市春日町 *=0.6	33° 06.8' N	131° 23.7' E	121km	M: 3.7
21	6 22 04	石川県加賀地方 富山県 1 小矢部市泉町=1.1	36° 40.4' N	136° 49.8' E	10km	M: 2.2
22	6 23 15	福島県沖 福島県 2 葛尾村落合閣下 *=1.6 1 玉川村小高 *=1.1 白河市新白河 *=0.9 田村市都路町 *=0.9 本宮市糠沢 *=0.9 田村市大越町 *=0.8 郡山市湖南町 *=0.7 二本松市油井 *=0.6 浪江町幾世橋=0.6 田村市常葉町 *=0.5	37° 19.6' N	142° 06.3' E	36km	M: 4.5
23	7 00 13	静岡県西部 静岡県 1 掛川市長谷 *=0.5	34° 45.3' N	137° 56.3' E	8km	M: 1.9
24	7 00 59	根室半島南東沖 北海道 1 根室市瑤瑠瑠 *=0.6	43° 12.9' N	145° 58.7' E	45km	M: 3.3
25	8 00 18	石垣島近海 沖縄県 1 石垣市登野城=1.0 竹富町大原=0.9 竹富町黒島=0.9	23° 50.5' N	123° 49.6' E	30km	M: 4.6
26	8 06 32	日向灘 宮崎県 1 宮崎都農町役場 *=0.7	32° 10.0' N	132° 11.7' E	20km	M: 3.1
27	8 16 05	静岡県西部 静岡県 1 掛川市長谷 *=1.2	34° 45.0' N	137° 56.3' E	10km	M: 2.1
28	8 16 55	伊予灘 愛媛県 山口県 1 大洲市長浜 *=0.5 1 上関町長島 *=0.6 周防大島町久賀 *=0.6 周防大島町森 *=0.6	33° 31.0' N	132° 04.8' E	56km	M: 3.6
29	9 16 35	根室半島南東沖 北海道 3 根室市落石東 *=2.7 1 根室市牧の内 *=1.3 根室市瑤瑠瑠 *=1.2 根室市弥栄=0.7 中標津町丸山 *=0.6 別海町常盤=0.5	43° 20.6' N	146° 08.4' E	50km	M: 4.3
30	9 17 58	十勝沖 北海道 1 えりも町えりも岬 *=1.4 様似町栄町 *=1.2 浦河町潮見=1.1 浦河町築地 *=0.9 広尾町並木通=0.9 十勝大樹町東本通 *=0.8 新冠町北星町 *=0.8 十勝大樹町生花 *=0.7 幕別町忠類錦町 *=0.6 青森県 1 東通村小田野沢 *=0.6	41° 42.3' N	143° 50.8' E	48km	M: 4.6
31	10 00 24	福岡県北西沖 福岡県 1 福岡西区玄界島=1.2 志摩町初=0.6	33° 42.4' N	130° 15.2' E	8km	M: 2.7

地震番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度(計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
32	10 02 28	詳細不明 鹿児島県				
		1 鹿児島十島村中之島徳之尾=1.2				
33	10 04 58	茨城県南部 栃木県	35° 59.3' N	140° 00.4' E	43km	M: 3.3
		1 茂木町小井戸*=1.1				
34	10 05 27	天草灘 鹿児島県	31° 57.8' N	130° 08.8' E	6km	M: 3.0
		1 阿久根市赤瀬川=0.7				
35	10 05 35	天草灘 鹿児島県	31° 57.7' N	130° 08.7' E	6km	M: 3.2
		1 阿久根市赤瀬川=0.5 薩摩川内市中郷=0.5				
36	10 13 28	浦河沖 北海道	41° 43.7' N	143° 00.6' E	38km	M: 3.2
		1 えりも町えりも岬*=0.5				
37	10 17 31	茨城県南部 茨城県	36° 07.7' N	139° 48.7' E	50km	M: 3.6
		1 鉾田市当間*=1.3 坂東市馬立*=1.0 小美玉市小川*=0.9 筑西市舟生=0.9 石岡市柿岡=0.9 小美玉市堅倉*=0.8 坂東市山*=0.8 筑西市門井*=0.7 坂東市役所*=0.6 筑西市海老ヶ島*=0.6 笠間市下郷*=0.6 土浦市下高津*=0.5 土浦市藤沢*=0.5 稲敷市江戸崎甲*=0.5				
		栃木県				
		1 足利市名草上町=1.3 栃木市旭町=1.3 佐野市葛生東*=1.2 佐野市高砂町*=1.1 宇都宮市明保野町=1.1 下野市田中*=1.1 佐野市中町*=1.0 上三川町しらさぎ*=1.0 鹿沼市口栗野*=0.9 上河内町中里*=0.9 下野市小金井*=0.9 下野市石橋*=0.8 小山市神鳥谷*=0.8 鹿沼市晃望台*=0.8 西方町本城*=0.7 岩舟町静*=0.7 日光市中宮祠=0.7 茂木町小井戸*=0.6 栃木藤岡町藤岡*=0.6 小山市中央町*=0.6 日光市鬼怒川温泉大原*=0.5 日光市中鉢石町*=0.5 都賀町家中*=0.5 佐野市田沼町*=0.5				
		群馬県				
		1 桐生市元宿町*=1.0 館林市美園町*=0.8 桐生市新里町*=0.7 太田市西本町*=0.6 板倉町板倉=0.6 沼田市利根町*=0.5				
		埼玉県				
		1 久喜市下早見=0.9 加須市下三保*=0.5 久喜市青葉*=0.5				
38	12 04 10	天草灘 鹿児島県	31° 58.0' N	130° 09.9' E	6km	M: 2.3
		1 阿久根市赤瀬川=0.9				
39	12 23 09	根室半島南東沖 北海道	43° 15.1' N	146° 16.7' E	46km	M: 4.0
		2 根室市瑤瑤瑠*=1.6 1 根室市落石東*=0.6				
40	13 06 53	岐阜県飛騨地方 岐阜県	36° 03.1' N	137° 32.4' E	7km	M: 1.8
		1 高山市高根町*=0.5				
41	13 07 29	岐阜県美濃中西部 岐阜県	35° 23.1' N	136° 54.9' E	8km	M: 2.8
		1 岐南町八剣*=0.7 各務原市川島河田町*=0.7				
		愛知県				
		1 犬山市五郎丸*=1.4 愛知江南市赤童子町*=0.7				
42	13 08 57	茨城県北部 茨城県	36° 18.1' N	140° 18.3' E	72km	M: 3.3
		1 日立市助川小学校*=0.5				
43	13 11 05	根室半島南東沖 北海道	43° 05.3' N	146° 33.0' E	55km	M: 4.2
		1 根室市落石東*=1.0 根室市瑤瑤瑠*=1.0				
44	13 13 57	岐阜県飛騨地方 岐阜県	36° 02.2' N	137° 32.0' E	6km	M: 2.0
		1 高山市高根町*=1.1				
45	13 21 41	奈良県 奈良県	34° 24.7' N	135° 52.7' E	9km	M: 2.7
		1 吉野町上市*=1.4 高取町観音寺*=1.2 宇陀市大宇陀区迫間*=0.9 大淀町椋垣本=0.5				
46	14 00 49	紀伊水道 和歌山県	34° 11.9' N	135° 07.1' E	7km	M: 2.4
		1 和歌山市一番丁*=1.0 和歌山市男野芝丁=0.6				
47	14 06 24	釧路沖 北海道	42° 58.8' N	145° 24.3' E	47km	M: 3.9
		2 根室市落石東*=2.0 根室市牧の内*=1.8 根室市瑤瑤瑠*=1.8 根室市厚床*=1.5 1 根室市弥栄=1.3 浜中町霧多布*=1.1 別海町常盤=0.7				
48	14 07 36	神奈川県西部 神奈川県	35° 17.3' N	139° 07.1' E	13km	M: 3.1
		2 南足柄市関本*=1.6				
		1 神奈川山北町山北*=1.2 小田原市荻窪*=1.1 秦野市平沢*=1.0 清川村煤ヶ谷*=0.8 大磯町東小磯*=0.7 開成町延沢*=0.7 箱根町湯本*=0.7 松田町松田惣領*=0.7 神奈川大井町金子*=0.6 真鶴町真鶴*=0.6 神奈川二宮町中里*=0.5 小田原市久野=0.5				
		山梨県				
		1 大月市御太刀*=0.7				
49	14 15 21	奄美大島北西沖 鹿児島県	28° 26.4' N	128° 14.6' E	114km	M: 4.2
		1 奄美市名瀬港町=0.7				

地震番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度(計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
50	14 15 36	宮城県北部 岩手県 宮城県	38°45.7' N	141°27.3' E	14km	M: 3.0
		1 一関市室根町 *≒1.1 一関市千厩町 *≒0.8 藤沢町藤沢 *≒0.6 1 南三陸町歌津 *≒1.4 登米市東和町 *≒1.0 南三陸町志津川=0.7 石巻市桃生町 *≒0.6				
51	15 04 22	岐阜県飛騨地方 岐阜県	35°59.6' N	137°18.9' E	9km	M: 2.7
		1 高山市高根町 *≒1.1 下呂市小坂町 *≒0.7				
52	15 09 18	群馬県北部 群馬県	36°31.3' N	138°55.1' E	9km	M: 2.2
		1 東吾妻町本宿 *≒0.5				
53	15 16 54	青森県東方沖 青森県 岩手県	40°54.3' N	142°07.6' E	50km	M: 3.6
		1 八戸市内丸 *≒0.6 1 岩手洋野町大野 *≒0.7				
54	17 06 29	種子島近海 鹿児島県	30°01.7' N	130°30.1' E	48km	M: 3.1
		1 鹿児島十島村中之島徳之尾=0.6				
55	17 09 02	十勝沖 北海道	41°43.9' N	143°43.3' E	40km	M: 6.2
		4 浦幌町桜町 *≒4.1 十勝大樹町東本通 *≒4.0 広尾町西4条 *≒3.6 3 様似町栄町 *≒3.4 幕別町忠類錦町 *≒3.4 広尾町並木通=3.4 更別村更別 *≒3.3 白糠町西1条 *≒3.3 新冠町北星町 *≒3.2 十勝大樹町生花 *≒3.2 浦河町潮見=3.2 釧路市音別町直別 *≒3.2 豊頃町茂岩本町 *≒3.2 浦河町築地 *≒3.1 むかわ町松風 *≒3.0 えりも町えりも岬 *≒3.0 厚真町京町 *≒3.0 新ひだか町静内ときわ町=2.9 えりも町目黒 *≒2.9 十勝池田町西1条 *≒2.8 えりも町本町=2.8 中札内村東2条 *≒2.8 平取町振内 *≒2.8 新篠津村第47線 *≒2.8 鹿追町東町 *≒2.8 帯広市東4条=2.8 釧路市阿寒町阿寒湖温泉 *≒2.8 長沼町中央 *≒2.8 帯広市東6条 *≒2.7 音更町元町 *≒2.7 安平町早来北進 *≒2.7 新ひだか町静内御幸町 *≒2.7 幕別町忠類明和=2.6 幕別町本町 *≒2.6 むかわ町穂別 *≒2.6 函館市泊町 *≒2.6 南幌町栄町 *≒2.6 芽室町東2条 *≒2.6 新ひだか町静内農屋 *≒2.5 十勝清水町南4条=2.5 釧路町別保 *≒2.5 釧路市阿寒町中央 *≒2.5 2 札幌北区太平 *≒2.4 岩見沢市北村赤川 *≒2.4 岩見沢市栗沢町東本町 *≒2.4 日高支庁日高町門別 *≒2.4 新得町2条 *≒2.4 足寄町南1条 *≒2.4 苫小牧市旭町 *≒2.3 函館市新浜町 *≒2.3 新ひだか町三石旭町 *≒2.3 栗山町松風 *≒2.3 苫小牧市末広町=2.3 本別町北2丁目=2.2 釧路市音別町尺別=2.2 当別町白樺 *≒2.2 石狩市花川=2.1 日高支庁日高町日高 *≒2.1 岩見沢市5条=2.1 岩見沢市鳩が丘 *≒2.1 石狩市花畔 *≒2.1 千歳市北栄=2.1 土幌町土幌 *≒2.1 千歳市支笏湖温泉 *≒2.1 本別町向陽町 *≒2.1 中富良野町市街地 *≒2.1 釧路市黒金町 *≒2.1 恵庭市京町 *≒2.1 安平町追分柏が丘 *≒2.0 赤井川村赤井川 *≒2.0 占冠村中央 *≒2.0 美唄市西5条=2.0 上土幌町清水谷 *≒2.0 鶴居村鶴居東 *≒2.0 上土幌町上土幌 *≒2.0 江別市緑町 *≒2.0 白老町大町=2.0 砂川市西6条 *≒1.9 恵庭市漁平=1.9 足寄町上螺湾=1.9 千歳市若草 *≒1.9 増毛町見晴町 *≒1.9 平取町本町 *≒1.9 美唄市西3条 *≒1.9 釧路市幸町=1.9 三笠市幸町 *≒1.9 洞爺湖町洞爺町 *≒1.8 由仁町新光 *≒1.8 倶知安町南1条=1.8 倶知安町北4条 *≒1.8 妹背牛町妹背牛 *≒1.8 滝川市大町=1.8 標茶町塘路 *≒1.8 大空町東藻琴 *≒1.8 標津町北2条 *≒1.7 せたな町北檜山区徳島 *≒1.7 北竜町和 *≒1.7 江別市高砂町=1.7 札幌白石区本郷通 *≒1.7 奈井江町奈井江 *≒1.7 白老町緑丘 *≒1.7 新十津川町中央 *≒1.7 夕張市若菜=1.7 富良野市若松町=1.7 夕張市清水沢宮前町 *≒1.7 上ノ国町大留 *≒1.7 黒松内町黒松内 *≒1.7 真狩村真狩 *≒1.6 札幌中央区北2条=1.6 滝川市新町 *≒1.6 渡島森町砂原 *≒1.6 北見市南仲町 *≒1.6 厚岸町真栄町 *≒1.6 湧別町栄町 *≒1.6 胆振伊達市永末町 *≒1.6 胆振伊達市大滝区本町 *≒1.6 余市町浜中町 *≒1.6 月形町円山公園 *≒1.6 知内町重内 *≒1.6 富良野市末広町 *≒1.6 大空町女満別西3条 *≒1.5 浦臼町ウラウスナイ *≒1.5 訓子府町東町 *≒1.5 厚沢部町新町 *≒1.5 胆振伊達市梅本=1.5 長万部町平里 *≒1.5 小樽市勝納町=1.5 当麻町3条 *≒1.5 秩父別町役場 *≒1.5 弟子屈町弟子屈 *≒1.5 渡島北斗市中央 *≒1.5 登別市桜木町 *≒1.5 函館市大森町 *≒1.5 南富良野町役場 *≒1.5 標茶町川上 *≒1.5 二セコ町中央通 *≒1.5 北広島市共栄 *≒1.5 清里町羽衣町 *≒1.5 平取町仁世宇=1.5 厚沢部町木間内 *≒1.5 1 古平町浜町 *≒1.4 余市町朝日町=1.4 岩内町清住=1.4 雨竜町フシコウリウ *≒1.4 剣淵町市街地本町 *≒1.4 猿払村浅茅野 *≒1.4 北見市端野町二区 *≒1.4 陸別町陸別 *≒1.4 鹿部町宮浜 *≒1.3 北見市常呂町 *≒1.3 石狩市厚田 *≒1.3 遠軽町生田原 *≒1.3 石狩市浜益 *≒1.3 厚岸町尾幌=1.3 中標津町丸山 *≒1.3 別海町常盤=1.3 南富良野町幾寅=1.3 北竜町竜西=1.2 渡島森町御幸町=1.2 興部町興部 *≒1.2 美幌町東3条=1.2 弟子屈町美里=1.2 津別町幸町 *≒1.2 斜里町本町=1.2 小清水町小清水 *≒1.2 別海町本別海 *≒1.2 函館市日ノ浜町 *≒1.2 上富良野町大町=1.1 弟子屈町サワンチサップ *≒1.1 上砂川町上砂川 *≒1.1 仁木町西町 *≒1.1 芦別市旭町=1.1 旭川市宮前通東=1.1 東川町東町 *≒1.1 新得町トムラウシ *≒1.0 乙部町緑町 *≒1.0 芦別市北2条 *≒1.0 増毛町岩尾 *≒1.0 歌志内市本町 *≒1.0 東神楽町南1条 *≒1.0 函館市美原=1.0 赤平市泉町 *≒0.9 名寄市風連町 *≒0.9 根室市落石東 *≒0.9 置戸町拓殖 *≒0.8 浜中町霧多布 *≒0.8 共和町南幌 *≒0.8 七飯町本町 *≒0.8 函館市尾札部=0.8 北見市留辺蘂町栄町 *≒0.8 北見市留辺蘂町富士見 *≒0.8 小樽市花園町 *≒0.8 渡島北斗市本町 *≒0.7 遠軽町丸瀬布金湧山=0.7 喜茂別町喜茂別 *≒0.7 福島町福島 *≒0.7 室蘭市山手町=0.7 函館市川汲町 *≒0.7 檜山江差町姥神=0.6 根室市瑠瑠瑠 *≒0.6 中標津町養老牛=0.5 青森県 3 東通村小田野沢 *≒2.5 2 東通村砂子又 *≒2.3 野辺地町野辺地 *≒2.1 むつ市金曲=2.1 野辺地町田狭沢 *≒2.0 七戸町森ノ上 *≒2.0 大間町大間 *≒2.0 東北町上北南 *≒1.9 つがる市稲垣町 *≒1.8 七戸町七戸 *≒1.8 おいらせ町中下田 *≒1.8 むつ市大畑町中島 *≒1.8 青森市花園=1.7 外ヶ浜町蟹田 *≒1.7 中泊町小泊 *≒1.7 八戸市南郷区 *≒1.7 五戸町古館=1.7 青森南部町平 *≒1.7 むつ市金谷 *≒1.7 六戸町犬落瀬 *≒1.6 青森市中央 *≒1.6 平内町小湊=1.6 五所川原市敷島町 *≒1.5 今別町今別 *≒1.5				

地震番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度(計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
		藤崎町水木 *≒1.5 八戸市内丸 *≒1.5 東北町塔ノ沢山 *≒1.5 五戸町倉石中市 *≒1.5 おいらせ町上明堂 *≒1.5 1 青森市浪岡 *≒1.4 青森鶴田町鶴田 *≒1.4 つがる市木造 *≒1.4 つがる市柏 *≒1.4 十和田市西二番町 *≒1.4 十和田市西十二番町 *≒1.4 六ヶ所村尾駁=1.4 青森南部町苫米地 *≒1.4 階上町道仏 *≒1.4 むつ市川内町 *≒1.4 つがる市車力町 *≒1.3 藤崎町西豊田 *≒1.3 田舎館村田舎館 *≒1.3 三沢市桜町 *≒1.3 五所川原市金木町 *≒1.3 蓬田村蓬田 *≒1.3 横浜町林ノ脇 *≒1.2 横浜町寺下 *≒1.2 板柳町板柳 *≒1.2 平川市猿賀 *≒1.2 外ヶ浜町三蔵 *≒1.1 中泊町中里 *≒1.1 黒石市市ノ町 *≒1.1 平内町東田沢 *≒1.0 八戸市湊町=1.0 青森南部町沖田面 *≒0.9 外ヶ浜町平館 *≒0.9 むつ市脇野沢 *≒0.9 十和田市奥瀬 *≒0.8 弘前市賀田 *≒0.8 田子町田子 *≒0.8 つがる市森田町 *≒0.8 平川市柏木町 *≒0.8 東通村尻屋 *≒0.7 弘前市五所 *≒0.7 風間浦村易国間 *≒0.6 新郷村戸来 *≒0.6 三戸町在府小路 *≒0.6 むつ市大畑町=0.5 佐井村長後 *≒0.5 西目屋村田代 *≒0.5 岩手県 2 盛岡市玉山区薮川 *≒2.0 岩手洋野町大野 *≒1.5 矢巾町南矢幅 *≒1.5 1 二戸市福岡=1.4 八幡平市田頭 *≒1.3 八幡平市野駄 *≒1.3 軽米町軽米 *≒1.3 二戸市浄法寺町 *≒1.2 二戸市石切所 *≒1.1 北上市二子町 *≒1.1 陸前高田市高田町 *≒1.0 滝沢村鶴飼 *≒0.9 八幡平市大更=0.8 一関市千蔵町 *≒0.8 平泉町平泉 *≒0.8 久慈市川崎町=0.6 盛岡市山王町=0.6 岩手洋野町種市=0.5 釜石市中妻町 *≒0.5 遠野市松崎町 *≒0.5 山田町大沢 *≒0.5 宮城県 2 登米市迫町 *≒1.5 1 登米市中田町=1.4 栗原市金成 *≒1.3 登米市米山町 *≒1.0 石巻市桃生町 *≒0.9 登米市登米町 *≒0.7 登米市南方町 *≒0.7 石巻市前谷地 *≒0.6 栗原市若柳 *≒0.6 宮城美里町木間塚 *≒0.5 秋田県 1 井川町北川尻 *≒1.3 三種町豊岡 *≒1.0 大仙市高梨 *≒0.8 潟上市天王 *≒0.7 大館市中城 *≒0.7 秋田美郷町六郷 *≒0.7 秋田美郷町飯詰 *≒0.7 能代市上町 *≒0.6 藤里町藤蔭 *≒0.5 由利本荘市西目町沼田 *≒0.5 横手市大雄 *≒0.5				
56	17 09 22	十勝沖 北海道 2 様似町栄町 *≒1.8 広尾町西 4 条 *≒1.6 えりも町えりも岬 *≒1.5 十勝大樹町東本通 *≒1.5 浦河町潮見=1.5 1 浦河町築地 *≒1.3 広尾町並木通=1.3 釧路市音別町直別 *≒1.3 新冠町北星町 *≒1.2 十勝大樹町生花 *≒1.1 えりも町目黒 *≒1.1 幕別町忠類錦町 *≒1.1 新ひだか町静内ときわ町=1.0 豊頃町茂岩本町 *≒0.9 釧路町別保 *≒0.9 更別村更別 *≒0.8 新ひだか町静内御幸町 *≒0.8 幕別町本町 *≒0.7 えりも町本町=0.7 帯広市東 4 条=0.7 安平町早来北進 *≒0.6 新ひだか町三石旭町 *≒0.6 函館市泊町 *≒0.5 青森県 1 東通村小田野沢 *≒0.9 岩手県 1 盛岡市玉山区薮川 *≒0.7	41° 42.2' N	143° 44.0' E	45km	M: 5.1
57	17 11 25	岐阜県美濃中西部 岐阜県 1 岐南町八剣 *≒0.5	35° 23.7' N	136° 44.9' E	7km	M: 1.9
58	18 01 08	新島・神津島近海 東京都 2 新島村式根島=1.6 1 新島村本村 *≒0.5	34° 16.3' N	139° 14.2' E	11km	M: 2.4
59	18 03 19	新島・神津島近海 東京都 1 新島村式根島=0.6	34° 16.3' N	139° 13.9' E	12km	M: 1.7
60	18 09 48	石川県西方沖 石川県 1 羽咋市旭町 *≒0.6	36° 47.6' N	136° 24.6' E	14km	M: 3.4
61	18 18 22	福岡県筑後地方 福岡県 1 みやま市山川町 *≒1.2 みやま市高田町 *≒0.8 みやま市瀬高町 *≒0.7 長崎県 1 雲仙市国見町=0.9 島原市有明町 *≒0.7 熊本県 1 南関町関町 *≒1.0 和水町江田 *≒1.0 玉名市築地=0.9 玉名市岱明町 *≒0.6 山鹿市鹿北町 *≒0.5 山鹿市鹿央町 *≒0.5	33° 01.8' N	130° 29.0' E	10km	M: 3.2
62	18 20 08	岐阜県飛騨地方 岐阜県 2 高山市高根町 *≒1.7	36° 02.6' N	137° 31.2' E	7km	M: 2.2
63	18 23 07	東京湾 東京都 1 伊豆大島町岡田 *≒0.8 神奈川県 1 三浦市城山町 *≒0.8	34° 59.9' N	139° 49.7' E	50km	M: 3.3
64	19 09 57	熊本県熊本地方 熊本県 2 菊池市旭志 *≒2.2 熊本市京町=2.1 熊本市大江 *≒1.8 益城町宮園 *≒1.8 植木町岩野 *≒1.6 合志市御代志 *≒1.5 1 菊陽町久保田 *≒1.4 和水町江田 *≒1.3 合志市竹迫 *≒1.2 大津町大津 *≒1.2 菊池市泗水町 *≒1.1 山鹿市鹿央町 *≒1.0 宇城市松橋町=0.9 山鹿市鹿北町 *≒0.9 嘉島町上島 *≒0.9 玉東町木葉 *≒0.8 阿蘇市内牧 *≒0.8 山鹿市鹿本町 *≒0.8 西原村小森 *≒0.8 菊池市隈府 *≒0.5	32° 51.3' N	130° 46.4' E	13km	M: 3.4
65	19 13 29	宮古島近海 沖縄県 2 宮古島市平良西仲宗根=1.7 宮古島市城辺福北=1.6 1 宮古島市平良下里=0.8	24° 36.3' N	125° 27.9' E	7km	M: 4.0

地震番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度(計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
66	20 06 24	岩手県沖 青森県 2 青森南部町平*≒1.6 野辺地町田狭沢*≒1.5 1 八戸市内丸*≒1.1 野辺地町野辺地*≒0.9 八戸市湊町=0.8 五戸町古館=0.7 十和田市奥瀬*≒0.6 東北町塔ノ沢山*≒0.6 八戸市島守=0.5 東北町上北南*≒0.5 岩手県 1 岩手洋野町大野*≒1.0 二戸市福岡=0.6 二戸市石切所*≒0.6	40°24.2' N	142°05.6' E	66km	M: 3.8
67	22 04 28	浦河沖 北海道 1 新ひだか町静内ときわ町=0.5	42°02.3' N	142°36.4' E	62km	M: 3.4
68	22 07 46	北海道東方沖 北海道 1 根室市落石東*≒0.9 中標津町丸山*≒0.5	43°34.2' N	146°26.2' E	77km	M: 4.1
69	23 02 47	伊予灘 山口県 1 周防大島町森*≒0.5	33°39.1' N	132°16.8' E	46km	M: 3.0
70	23 06 01	奄美大島近海 鹿児島県 1 喜界町滝川=1.4	28°05.7' N	130°20.0' E	27km	M: 3.9
71	23 20 04	茨城県南部 栃木県 1 宇都宮市明保野町=0.5	36°02.2' N	140°05.9' E	63km	M: 3.1
72	24 21 39	福島県沖 福島県 1 田村市船引町=1.1	37°06.5' N	141°39.3' E	46km	M: 3.9
73	25 08 29	福井県嶺南 福井県 1 福井若狭町市場*≒1.1 小浜市四谷町*≒0.9 敦賀市松栄町=0.7 滋賀県 1 西浅井町大浦*≒1.2 高島市朽木柏*≒1.1 高島市今津町日置前*≒1.0 高島市マキノ町*≒0.9 高島市朽木市場*≒0.8 高島市今津町弘川*≒0.5 高島市安曇川町*≒0.5	35°26.0' N	135°53.1' E	15km	M: 3.2
74	25 09 12	岐阜県飛騨地方 岐阜県 1 高山市高根町*≒0.5	36°00.4' N	137°35.0' E	10km	M: 2.2
75	25 09 16	青森県三八上北地方 青森県 1 野辺地町田狭沢*≒1.1	40°47.1' N	141°12.3' E	15km	M: 2.4
76	25 11 36	茨城県沖 茨城県 1 日立市助川小学校*≒0.6 栃木県 1 茂木町小井戸*≒1.1	36°29.6' N	141°19.5' E	46km	M: 3.8
77	25 12 58	長野県北部 長野県 1 信濃町柏原東裏*≒1.4 千曲市杭瀬下*≒0.7 飯綱町牟礼*≒0.7 長野市箱清水=0.6	36°40.8' N	138°12.6' E	11km	M: 2.7
78	25 20 41	三重県南東沖 和歌山県 2 新宮市新宮=1.5 1 田辺市中辺路町栗栖川*≒1.1 田辺市本宮町本宮*≒1.1 日高川町土生*≒0.9 白浜町日置*≒0.9 御坊市藪=0.8 紀の川市那賀支所*≒0.8 串本町串本*≒0.8 海南市日方*≒0.7 高野町高野山中学校=0.7 串本町潮岬=0.7 橋本市東家*≒0.6 田辺市中屋敷町*≒0.6 紀の川市粉河=0.6 古座川町高池*≒0.6 新宮市熊野川町日足*≒0.5 すさみ町周参見*≒0.5 かつらぎ町丁ノ町*≒0.5 愛知県 1 新城市作手高里*≒0.6 三重県 1 松阪市高町=1.0 尾鷲市南浦*≒0.9 三重紀北町相賀*≒0.8 松阪市殿町*≒0.8 熊野市有馬町*≒0.8 紀宝町鷓殿*≒0.7 伊勢市楠部町*≒0.5 奈良県 1 五條市二見*≒1.4 黒滝村寺戸*≒1.2 田原本町役場*≒1.1 宇陀市榛原区下井足*≒1.0 宇陀市大宇陀区迫間*≒1.0 五條市大塔町簾*≒0.9 宇陀市榛原区消防学校*≒0.9 吉野町上市*≒0.8 天川村沢谷*≒0.8 十津川村平谷*≒0.8 東吉野村小川*≒0.7 奈良市針町*≒0.7 橿原市八木町*≒0.6 桜井市粟殿*≒0.5 宇陀市菟田野区松井*≒0.5 五條市本町*≒0.5	33°07.3' N	136°56.8' E	39km	M: 4.6
79	26 00 35	茨城県沖 茨城県 1 日立市助川小学校*≒0.9	36°36.4' N	140°59.2' E	47km	M: 3.2
80	26 05 21	西表島付近 沖縄県 1 竹富町大原=0.8	24°09.4' N	123°58.4' E	15km	M: 3.3
81	26 14 06	紀伊水道 和歌山県 2 海南市日方*≒2.4 海南市下津*≒2.1 和歌山市男野芝丁=1.9 和歌山市一番丁*≒1.9 和歌山広川町広*≒1.5 紀美野町下佐々*≒1.5 1 湯浅町湯浅*≒1.4 有田市初島町*≒1.3 日高川町土生*≒1.1 有田川町金屋*≒1.0 紀の川市貴志川町神戸*≒0.9 有田市箕島=0.8 和歌山日高町高家*≒0.8 由良町里*≒0.7 日高川町川原河*≒0.7 有田川町下津野*≒0.6 紀の川市粉河=0.5 大阪府 1 大阪岬町深日*≒0.8	34°10.3' N	135°09.3' E	6km	M: 3.6
82	26 22 41	和歌山県南部 和歌山県 1 田辺市本宮町本宮*≒0.5	33°47.9' N	135°47.6' E	21km	M: 2.8

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各地の震度(計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
83	27 02 02	釧路沖 北海道 1 標茶町塘路 *=0.7	42° 42.8' N	145° 01.0' E	50km	M: 3.8
84	28 05 11	周防灘 広島県 愛媛県 山口県 1 廿日市市津田 *=0.5 江田島市沖美町 *=0.5 北広島町豊平郵便局 *=0.5 1 八幡浜市五反田 *=1.4 1 周防大島町森 *=1.3 岩国市玖珂総合支所 *=1.0 防府市西浦 *=1.0 周防大島町平野 *=0.9 岩国市周東町下久原 *=0.9 平生町平生 *=0.7 光市中央 *=0.6 柳井市大畠 *=0.6 岩国市玖珂町阿山 *=0.6 周南市富田 *=0.6 山口市秋穂東 *=0.6 山口市周布=0.5 和木町和木 *=0.5 周防大島町西安下庄 *=0.5	33° 51.0' N	132° 01.5' E	60km	M: 3.5
85	28 06 14	豊後水道 愛媛県 高知県 1 愛南町船越 *=0.6 1 宿毛市片島=1.1 宿毛市桜町 *=1.1 土佐清水市中浜 *=0.5	32° 55.0' N	132° 26.6' E	32km	M: 3.5
86	28 08 28	新潟県中越地方 新潟県 2 柏崎市高柳町岡野町 *=1.5	37° 13.0' N	138° 36.0' E	11km	M: 2.6
87	28 08 57	奄美大島北西沖 鹿児島県 1 奄美市名瀬港町=0.6	28° 41.5' N	128° 35.3' E	102km	M: 4.1

付表 2 . 過去 1 年間に震度 1 以上を観測した地震の最大震度別の月別回数
 <平成 18 年（2006 年）2 月～平成 19 年（2007 年）2 月>

	1	2	3	4	5弱	5強	6弱	6強	7	計	記事
2007年2月	62	21	3	1						87	
2007年1月	63	28	10	1						102	新島・神津島近海 (震度 2 : 3 回、震度 1 : 11回)
2006年12月	82	46	14	3						145	新島・神津島近海(震度 4 : 1 回、 震度 3 : 6 回、震度 2 : 12回、 震度 1 : 14回)
2006年11月	98	22	11	4						135	新島・神津島近海 (震度 3 : 2 回、震度 2 : 2 回、 震度 1 : 8 回)
2006年10月	73	23	5	1						102	
2006年9月	64	21	11	1						97	
2006年8月	63	22	8	1						94	
2006年7月	82	24	12	3						121	新島・神津島近海(震度 4 : 2 回、 震度 3 : 2 回、震度 2 : 5 回、 震度 1 : 15回)
2006年6月	59	34	6	2	1					102	12日 大分県西部(震度 5 弱)
2006年5月	81	20	6	2						109	
2006年4月	89	47	22	3	1					162	30日 伊豆半島東方沖(震度 5 弱: 1 回、 震度 4 : 1 回、震度 3 : 4 回、 震度 2 : 6 回、震度 1 : 33回)
2006年3月	66	31	11		1					109	27日 日向灘(震度 5 弱)
2006年2月	44	30	3	4						81	
2007年計	125	49	13	2						189	(平成19年1月～平成19年2月)
過去1年計	882	339	119	22	3					1365	(平成18年3月～平成19年2月)

注) 「記事」欄の「*」は関連の地震で震度 1 以上を観測した地震の回数。「記事」欄には主に震度 5 弱以上を観測した地震、または震度 1 以上を 10 回以上観測した地震活動について記載した。
 地方公共団体等の震度計による震度の発表開始年月日。
 平成 9 (1997)年 11月 10日 秋田県、埼玉県、横浜市(神奈川県)、新潟県、愛知県、大阪府、奈良県、和歌山県、岡山県、山口県
 平成 10 (1998)年 6 月 15日 群馬県、福井県、静岡県、三重県、島根県、愛媛県
 10月 15日 青森県、山形県、茨城県、石川県、京都府、兵庫県、鳥取県、広島県、徳島県、熊本県、
 宮崎県、鹿児島県
 平成 11 (1999)年 7 月 21日 東京都、長野県
 平成 12 (2000)年 1 月 12日 栃木県、千葉県、岐阜県、名古屋市(愛知県)
 3 月 28日 滋賀県
 7 月 18日 富山県、香川県、大分県
 平成 13 (2001)年 3 月 22日 佐賀県 5 月 10日 山梨県、川崎市(神奈川県)
 7 月 19日 高知県 12 月 12日 福島県
 平成 14 (2002)年 3 月 20日 岩手県、宮城県、神奈川県、福岡県、仙台市(宮城県)
 7 月 29日 北海道、長崎県
 平成 15 (2003)年 3 月 10日 沖縄県
 平成 16 (2004)年 5 月 26日 独立行政法人防災科学技術研究所

付表 3 . 日本及びその周辺におけるマグニチュード (M)別の月別地震回数
 <平成 18 年 (2006 年) 2 月 ~ 平成 19 年 (2007 年) 2 月>

	M3.0 ~ M3.9	M4.0 ~ M4.9	M5.0 ~ M5.9	M6.0 ~ M6.9	M7.0 以上	計 M3.0以上	計 M4.0以上	記事
2007年 2 月	232	57	9	1		299	67	17日：十勝沖(M6.2)
2007年 1 月	244	113	24	2	2	385	141	13日：千島列島東方(M8.2) 14日：千島列島東方(M6.5) 25日：台湾付近(M6.1) 31日：マリアナ諸島(M7.1)
2006年12月	274	107	26	2	1	410	136	8日：千島列島東方(M6.4) 26日：台湾付近(M6.9、M7.2)
2006年11月	254	76	42	3	1	376	122	15日：千島列島東方(M7.9、M6.6) 16日：千島列島東方(M6.1) 18日：奄美大島近海(M6.0)
2006年10月	254	75	19	7		355	101	1日：千島列島東方(M6.8、M6.6) 9日：台湾南方沖(M6.1) 11日：福島県沖(M6.0) 12日：与那国島近海(M6.2) 13日：千島列島東方(M6.3) 24日：島島近海(M6.8)
2006年 9 月	268	62	10	1		341	73	28日：千島列島東方(M6.0)
2006年 8 月	263	57	10	1		331	68	7日：父島近海(M6.2)
2006年 7 月	232	40	3	1		276	44	28日：台湾付近(M6.2)
2006年 6 月	268	59	10	1		338	70	12日：大分県西部(M6.2)
2006年 5 月	239	53	4			296	57	
2006年 4 月	269	89	13	2		373	104	1日：台湾付近(M6.4) 16日：台湾付近(M6.0)
2006年 3 月	287	66	9	1		363	76	28日：東海道沖(M6.0)
2006年 2 月	253	66	6	2		327	74	15日：マリアナ諸島近海(M6.6) 17日：父島近海(M6.0)
2007年計	476	170	33	3	2	684	208	(平成19年 1 月 ~ 平成19年 2 月)
過去 1 年計	3084	854	179	22	4	4143	1059	(平成18年 3 月 ~ 平成19年 2 月)

注)日本及びその周辺：原則、北緯20～49度、東経120～154度の範囲。「記事」欄には主にM6.0以上の地震について記載した。

正誤表

地震・火山月報（防災編）平成 18 年 4 月号、11 月号、12 月号
世界の主な地震

誤：

ただし、日本付近で発生した地震については震源要素及びマグニチュード（Ms の欄に括弧を付して記載）は気象庁、被害状況は総務省消防庁による。

正：

ただし、日本付近で発生した地震については震源要素及びマグニチュード（Ms の欄に括弧を付して記載）は気象庁による。

地震・火山月報（防災編）平成 19 年 1 月号
日本の主な火山活動 p 30

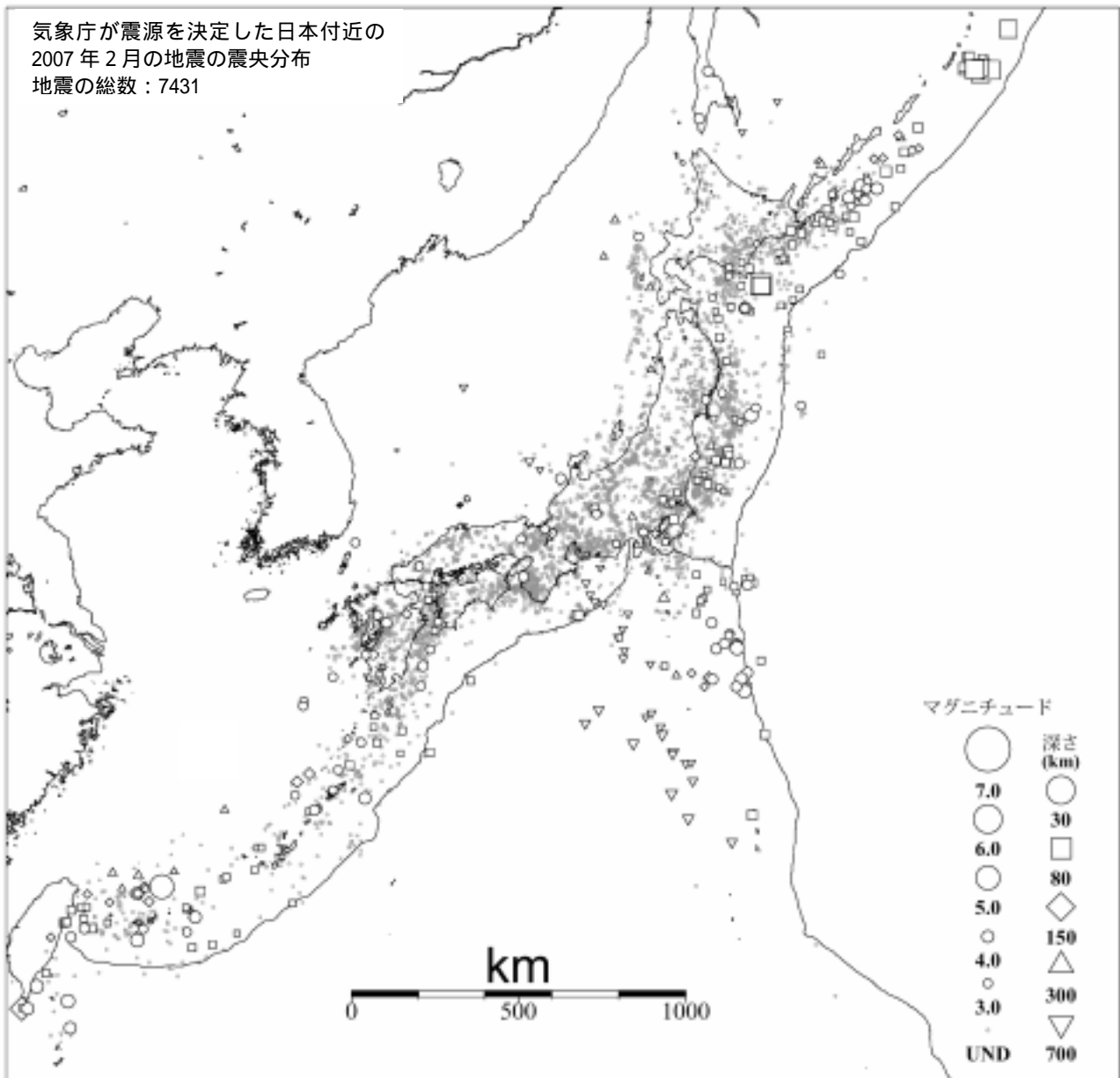
誤：

ふくとくおかのぼ
福徳岡ノ場 【やや活発な状況】 9日に静穏な状況から引き上げ

正：

ふくとくおかのぼ
福徳岡ノ場 【やや活発な状況】

気象庁が震源を決定した日本付近の
2007年2月の地震の震央分布
地震の総数：7431



M3.0以上の地震の震央を白抜きで示す。